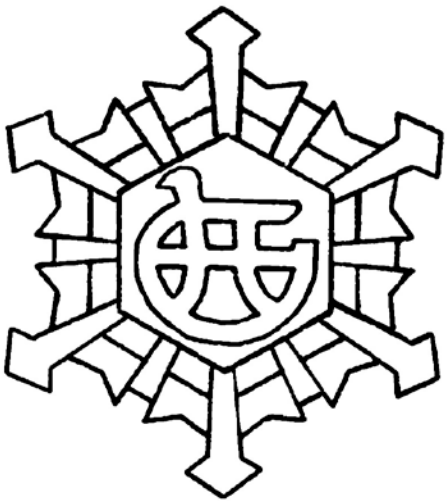
# 消　防　年　報

平成28年版



鳥取県西部広域行政管理組合

# 消　防　局

（平成29年刊行）

# は　じ　め　に

この消防年報は、鳥取県西部広域行政圏の消防現勢並びに、平成２８年における消防行政の執行状況を広く一般に紹介し、今後の消防行政の運営に資するため編さんしたものです。

なお、予算については会計年度を用い、その他の表についてはそれぞれに記載する年月日で表したものです。

また、本文中の各割合（％）については、端数処理のため合計が１００％にならない場合があります。

**平成２９年９月**

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

# 目　　次


鳥取県西部広域行政管理組合管内の概況 ---------- 1
組合管内全図 ---------- 2
管内常備消防の沿革 ---------- 3
歴代の管理者・議長・消防(局)長 ---------- 15
鳥取県西部広域行政管理組合消防局組織図 ---------- 16
消防機関の出動状況 ---------- 17
相互応援協定 ---------- 18
事 務 分 掌 ---------- 19
消 防 職 員
(1)職員配置状況 ---------- 22
(2)職員在職年数 ---------- 24
(3)職員年齢構成 ---------- 25
(4)職員研修状況 ---------- 26
(5)職員採用試験 ---------- 27
消防予算の状況
(1)平成28年度当初予算額の対前年度比較 ---------- 28
(2)平成28年度当初予算額の財源内訳 ---------- 29
(3)平成27年度決算額 ---------- 29
消 防 施 設 等 の 状 況
(1)消防庁舎の位置・構造 ---------- 30
(2)消防吏員待機宿舎概要 ---------- 30
(3)消防車両等配置数 ---------- 31
(4)消防車両概況 ---------- 32
(5)救急・救助
(5－1)救急隊配置場所 ---------- 34
(5－2)高規格救急車積載一覧 ---------- 35
(5－3)救助隊配置場所 ---------- 36
(5－4)高度救助用資機材一覧 ---------- 36
(5－5)救助工作車(Ⅲ型)積載一覧 ---------- 37
(6)通信施設 ---------- 38
予　　防
(1)防火対象物の現況 ---------- 41
(2)各種届出事務処理の状況 ---------- 42
(3)防火対象物の用途別査察状況 ---------- 42
(4)建築同意の用途別事務処理状況 ---------- 43
(5)危険物製造所等の地区別施設件数 ---------- 44
(6)危険物製造所等の事務処理件数 ---------- 44
(7)危険物施設査察状況 ---------- 45
(8)火薬類取締法関係 ---------- 45
(9)液化石油ガス法関係 ---------- 45
火 災 概 況
火災概況
1 火災の現況と最近の動向
別図Ⅰ－1 火災の推移と傾向図 ---------- 46
別表Ⅰ－1 火災概況比較表 ---------- 47
2 出火状況
別図Ⅰ－2 火災種別ごとの件数と構成比率 ---------- 48
別図Ⅰ－3 月別の火災種別ごと出火件数 ---------- 48
別図Ⅰ－4 市町村別火災件数と構成比 ---------- 49

３ 火災による死傷者の状況
別表Ｉ－２ 火災種別死傷者発生状況 ---- 49
４ 出火原因
別図Ｉ－５ 火災種別ごとの主な火災原因 ---- 50
別表Ｉ－３ 市町村別火災状況 ---- 51
別表Ｉ－４ 過去5年間の市町村別火災件数---- 52
救急・救助概況
救急概況
別図Ⅱ－１ 事故種別救急出動状況 ---- 54
別図Ⅱ－２ 事故種別救急搬送状況 ---- 54
別図Ⅱ－３ 過去5年間の救急推移 ---- 55
別図Ⅱ－４ 市町村別救急活動状況 ---- 55
別図Ⅱ－５ 傷病程度別搬送状況 ---- 56
別図Ⅱ－６ 年齢別搬送状況 ---- 56
別図Ⅱ－７ 署所別救急活動状況 ---- 57
別図Ⅱ－８ 月別救急活動状況 ---- 57
別図Ⅱ－９ 現場到着所要時間 ---- 58
別図Ⅱ－10 収容所要時間 ---- 58
別図Ⅱ－11 応急手当実施状況 ---- 59
別図Ⅱ－12 高度救命処置状況 ---- 59
別図Ⅱ－13 医師引き継ぎ時の状況 ---- 59
別図Ⅱ－14 過去5年間の救急講習件数推移 ---- 60
別図Ⅱ－15 過去5年間の救急講習人員推移 ---- 60
別表Ⅱ－１ 過去5年間の市町村別救急件数 ---- 61
救助概況
別図Ⅲ－１ 事故種別救助出動状況 ---- 63
別図Ⅲ－２ 事故種別救助活動状況 ---- 63
別図Ⅲ－３ 事故種別救助人員状況 ---- 64
別図Ⅲ－４ 管轄別救助活動状況 ---- 64
別図Ⅲ－５ 市町村別救助活動状況---- 65
別図Ⅲ－６ 月別救助活動状況 ---- 65
119番着信概況
119番着信概況
別図Ⅳ－１ 119番着信件数の推移 ---- 67
別図Ⅳ－２ 月別119番着信状況 ---- 67
別図Ⅳ－３ 電話種別による119番着信件数の推移 ---- 68
別図Ⅳ－４ 電話種別による通報状況 ---- 68
別図Ⅳ－５ 携帯電話からの着信状況 ---- 69
別図Ⅳ－６ 携帯電話の消防機関別転送状況 ---- 69
別図Ⅳ－７ 時間帯別着信状況 ---- 69
消防団・水利・大火災記録
消防団の人員と装備 ---- 70
水利状況 ---- 71
大火災記録 ---- 72
関 係 団 体
〔米子地区防火安全協会〕 ---- 74
〔境港市消防保安協会〕 ---- 77

# 鳥取県西部広域行政管理組合管内の概況

## 位置と地勢

当組合は、鳥取県の西部に位置し、中海を抱く米子市・境港市を中心として西伯郡・日野郡の２市２郡（９市町村）で構成されている。

米子市は、この地域における行政・交通・教育・文化など多面的な中枢機能をもつ山陰有数の商業都市であり、それと隣接する境港市は、日本海に面する重要港湾境港により海外貿易の門戸として、また沖合漁業の基地として知られ、弓浜半島の先端部に位置している。

米子市の南部、法勝寺川の流域平野部に南部町（西伯郡）があり、西域は島根県境と接しており、また名峰「大山」を臨む東部日本海沿岸部には日吉津村・大山町（西伯郡）があり、平坦部には肥沃な農地が拓け、沿岸漁業も盛んである。

一級河川日野川の流域、遠く岡山・広島県境に至る中国山地に日南・日野・江府の各町（日野郡）が位置し、日野路への進入路には米子市と隣接して伯耆町（西伯郡）がある。

## 人口 ・ 世帯数 ・ 面積

平成２９年４月１日現在

| 構成市町村 | 人　口（人） | 世帯数(世帯) | 面　積（㎢） |
|---|---|---|---|
| 米 子 市 | 148,322 | 60,369 | 132 |
| 境 港 市 | 33,467 | 13,000 | 29 |
| 日吉津村 | 3,470 | 1,194 | 4 |
| 大 山 町 | 16,137 | 5,279 | 190 |
| 南 部 町 | 10,782 | 3,503 | 114 |
| 伯 耆 町 | 10,978 | 3,626 | 139 |
| 日 南 町 | 4,528 | 1,868 | 341 |
| 日 野 町 | 3,134 | 1,247 | 134 |
| 江 府 町 | 2,929 | 994 | 125 |
| 合　計 | 233,747 | 91,080 | 1,207 |

（鳥取県市町村別推計人口による）

# 組合管内全図

境港消防署
弓浜出張所
消 防 局
皆生出張所
米子消防署
大山消防署
中山出張所
南部出張所
伯耆出張所
江府消防署
生山出張所
境港市
米子市
安来市
東出雲町
大山町
南部町
伯耆町
江府町
日野町
日南町
新庄村
日吉津村
美保関
美保湾
中海
大根島
境港
安来
鷺の湯温泉
大山
石霞渓
米子西ＩＣ
東出雲ＩＣ
安来ＩＣ
山陰道（安来道路）
米子自動車道
江府
蒜山
消防局
消防署
出張所

# 管内常備消防の沿革

## 1. 米子市の消防

| | |
|---|---|
| 明治 26 年 3 月 | 米子町消防条例を制定し、定員21名、消防ポンプ2台（機種不明）をもって消防組を編成 |
| 昭和 2 年 4 月 | 市制実施 |
| 昭和 6 年 4 月 | 消防ポンプ自動車1台購入配置、森田式タービンポンプ4気筒A型フォード製 |
| 昭和 9 年 | 米子市公設消防組設置、消防ポンプ自動車1台、消防夫20名の常備制をとり、詰所を市役所内に配置 |
| 昭和 14 年 4 月 | 警防団令の施行によって、米子市警防団を結成し、消防組は警防団の消防部として配置 |
| 昭和 18 年 4 月 | 消防部の詰所を富士見町2丁目126番地に移転 |
| 昭和 22 年 4 月 | 消防団令が公布されて、警防団は解散し、新しく米子市消防団が結成されたが、消防部は市の常備消防部として配置 |
| 昭和 23 年 9 月 | 消防組織法の施行により米子市消防本部及び米子市消防署が設置され、消防職員24名、消防ポンプ自動車3台で業務開始、初代吉村泰之消防長就任（収入役兼務） |
| 昭和 24 年 7 月 | 小型消防ポンプ自動車1台購入配置 |
| 昭和 24 年 9 月 | 小型消防ポンプ自動車1台購入配置 |
| 昭和 25 年 10 月 | 消防ポンプ自動車1台購入配置 |
| 昭和 26 年 4 月 | 消防職員43名となる。（内2人は本庁兼務） |
| 昭和 28 年 4 月 | 消防職員46名（　〃　） |
| 昭和 30 年 11 月 | 消防庁舎を増改築した。木造瓦茸2階建延面積464．477㎡、消防職員定数54名 |
| 昭和 30 年 11 月 | 消防ポンプ自動車1台を購入配置 |
| 昭和 31 年 5 月 | 第2代船越照郷消防長就任 |
| 昭和 31 年 7 月 | 消防本部係制実施（庶務、予防第一、予防第二、消防、機械の5係） |
| 昭和 32 年 11 月 | 消防ポンプ自動車1台購入配置 |
| 昭和 33 年 4 月 | 指揮車（ジープ型）1台購入配置 |
| 昭和 34 年 4 月 | 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け配置（損保号） |
| 昭和 37 年 11 月 | 消防ポンプ自動車1台を購入配置（2号車） |
| 昭和 38 年 7 月 | 第3代戸田勇消防長就任 |
| 昭和 40 年 4 月 | 第4代吉村純一郎消防長就任 |
| 昭和 40 年 9 月 | 第5代松田宏消防長就任 |
| 昭和 40 年 9 月 | 広報車1台購入配置（日本消防協会配車） |
| 昭和 41 年 9 月 | 消防ポンプ自動車1台購入配置（1号車） |
| 昭和 42 年 6 月 | 消防本部に課制実施（警防課、総務課） |
| 昭和 42 年 7 月 | 消防職員定員65名 |
| 昭和 42 年 12 月 | 救急自動車1台、化学車1台購入配置 |
| 昭和 42 年 12 月 | 富士見地区区画整理事業実施により富士見町1丁目103番地1に新庁舎を新築移転（鉄筋コンクリート造3階建延総面積13,207㎡） |

昭和 43 年 2 月　救急業務開始
昭和 43 年 3 月　水そう付消防ポンプ自動車1台購入配置（速消車）
昭和 43 年 11 月　消防ポンプ自動車1台購入配置（6号車）
昭和 44 年 3 月　屈折梯子付消防ポンプ自動車購入配置（スノーケル車）
昭和 44 年 4 月　第6代植田実消防長就任
昭和 45 年 3 月　消防ポンプ自動車1台購入配置（5号車）
昭和 45 年 11 月　日本損害保険協会から水そう付消防ポンプ自動車1台の寄贈を受けた。（火災保険号）
昭和 47 年 4 月　消防職員の定数70名
昭和 47 年 5 月　指揮車を購入し更新配置した。（指揮1号）
昭和 48 年 4 月　消防職員の定数72名
昭和 48 年 12 月　救急自動車1台を購入配置（救急2号）
昭和 49 年 1 月　小型トラック1台を購入配置（作業車）
昭和 49 年 6 月　広報車1台購入配置（広報2号）
昭和 50 年 3 月　消防ポンプ自動車1台購入配置
昭和 50 年 4 月　西伯郡7町村（西伯、岸本、会見、淀江、大山、名和町及び日吉津村）から救急業務を受託して業務開始、消防職員定数77名
昭和 50 年 7 月　東京海上火災保険株式会社から広報車1台の寄贈を受け配置（広報1号）
昭和 50 年 8 月　鳥取県共済農業協同組合から救急自動車1台の寄贈を受け配置（救急3号）
昭和 50 年 9 月　日本消防協会から救急自動車1台の寄贈を受け配置（救急1号）
昭和 51 年 1 月　第7代名和義則消防長就任
昭和 51 年 4 月　皆生1661番地に皆生出張所を開設し、分遣隊による業務開始。鉄筋コンクリート造平屋建延面積391．957㎡、消防職員定数79名

## 2. 境港市の消防

昭和 31 年 5 月　境港市消防本部設置（市制施行に伴う）
西村清美団長　団員定数150名（6ヶ分団）
消防ポンプ自動車　6台
昭和 31 年 5 月　境港市消防団常備部開設
常備部長　西村清美団長　中嶋登美夫主任
常備部定員14名　消防ポンプ自動車A2級1台（S28．2購入）
消防専用中短波無線電話　基地局1、移動局2
庁　舎　木造瓦茸2階建（延106．38㎡）
（第1分団（境）の消防車庫を改築し、待機室、仮眠室増設）
所在地、 境港市上道町1，703番地
昭和 31 年 10 月　常備部定員18名となり、4名増員
昭和 33 年 9 月　全市内に上水道消火栓が敷設される。初年度92ヶ所
昭和 34 年 7 月　境港市消防本部・消防署設置
林　義人消防長 （署長兼務） 署員定数19名

昭和 36 年 5 月　消防庁舎新築(延353．17㎡)
所在地　境港市上道町1，600番地
昭和 36 年 11 月　消防署員10名増員　署員定数 29名
昭和 37 年 7 月　消防ポンプ自動車(A2級)1台配置(損害保険協会より寄贈を受ける)
昭和 39 年 4 月　救急業務開始。救急車(ジープ型)1台配置(日赤鳥取支部より貸与)
昭和 40 年 3 月　救急車(セドリック)更新(日赤貸与)
昭和 42 年 10 月　第2代梶野利雄消防長 (市総務課長兼務)
昭和 42 年 12 月　第3代景山善次郎消防長 (市収入役兼務)
化学消防ポンプ自動車(1型)1台配置
境港市消防保安協会より購入費一部(100万円)採納、購入額4，345千円
昭和 43 年 3 月　消防専用超短波無線電話設置(中短波を更新)5基(固定局1、基地局4)
昭和 43 年 4 月　消防署組織改編。庶務、警防、予防3係設置
昭和 43 年 9 月　第4代中嶋登美夫消防長 (専任、署長兼務)
昭和 44 年 12 月　消防ポンプ自動車(A1級)1台配置。購入額2，386千円
昭和 45 年 1 月　救急車(ニッサンB型)1台配置(消防庁より寄贈)
昭和 45 年 4 月　水そう付消防ポンプ自動車(1型、A1級)1台配置。購入額3，180千円
昭和 46 年 5 月　広報連絡車(三菱ギャラン)1台配置(日本消防協会より寄贈)
昭和 46 年 12 月　消防専用超短波無線電話(移動局)2基増設
昭和 48 年 1 月　消防ポンプ自動車(A2級)1台増配置。購入額2，705千円
昭和 48 年 3 月　消防専用超短波無線電話、周波数改正により更新(周波数152．08MC)
基地局1基、移動局2基
昭和 49 年 3 月　消防専用超短波無線電話、移動局3基更新(周波数改正)
昭和 50 年 4 月　消防本部組織改編、課制施行。消防課、庶務係、警防係、予防係、1課3係
昭和 50 年 9 月　救急車(2B型)1台増配置。(日本消防協会より寄贈)
昭和 50 年 9 月　救急車(セドリック)1台廃棄。(日赤鳥取支部より貸与分)

### 3. 鳥取県西部広域行政管理組合の消防

昭和 51 年 5 月　“鳥取県西部広域消防発足”
鳥取県西部地域における常備消防体制の確立をはかるため、鳥取県西部広域行政管理組合(米子市、境港市、西伯町、会見町、岸本町、日吉津村、淀江町、大山町、名和町、中山町、日南町、日野町、江府町及び溝口町の2市12町村で構成)においては、昭和51年4月13日政令指定を受け、組合において消防業務を処理することになり、昭和51年5月1日組合消防本部、米子消防署、境港消防署を開庁して業務を開始し、全面業務開始の昭和51年10月1日に向け、庁舎の建設、人員、器材の整備充足を図ることになった。
発足時の消防勢力は、消防職員数112人、消防ポンプ自動車8台、水そう付ポンプ自動車3台、化学消防自動車2台、屈折はしご付消防ポンプ自動車1台、救急自動車5台、指揮車1台、査察広報車3台、作業車1台
火災出場は、米子市、境港市の区域とし、救急出場は、米子市、境港市及び西伯郡の区域とする。
初代名和義則消防長就任

昭和 51 年 6 月 2 日　住友生命相互会社から救急自動車(無線機付)1台の寄贈を受け配置
昭和 51 年 7 月 1 日　消防職員31名を採用
昭和 51 年 7 月 16 日　広報車1台を購入(日本消防協会配車)
昭和 51 年 8 月 1 日　松江地区消防組合及び安来市能義郡消防組合との間に中海消防相互応援協定を締結
昭和 51 年 9 月 25 日　消防ポンプ自動車2台を購入した。(江府、大山出張所配置)
昭和 51 年 9 月 30 日　広報車1台を購入
昭和 51 年 10 月 1 日　米子消防署大山出張所及び江府出張所を開設し、管内全域において業務運用開始
昭和 51 年 10 月 2 日　救急指令装置完成
昭和 51 年 11 月 13 日　40m級梯子付消防自動車を購入し、米子消防署に配備
昭和 51 年 11 月 15 日　日本損害保険協会から救急自動車1台の寄贈を受け、大山出張所に配置
昭和 52 年 2 月 22 日　消防ポンプ自動車4台を購入(西伯、溝口、生山、中山出張所配置)
昭和 52 年 3 月 14 日　消防ポンプ自動車1台を購入(弓浜出張所配置)
昭和 52 年 3 月 29 日　古峠山無線中継局が完成
昭和 52 年 4 月 1 日　消防職員の定数208名
消防職員67名を採用し、彦名小学校跡において彦名消防研修所を開設して初任研修を開始
昭和 52 年 4 月 26 日　広報車1台を購入(中山出張所配置)
昭和 52 年 5 月 1 日　退職職員の補充として消防職員4人を採用
昭和 52 年 5 月 17 日　指揮車1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 52 年 6 月 30 日　彦名消防研修所の研修を修了し、閉所
昭和 52 年 7 月 1 日　米子消防署西伯出張所、同溝口出張所、同生山出張所、同中山出張所の庁舎が完成し、それぞれ業務を開始
境港市小篠津町668番地の仮庁舎で、境港消防署弓浜出張所を開設し、業務を開始
昭和 52 年 9 月 17 日　日本消防協会から救急自動車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 52 年 10 月 4 日　鳥取県共済生活協同組合から広報車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 52 年 11 月 1 日　境港消防署弓浜出張所庁舎の工事が完成し、米子市大篠津町2, 913番地1の新庁舎において業務を開始し、仮庁舎を閉所
昭和 52 年 12 月 9 日　消防ポンプ自動車(CD－Ⅰ)7台を購入し、江府、大山、西伯、溝口、生山、中山、弓浜の各出張所に配置
昭和 53 年 2 月 6 日　株式会社菊屋から救急自動車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 53 年 3 月 31 日　中部広域行政管理組合との間に西部、中部地区消防相互応援協定を締結
昭和 53 年 5 月 1 日　退職職員の補充として消防職員2名を採用
昭和 53 年 5 月 30 日　日本損害保険協会から水そう付消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 53 年 6 月 1 日　退職職員の補充として、消防職員1名を採用
昭和 53 年 6 月 9 日　指揮広報車2台を購入し、西伯出張所及び溝口出張所に配置
昭和 53 年 11 月 27 日　消防ポンプ自動車(CD－Ⅰ)2台を購入し、米子消防署及び皆生出張所に配置

昭和 53 年 11 月 28 日　日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け、境港消防署に配置
昭和 54 年 2 月 20 日　救助工作車1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 54 年 4 月 1 日　消防職員の定数220名
消防職員12名を採用
昭和 54 年 6 月 5 日　指令広報車1台を購入し、境港消防署弓浜出張所に配置
昭和 54 年 6 月 11 日　指揮車1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 54 年 10 月 1 日　本部総務課に教養係を設け、本部予防課指導係を廃して危険物係、建築係とし、境港消防署に機械係を新設
昭和 54 年 10 月 13 日　境港美保ライオンズクラブから救急車1台の寄贈を受け、境港消防署に配置
昭和 54 年 10 月 17 日　水そう付消防ポンプ自動車1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 54 年 10 月 27 日　消防ポンプ自動車(BD－Ⅰ型)1台を購入し、境港消防署に配置
昭和 54 年 11 月 1 日　山陰酸素工業株式会社から広報車1台の寄贈を受け米子消防署に配置
昭和 54 年 12 月 1 日　指令広報車1台を購入し、境港消防署に配置
昭和 55 年 3 月 26 日　合資会社キョートスポーツから救急車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 55 年 4 月 1 日　消防職員の定数232名
消防職員14名を採用
昭和 55 年 7 月 1 日　中山出張所及び生山出張所救急業務を開始
昭和 55 年 8 月 27 日　日本消防協会から救急車1台の寄贈を受け、中山出張所に配置
昭和 55 年 8 月 29 日　日本消防協会から指令広報車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 55 年 10 月 29 日　中山地区前進基地局開局(消防無線呼出名称西部消防中山)
昭和 55 年 11 月 7 日　消防ポンプ自動車(BD－1型)1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 55 年 11 月 25 日　水そう付消防ポンプ自動車1台を購入し、境港消防署に配置
昭和 55 年 12 月 5 日　鳥取県消防設備保安協会より原動機付自転車2台及び和文タイプライター1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 55 年 12 月 26 日　化学消防自動車1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 56 年 1 月 20 日　救急車(3B型)1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 56 年 4 月 1 日　消防職員の定数242名
消防職員14名採用
昭和 56 年 7 月 24 日　空気呼吸器充填用高圧コンプレッサーを皆生出張所に配備
昭和 56 年 9 月 30 日　日本消防協会から小型工作車1台の寄贈を受け、境港消防署に配置
昭和 56 年 11 月 30 日　水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し、皆生出張所に配置
昭和 57 年 4 月 1 日　消防職員の定数246名
消防職員9名採用
消防本部の機構の一部改正(1本部、4署、6出張所)
大山消防署、江府消防署開設(米子消防署大山、江府出張所をそれぞれ消防署に昇格)
第2代仲田末男消防長就任
昭和 57 年 5 月 31 日　指揮車1台更新(米子消防署)

昭和 57 年 6 月 1 日　防火基準適合表示制度(「表示マーク」交付)実施
昭和 57 年 7 月 16 日　小型動力ポンプB2級2台を購入し米子、大山消防署に配置
昭和 57 年 11 月 16 日　消防ポンプ自動車(CD－Ⅱ型)1台更新(米子消防署)
昭和 58 年 3 月 31 日　中山地区救急波前進基地局新設
昭和 58 年 4 月 1 日　鳥取県消防学校開校　教官として2名の職員を派遣
昭和 58 年 8 月 31 日　日本消防協会から救急自動車(2B型)1台の寄贈を受け境港消防署に配置
昭和 59 年 2 月 24 日　小型動力ポンプB2級2台を購入し西伯、中山出張所に配置
昭和 59 年 3 月 9 日　日本損害保険協会から救急自動車(2B型)1台の寄贈を受け大山消防署中山出張所に配置
昭和 59 年 7 月 1 日　第3代西田英二消防長就任
昭和 59 年 7 月 20 日　消防本部庁舎に冷房設備を設置
昭和 59 年 12 月 25 日　無線施設空中線塔の改修工事
昭和 60 年 3 月 10 日　境港消防署庁舎に冷暖房設備を設置
昭和 60 年 3 月 20 日　大山消防署中山出張所移転新築落成。中山町松河原弓ノ木880
(起工　昭和59年8月7日)
昭和 60 年 8 月 15 日　境港消防署第2消防車庫新築落成
(起工　昭和60年5月20日)
昭和 60 年 8 月 21 日　日本消防協会から救急自動車(2B型)1台の寄贈を受け米子消防署に配置
昭和 61 年 5 月 22 日　指令車1台を購入し、消防本部に配置
昭和 61 年 9 月 27 日　山陰酸素工業株式会社から連絡車1台の寄贈を受け、消防本部に配置
昭和 61 年 11 月 25 日　山之内製薬株式会社より救急車1台の寄贈を受け、大山消防署に配置
昭和 62 年 7 月 25 日　指揮車1台を購入し、消防本部に配置
昭和 62 年 8 月 19 日　江府消防署及び生山出張所の冷暖房設備改修工事
昭和 62 年 9 月 3 日　日本消防協会より電源照明車1台の寄贈を受け、皆生出張所に配置
昭和 63 年 3 月 23 日　日本損害保険協会より救急車1台の寄贈を受け、江府消防署に配置
昭和 63 年 4 月 1 日　退職職員の補充として、消防職員3名を採用　定数246名
昭和 63 年 6 月 29 日　大山消防署の冷暖房設備の改修工事
昭和 63 年 7 月 4 日　広報車1台更新(皆生出張所)
昭和 63 年 8 月 2 日　日本消防協会から救急車(2B型)1台の寄贈を受け皆生出張所に配置
昭和 63 年 9 月 1 日　日本損害保険協会より消防ポンプ自動車(BD一Ⅰ型)1台の寄贈を受け米子消防署に配置
昭和 63 年 11 月 15 日　消防ポンプ自動車〔(CD－Ⅰ型)電動ホースカー付〕1台を購入
平成 元 年 2 月 25 日　消防ポンプ自動車(CD－Ⅰ型)1台更新(境港消防署)
平成 元 年 3 月 30 日　消防本部の受水槽設備の改修及び米子消防署の車庫排気ダクト設備の工事
平成 元 年 4 月 1 日　第4代岩佐弘志消防長就任
消防職員定数253名
消防職員11名採用
平成 元 年 5 月 22 日　広報車2台更新(江府、大山消防署配置)
平成 元 年 9 月 25 日　超短波無線電話装置の設置
平成 元 年 10 月 1 日　溝口出張所に救急隊設置
平成 元 年 10 月 25 日　溝口出張所庁舎の増築、改修工事

| | |
|---|---|
| 平成 元 年 10 月 27 日 | 15m級梯子付消防自動車1台を購入、皆生出張所に配置 |
| 平成 元 年 10 月 30 日 | 救助用資機材（ホルマトロ）一式を購入、米子消防署に配置 |
| 平成 元 年 11 月 2 日 | 作業車1台更新（米子消防署） |
| 平成 元 年 12 月 25 日 | 溝口出張所に救急自動車（2B型4WD）1台配置 |
| 平成 2 年 4 月 1 日 | 消防職員定数258名 |
| | 消防職員7名採用 |
| 平成 2 年 4 月 1 日 | 米子消防署皆生出張所に特別救助隊を設置し、業務を開始 |
| 平成 2 年 6 月 23 日 | 広報車3台を購入、皆生、中山、生山出張所に配置 |
| 平成 2 年 7 月 31 日 | 梯子車分解整備、西伯出張所ホース乾燥塔補強 |
| 平成 2 年 8 月 21 日 | ㈲日本消防協会から携帯無線機10台、拡声器2台を寄贈 |
| 平成 2 年 8 月 21 日 | ㈲日本消防協会から指令広報車1台寄贈、境港消防署に配置 |
| 平成 2 年 9 月 6 日 | 救急車（2B型4WD）を購入、生山出張所に配置 |
| 平成 2 年 9 月 18 日 | 日本防火協会から防火広報車1台寄贈、消防本部に配置 |
| 平成 2 年 11 月 21 日 | 生山出張所改装工事 |
| 平成 2 年 11 月 30 日 | 超短波無線電話装置消防波10W2台、救急波10W3台購入 |
| 平成 2 年 12 月 14 日 | 消防ポンプ自動車2台購入、大山、江府消防署に配置 |
| 平成 2 年 12 月 21 日 | 消防本部防水及び外壁改装工事 |
| 平成 3 年 1 月 21 日 | 危険物第4類試験装置一式購入 |
| 平成 3 年 2 月 6 日 | 安田生命保険相互会社から救急自動車（日産2B型）1台寄贈、境港 |
| | 消防署に配置 |
| 平成 3 年 3 月 20 日 | 江府消防署敷地拡幅造成工事 |
| 平成 3 年 3 月 25 日 | 米子消防署仮眠室空調機取替修繕 |
| 平成 3 年 3 月 27 日 | 油圧切断機1台購入 |
| 平成 3 年 4 月 1 日 | 消防職員定数262名 |
| | 消防職員12名採用 |
| 平成 3 年 4 月 25 日 | 日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車1台寄贈、境港消防署 |
| | に配置 |
| 平成 3 年 7 月 12 日 | 査察用軽自動車2台購入 |
| | 米子消防署、溝口出張所に配置 |
| 平成 3 年 8 月 20 日 | 西伯出張所冷暖房改修工事 |
| 平成 3 年 9 月 5 日 | ㈲日本消防協会から救急車1台寄贈、米子消防署に配置 |
| 平成 3 年 10 月 1 日 | 大山消防署敷地拡幅造成工事 |
| 平成 3 年 10 月 22 日 | 消防本部新庁舎建設用地取得 |
| 平成 3 年 11 月 27 日 | 超短波無線電話装置購入 |
| | 消防波10W2台、救急波1台 |
| 平成 4 年 1 月 10 日 | 消防ポンプ自動車2台購入、中山、生山出張所に配置 |
| 平成 4 年 1 月 11 日 | 消防本部庁舎新築工事着工 |
| 平成 4 年 3 月 2 日 | 空気呼吸器5基、軽量ボンベ9本購入 |
| 平成 4 年 5 月 4 日 | 救急救命士誕生 |
| 平成 4 年 7 月 11 日 | 消防本部主訓練塔新築工事着工 |
| | 消防本部緊急通信指令施設設置工事着工 |
| | 消防無線設備改修工事着工 |
| | （消防本部・古峠山中継所・日南前進基地・中山前進基地） |

平成 4 年 9 月 16 日　(財)日本消防協会から防火広報車寄贈、消防本部配置
平成 4 年 10 月 1 日　消防本部に指令課を新設
平成 4 年 12 月 21 日　高規格救急車1台購入、米子消防署配置
啓発広報車1台購入、消防本部配置
平成 5 年 1 月 22 日　米子消防署救急救命隊発足・業務開始
平成 5 年 2 月 28 日　消防本部庁舎新築工事完成
平成 5 年 3 月 20 日　消防本部主訓練塔新築工事完成
平成 5 年 3 月 26 日　消防本部緊急通信指令施設設置工事完成
消防無線設備改修工事完成
(消防本部・古峠山中継所・日南前進基地・中山前進基地)
平成 5 年 4 月 1 日　消防本部移転、名称も消防本部から消防局に改名
消防職員12名採用
平成 5 年 5 月 24 日　査察用軽自動車2台購入
中山、生山出張所に配置
平成 5 年 6 月 3 日　広報車2台更新(西伯、溝口出張所)
平成 5 年 8 月 30 日　(財)日本消防協会から防火広報車寄贈、消防局に配置
平成 5 年 10 月 1 日　西伯出張所に救急隊設置
平成 5 年 11 月 15 日　西伯出張所の増築・改修工事完成
平成 5 年 1 月 26 日　消防ポンプ自動車2台購入、皆生、西伯出張所に配置
平成 6 年 2 月 26 日　山之内製薬株式会社より救急車1台寄贈、中山出張所に配置
平成 6 年 4 月 1 日　消防職員定員284名
消防職員11名採用
平成 6 年 5 月 10 日　査察用軽自動車2台購入(皆生出張所・西伯出張所に配置)
平成 6 年 5 月 25 日　広報車2台更新(消防局・弓浜出張所に配置)
平成 6 年 9 月 29 日　弓浜出張所庁舎の増築・改修・車庫の新築工事完成
平成 6 年 10 月 1 日　弓浜出張所に救急隊配備
平成 6 年 10 月 13 日　大山消防署救急車の更新
平成 7 年 1 月 17 日　阪神・淡路大震災、救助・救急隊災害派遣(1次～4次)
平成 7 年 2 月 10 日　溝口出張所1号車の更新
平成 7 年 3 月 27 日　(財)日本損害保険協会から高規格救急車寄贈、境港消防署に配置
(弓浜出張所1号車更新)
平成 7 年 4 月 1 日　第5代石上洋二消防局長就任
消防職員3名採用
平成 7 年 4 月 3 日　境港消防署、救急救命隊発足・業務開始
平成 7 年 12 月 23 日　境港消防署、新庁舎完成
平成 8 年 1 月 22 日　消防ポンプ自動車3台購入(米子消防署・大山消防署・江府消防署に配置)
平成 8 年 2 月 26 日　米子市から連絡車寄贈、消防局に配置
平成 8 年 3 月 26 日　消防ポンプ自動車1台購入、生山出張所に配置
平成 8 年 3 月 28 日　救助工作車(Ⅲ型)1台購入

平成 8 年 4 月 1 日　消防職員定員287名
平成 8 年 4 月 25 日　救助工作車(Ⅲ型)皆生出張所に配置
平成 8 年 5 月 1 日　西部広域消防発足20周年記念式典開催
平成 8 年 12 月 19 日　25m級梯子車1台購入、境港消防署に配置
平成 8 年 12 月 25 日　査察用軽自動車1台購入、弓浜出張所に配置
平成 9 年 1 月 31 日　消防ポンプ自動車2台購入(西伯出張所・溝口出張所に配置)
平成 9 年 4 月 1 日　消防職員5名採用
平成 9 年 8 月 20 日　日本宝くじ協会から消火通報指導車寄贈、消防局に配置
平成 9 年 9 月 16 日　高規格救急車1台購入、大山消防署に配置
平成 9 年 10 月 1 日　大山消防署、救急救命隊業務開始
平成 9 年 11 月 7 日　タンク車及び消防ポンプ自動車各1台購入、弓浜出張所・中山出張所に配置
平成 9 年 11 月 25 日　皆生出張所庁舎の増築・改修工事完成
平成 9 年 12 月 25 日　資機材搬送車1台購入、米子消防署に配置
平成 10 年 4 月 1 日　消防職員1名採用
平成 10 年 7 月 1 日　境港消防署に水難救助隊を設置し、業務を開始
平成 10 年 7 月 6 日　鳥取県消防防災航空隊の運用を開始した。 3名の職員を派遣
平成 10 年 11 月 30 日　江府消防署庁舎の増築・改修工事完成
平成 11 年 1 月 14 日　高規格救急車1台購入、江府消防署に配置
平成 11 年 1 月 25 日　消防ポンプ自動車2台購入(米子消防署・境港消防署に配置)
平成 11 年 1 月 25 日　タンク車1台購入、米子消防署に配置
平成 11 年 2 月 1 日　江府消防署、救急救命隊業務開始
平成 11 年 3 月 10 日　現場指揮車1台購入、米子消防署に配置
平成 11 年 3 月 31 日　境海上保安部と鳥取県西部消防局との消防業務協定
平成 11 年 4 月 1 日　消防職員1名採用
平成 11 年 5 月 7 日　鳥取県西部圏域危険物等事故対策協議会設立総会開催
平成 11 年 8 月 19 日　鳥取県西部圏域危険物等事故対策協議会合同訓練会
平成 11 年 12 月 31 日　Y2K越年警戒体制
平成 12 年 1 月 24 日　消防ポンプ自動車1台購入、米子消防署に配置
平成 12 年 1 月 24 日　タンク車1台購入、境港消防署に配置
平成 12 年 1 月 31 日　大山消防署庁舎の増築・改修工事完成
平成 12 年 2 月 21 日　救助工作車(Ⅱ型)1台購入、境港消防署に配置
平成 12 年 3 月 23 日　(財)日本損害保険協会から高規格救急車寄贈、米子消防署に配置米子救急救命車を更新
平成 12 年 3 月 27 日　大山消防署敷地拡幅
平成 12 年 10 月 6 日　鳥取県西部地震発生(13時30分・マグニチュード7．6)
平成 13 年 1 月 15 日　高規格救急車1台購入、生山出張所に配置
平成 13 年 1 月 16 日　40m級梯子車1台購入、米子消防署に配置
平成 13 年 2 月 1 日　生山出張所、救急救命隊業務開始
平成 13 年 2 月 28 日　化学消防自動車1台購入、境港消防署に配置
平成 13 年 4 月 1 日　第6代清水　隆消防局長就任
平成 13 年 4 月 1 日　消防職員7名採用、防災支援要員4名配置
平成 13 年 4 月 1 日　鳥取県防災監危機管理課に職員1名を派遣

平成 13 年 11 月 19 日　高規格救急車1台購入、中山出張所に配置
平成 13 年 12 月 1 日　中山出張所、救急救命隊業務開始
平成 14 年 1 月 31 日　(財)日本損害保険協会からタンク車寄贈、皆生出張所に配置
平成 14 年 1 月 31 日　中山出張所改築改修工事完成
平成 14 年 4 月 1 日　第7代廣谷耕史消防局長就任
平成 14 年 4 月 1 日　消防職員3名採用
平成 14 年 4 月 1 日　大山消防署特殊災害隊発足
平成 14 年 12 月 20 日　広報車1台購入、皆生出張所に配置
平成 15 年 1 月 21 日　救助工作車(Ⅱ型)1台購入、江府消防署に配置
平成 15 年 3 月 20 日　指揮車1台購入、境港消防署に配置
平成 15 年 4 月 1 日　消防職員3名採用
平成 15 年 4 月 1 日　鳥取県防災局消防課に職員1名を派遣
平成 15 年 10 月 15 日　広報車2台購入(米子消防署・大山消防署に配置)
平成 15 年 11 月 17 日　高規格救急車1台購入、西伯出張所に配置
平成 15 年 12 月 1 日　西伯出張所、救急救命隊業務開始
平成 16 年 3 月 5 日　広報車2台購入(中山出張所・生山出張所に配置)
平成 16 年 3 月 17 日　指揮車2台購入(大山消防署・江府消防署に配置)
平成 16 年 4 月 1 日　消防職員1名採用
平成 16 年 4 月 1 日　総務省消防庁に職員1名を派遣
平成 16 年 10 月 1 日　西伯町と会見町が合併し、南部町が誕生
平成 16 年 10 月 1 日　米子消防署西伯出張所を米子消防署南部出張所に名称変更
平成 16 年 11 月 29 日　高規格救急車1台購入、溝口出張所に配置
平成 16 年 12 月 15 日　溝口出張所、救急救命隊業務開始
平成 17 年 1 月 1 日　岸本町と溝口町が合併し、伯耆町が誕生
平成 17 年 1 月 1 日　江府消防署溝口出張所を米子消防署伯耆出張所に名称変更
平成 17 年 1 月 12 日　消防ポンプ自動車1台購入、境港消防署に配置
平成 17 年 2 月 23 日　高規格救急車1台購入、弓浜出張所に配置
平成 17 年 3 月 9 日　弓浜出張所、救急救命隊業務開始
平成 17 年 3 月 28 日　大山町・名和町・中山町が合併し、大山町が誕生
平成 17 年 3 月 31 日　指令設備を更新し、高機能指令システムを導入
平成 17 年 3 月 31 日　米子市と淀江町が合併し、米子市が誕生
平成 17 年 4 月 1 日　第8代中田正男消防局長就任
平成 17 年 4 月 1 日　消防職員定員292名
平成 17 年 4 月 1 日　消防職員8名採用
平成 17 年 11 月 20 日　高規格救急車1台購入、米子消防署に配置
平成 17 年 12 月 1 日　皆生出張所、米子消防署救急2分隊高規格救急車を使用し
救急救命隊業務開始
平成 17 年 12 月 21 日　(財)日本損害保険協会から高規格救急車寄贈、皆生出張所に配置
平成 18 年 2 月 28 日　タンク車1台購入、伯耆出張所に配置
平成 18 年 4 月 1 日　消防職員2名採用
平成 18 年 4 月 1 日　総務省消防庁に職員1名派遣
平成 18 年 11 月 24 日　米子市危険物保安協会から広報車1台寄贈、消防局に配置

平成19年 2月23日　タンク車1台購入、大山消防署に配置
平成19年 4月 1日　米子消防署　新庁舎完成
平成19年 4月 1日　消防職員2名採用
平成19年11月28日～29日　平成19年度中国・四国ブロック　緊急消防援助隊合同訓練
平成19年12月24日　化学車1台購入、米子消防署に配置
平成19年12月31日　消防無線基幹改良工事
平成20年 1月31日　高規格救急車1台購入、大山消防署に配置
平成20年 4月 1日　第9代浦木　昇消防局長就任
平成20年 4月 1日　消防職員3名採用
平成20年 4月 1日　総務省消防庁に職員1名派遣
平成21年 1月28日　消防ポンプ自動車1台購入、 生山出張所に配置
平成21年 2月19日　高規格救急車1台購入、米子消防署に配置
平成21年 4月 1日　消防職員5名採用
平成21年11月 2日　高度救助隊発足
平成21年12月 9日　国際消防救助隊編成協力市町村の登録
平成22年 1月26日　高規格救急車1台購入、江府消防署に配置
平成22年 2月15日　消防ポンプ自動車1台購入、 皆生出張所に配置
平成22年 3月26日　高規格救急車1台購入、境港消防署に配置
平成22年 4月 1日　第10代桑名　強消防局長就任
平成22年 4月 1日　消防職員定員304名となる。
平成22年 4月 1日　消防職員14名採用
平成22年 4月 1日　国際消防救助隊員6名登録
平成23年 1月14日　支援車Ⅰ型を総務省消防庁より無償使用、消防局に配置
平成23年 2月24日　消防ポンプ自動車2台購入、弓浜出張所・中山出張所に配置
平成23年 3月 7日　高規格救急車1台購入、生山出張所に配置
平成23年 3月12日～21日　東日本大震災により、宮城県南三陸町へ緊急消防援助隊鳥取県隊として出動
平成23年 4月 1日　消防職員定員313名
平成23年 4月 1日　消防職員20名採用
平成23年 7月 2日　消防救急デジタル無線　一部運用開始（救急業務のみ）
平成23年12月 9日　伯耆出張所庁舎改修
平成23年12月19日　消防ポンプ自動車2台購入、伯耆出張所・南部出張所に配置
平成23年12月21日　作業車1台購入、消防局に配置
平成23年12月22日　南部出張所庁舎改修
平成23年 3月21日　屈折梯子車1台購入、皆生出張所に配置
平成24年 4月 1日　消防職員定員322名
平成24年 4月 1日　消防職員18名採用
平成24年 4月 1日　総務省消防庁に職員1名派遣
平成24年 4月13日　鳥取西部農業協同組合から高規格救急車1台寄贈、中山出張所に配置
平成24年12月17日　消防ポンプ自動車3台購入、境港消防署・大山消防署・江府消防署に配置
平成25年 2月13日　化学車1台購入、境港消防署に配置
平成25年 2月21日　弓浜出張所庁舎改修
平成25年 2月28日　生山出張所庁舎改修
平成25年 3月11日　人員搬送車を総務省消防庁より無償使用、消防局に配置
平成25年 4月 1日　第11代武本和之消防局長就任
平成25年 4月 1日　消防職員定員327名
平成25年 4月 1日　消防職員15名採用

平成 26 年 2 月 20 日　機動連絡車を総務省消防庁より無償使用、消防局に配置
平成 26 年 2 月 25 日　消防ポンプ自動車1台購入、米子消防署に配置
平成 26 年 3 月 6 日　江府消防署庁舎改修、車庫新設
平成 26 年 3 月 13 日　救助工作車Ⅲ型1台購入、皆生出張所に配置
平成 26 年 3 月 14 日　高規格救急車1台購入、南部出張所に配置
平成 26 年 4 月 1 日　総務省消防庁に職員1名派遣
平成 26 年 4 月 1 日　消防職員定員319名
平成 26 年 4 月 1 日　消防職員20名採用
平成 26 年 7 月 3 日　消防広報車1台を購入、消防局に配置
平成 26 年 12 月 22 日　救命ボート1隻を購入、境港消防署へ配置
平成 27 年 1 月 23 日　ボートトレーラー1台を購入、境港消防署に配置
平成 27 年 2 月 25 日　高規格救急自動車1台を購入、米子消防署に配置
平成 27 年 2 月 25 日　消防ポンプ自動車1台を購入、米子消防署に配置
平成 27 年 2 月 26 日　高規格救急自動車1台を購入、伯耆出張所に配置
平成 27 年 3 月 6 日　水難救助支援車1台を購入、境港消防署に配置
平成 27 年 3 月 16 日　米子消防署皆生出張所移転先用地取得（3,113.11㎡）
平成 27 年 3 月 17 日　高機能消防指令センター更新整備
平成 27 年 4 月 1 日　第12代木山文也消防局長就任
平成 27 年 4 月 1 日　消防職員定員314名
平成 27 年 4 月 1 日　消防職員14名採用
平成 27 年 6 月 30 日　消防査察自動車2台購入、消防局、米子消防署に配置
平成 27 年 7 月 10 日　消防査察自動車1台寄付受納、（株）上田商事様　米子消防署に配置
平成 27 年 12 月 24 日　日南前進基地局（生山無線中継局）解体撤去
平成 28 年 1 月 6 日　大山消防署庁舎空調設備改修
平成 28 年 1 月 6 日　江府消防署庁舎空調設備改修
平成 28 年 2 月 26 日　高規格救急自動車2台を購入、皆生出張所、弓浜出張所に配置
平成 28 年 2 月 29 日　消防ポンプ自動車2台を購入、南部出張所、生山出張所に配置
平成 28 年 3 月 31 日　米子消防署皆生出張所移転先用地造成工事完了
平成 28 年 4 月 1 日　消防職員定員312名
平成 28 年 4 月 1 日　消防職員26名採用
平成 28 年 4 月 1 日　総務省消防庁に職員1名派遣
平成 28 年 4 月 16 日～21 日　熊本地震により、熊本県益城町へ緊急消防援助隊鳥取県隊として出動
平成 28 年 6 月 29 日　米子消防署皆生出張所新築移転工事着工（平成29年5月完成予定）
平成 28 年 9 月 20 日　消防査察自動車1台購入、消防局に配置
平成 29 年 1 月 12 日　消防広報車1台を購入、伯耆出張所に配置
平成 29 年 1 月 26 日　高規格救急自動車1台を購入、大山消防署に配置
平成 29 年 2 月 28 日　消防ポンプ自動車2台を購入、米子消防署、伯耆出張所に配置
平成 29 年 3 月 8 日　消防ポンプ自動車1台を購入、弓浜出張所に配置
平成 29 年 4 月 1 日　第13代天野智消防局長就任
平成 29 年 4 月 1 日　消防職員定員314名
平成 29 年 4 月 1 日　消防職員19名採用

# 歴代の管理者・議長・消防長

## 歴代管理者

| | | |
|---|---|---|
| 米子市長 | 河合弘道 | (S47. 4. 30～S58. 4. 29) |
| 〃 | 松本　徹 | (S58. 4. 30～H 3. 4. 29) |
| 〃 | 森田隆朝 | (H 3. 4. 30～H15. 4. 29) |
| 〃 | 野坂康夫 | (H15. 4. 30～　　) |

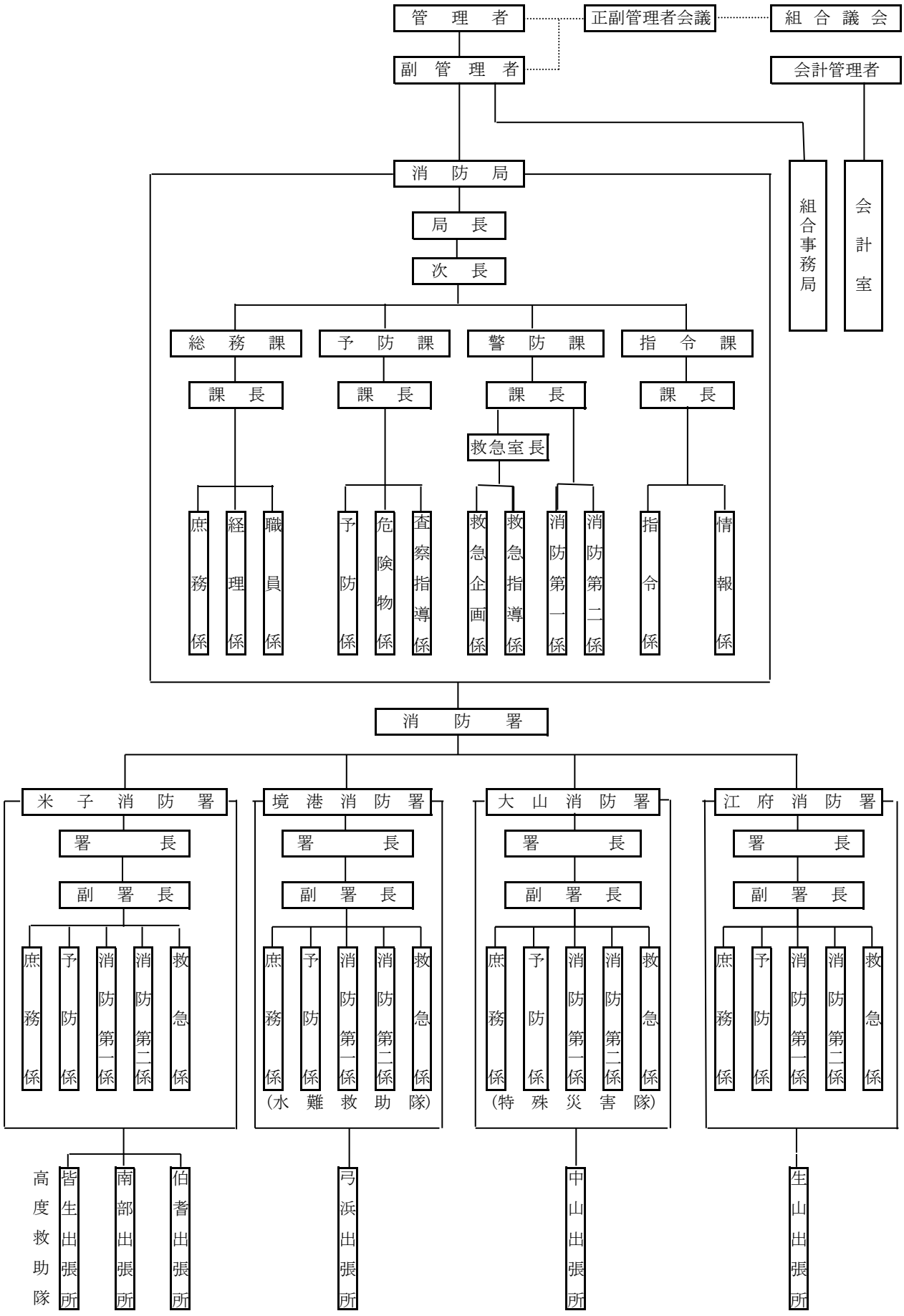
## 歴代議長

| | | |
|---|---|---|
| 初代 | 足立六郎 | (米子市) S47. 8.16～S50. 4.30 |
| 二代 | 田丸喜久治 | ( 〃 ) S50. 7.28～S54. 4.30 |
| 三代 | 安達昭男 | ( 〃 ) S54. 6. 2～S56. 6.29 |
| 四代 | 田村繁夫 | ( 〃 ) S56.10.16～S57.12. 9 |
| 五代 | 福谷清 | ( 〃 ) S58. 1.31～S58. 4.30 |
| 六代 | 広江弋 | ( 〃 ) S58. 6.10～S59. 7.19 |
| 七代 | 国尾茂 | ( 〃 ) S59.10. 8～S61. 7.17 |
| 八代 | 茅野恒治 | ( 〃 ) S61. 9. 5～S62. 4.30 |
| 九代 | 種原敏彦 | ( 〃 ) S62. 6.11～H元. 6.23 |
| 十代 | 塚田喜美 | ( 〃 ) H元. 6.23～H 3. 4.30 |
| 十一代 | 福谷清 | ( 〃 ) H 3. 6.13～H 5. 6.25 |
| 十二代 | 足芝孝幸 | ( 〃 ) H 5.10.25～H 7. 4.30 |
| 十三代 | 間瀬庄作 | ( 〃 ) H 7. 7.13～H11. 4.30 |
| 十四代 | 平田賢 | ( 〃 ) H11. 7.29～H13. 6.22 |
| 十五代 | 中本実夫 | ( 〃 ) H13. 7.12～H15. 4.30 |
| 十六代 | 生田薫 | ( 〃 ) H15. 7.28～H17. 3.30 |
| 十七代 | 生田薫 | ( 〃 ) H17. 4.15～H18. 6.30 |
| 十八代 | 吉岡知己 | ( 〃 ) H18. 7.20～H20. 7.10 |
| 十九代 | 中村昌哲 | ( 〃 ) H20. 7.25～H22. 6.30 |
| 二十代 | 渡辺照夫 | ( 〃 ) H22. 8.24～H24. 6.29 |
| 二十一代 | 松井義夫 | ( 〃 ) H24. 6.29～H26. 6.30 |
| 二十二代 | 渡辺穣爾 | ( 〃 ) H26. 8.28～H28. 8. 3 |
| 二十三代 | 尾沢三夫 | ( 〃 ) H28. 8. 3～ |

## 歴代消防長・消防局長

| | | |
|---|---|---|
| 初代消防長 | 名和義則 | S51. 5. 2～S57.3.31 |
| 第二代消防長 | 仲田末男 | S57. 4. 1～S59.6.30 |
| 第三代消防長 | 西田英二 | S59. 7. 1～H元. 3.31 |
| 第四代消防長 | 岩佐弘志 | H元. 4. 1～H 7.3.31 |
| 第五代消防局長 | 石上洋二 | H 7. 4. 1～H13.3.31 |
| 第六代消防局長 | 清水隆 | H13. 4. 1～H14.3.31 |
| 第七代消防局長 | 廣谷耕史 | H14. 4. 1～H17.3.31 |
| 第八代消防局長 | 中田正男 | H17. 4. 1～H20.3.31 |
| 第九代消防局長 | 浦木昇 | H20. 4. 1～H22.3.31 |
| 第十代消防局長 | 桑名強 | H22. 4. 1～H25.3.31 |
| 第十一代消防局長 | 武本和之 | H25. 4. 1～H27.3.31 |
| 第十二代消防局長 | 木山文也 | H27. 4. 1～H29.3.31 |
| 第十三代消防局長 | 天野智 | H29. 4. 1～ |

# 鳥取県西部広域行政管理組合消防局組織図



# 消 防 機 関 の 出 動 状 況

（平成２８年１月１日～平成２８年１２月３１日）

| 区分＼種別 | | 計<br>（ア）～（ス） | 火災<br>（ア） | 救急業務<br>（イ） | 救助活動<br>（ウ） |
|---|---|---|---|---|---|
| 消・防署局所 | 出動回数 | 13,769 | 125 | 10,654 | 154 |
| | 出動延人員 | 53,846 | 1,790 | 34,887 | 2,362 |

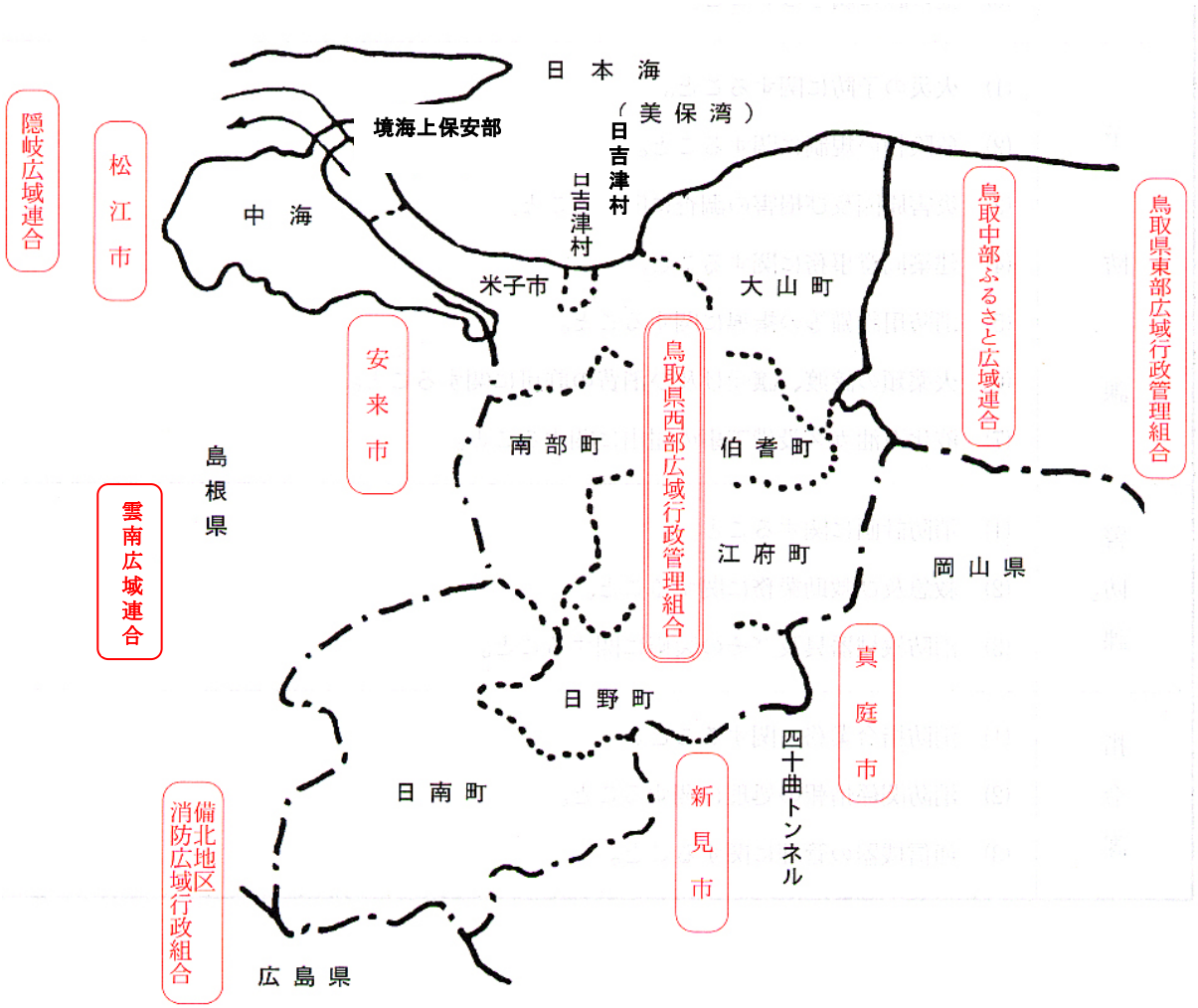
| 風水害等の災害<br>（エ） | 演習訓練<br>（オ） | 訓練・指導<br>（カ） | 警防調査<br>（キ） | 火災原因調査<br>（ク） |
|---|---|---|---|---|
| 10 | 65 | 382 | 90 | 118 |
| 36 | 388 | 1,957 | 313 | 944 |

| 特別警戒<br>（ケ） | 捜索<br>（コ） | 予防査察<br>（サ） | 誤報等<br>（シ） | その他<br>（ス） |
|---|---|---|---|---|
| 50 | 0 | 831 | 19 | 1,271 |
| 204 | 0 | 2,493 | 333 | 8,139 |

## 相互応援協定

平成29年4月1日現在

| 名　　称 | 協　　定　　団　　体 | 締結･改訂年月日 |
|---|---|---|
| 中海・宍道湖・大山圏域消防相互応援協定 | 松江市　（島根県）<br>安来市　（　〃　）<br>出雲市　（　〃　） | 平成28年 7月 8日 |
| 隠岐島の救急業務の共同処理 | 松江市　（島根県）<br>出雲市　（　〃　）<br>隠岐広域連合　（　〃　） | 平成14年 1月 1日<br>(改) |
| 高速自動車国道中国横断自動車道岡山米子線における消防相互応援に関する協定 | 真庭市　（岡山県） | 平成17年10月 1日<br>(改) |
| 山陰道（米子西～安来）における消防相互応援に関する協定 | 安来市　（島根県） | 平成24年 3月14日 |
| 鳥取県下広域消防相互応援協定 | 鳥取県東部広域行政管理組合<br>鳥取中部ふるさと広域連合 | 平成19年 4月30日<br>(改) |
| 鳥取県西部広域行政管理組合と備北地区消防広域行政組合の消防相互応援協定 | 備北地区消防広域行政組合（広島県） | 平成12年 3月31日 |
| 消防相互応援に関する協定書 | 新見市　（岡山県）<br>真庭市　（　〃　） | 平成17年10月 1日<br>(改) |
| | 雲南広域連合　（島根県） | 平成23年 9月 1日改) |



# 事　務　分　掌

## １．消防局事務分掌

平成29年4月1日現在

| | |
|---|---|
| 総務課 | （１）　人事、給与、服務及び例規に関すること。<br>（２）　総合計画及び企画に関すること。<br>（３）　予算及び経理に関すること。<br>（４）　消防用財産に関すること。<br>（５）　職員の研修に関すること。<br>（６）　他の課に属さないこと。 |
| 予防課 | （１）　火災の予防に関すること。<br>（２）　危険物の規制に関すること。<br>（３）　火災原因及び損害の調査に関すること。<br>（４）　建築同意事務に関すること。<br>（５）　消防用設備等の指導に関すること。<br>（６）　火薬類の譲渡、譲受け及び消費の許可に関すること。<br>（７）　液化石油ガス設備工事の届出に関すること。 |
| 警防課 | （１）　消防計画に関すること。<br>（２）　救急及び救助業務に関すること。<br>（３）　消防機械器具及びその装備に関すること。 |
| 指令課 | （１）　消防指令業務に関すること。<br>（２）　消防関係情報の処理に関すること。<br>（３）　通信機器の管理に関すること。 |

## ２．消防署事務分掌

| | |
|---|---|
| 庶務係 | （１）　署内人事及び賞罰に関すること。<br>（２）　署員の教養訓練及び服務に関すること。<br>（３）　経理に関すること。<br>（４）　各種統計に関すること。<br>（５）　他の分掌に属さないこと。 |
| 予防係 | （１）　災害の調査に関すること。<br>（２）　予防査察に関すること。<br>（３）　危険物の規制に関すること。<br>（４）　建築同意に関すること。<br>（５）　火災予防の啓発、宣伝に関すること。<br>（６）　火災原因及び損害の調査に関すること。<br>（７）　液化石油ガス設備工事の届出に関すること。 |
| 消防第一係 | （１）　水火災の警戒、防ぎょに関すること。<br>（２）　水火災の警防計画に関すること。<br>（３）　消防訓練の実施に関すること。<br>（４）　災害の情報の処理に関すること。<br>（５）　救助業務に関すること。<br>（６）　消防用器具の維持管理に関すること。 |

| | |
|---|---|
| 消防第二係 | （１）　消防機械に関する教養及び訓練に関すること。<br>（２）　消防機械の整備、保全及び検査に関すること。<br>（３）　消防用地理、水利の点検、調査及び情報に関すること。<br>（４）　通信指令機器の維持管理に関すること。 |
| 救急係 | （１）　救急隊業務に関すること。<br>（２）　救急指定医療機関との連携調整に関すること。<br>（３）　救急統計、報告等に関すること。 |

### ３．出張所事務分掌

| |
|---|
| （１）　火災その他災害防ぎょに関すること。 |
| （２）　文書の収受、発送及び記録の整備保全に関すること。 |
| （３）　庁舎の維持管理及び諸物品の保管に関すること。 |
| （４）　所属職員の教養訓練に関すること。 |
| （５）　予防査察に関すること。 |
| （６）　火災予防条例による届出に基づく調査指導に関すること。 |
| （７）　火災予防の啓発、宣伝に関すること。 |
| （８）　火災原因及び損害の調査に関すること。 |
| （９）　消防用地理、水利の点検及び調査に関すること。 |
| (10)　消防用器具及び消防機械の整備保全に関すること。 |
| (11)　水火災その他災害情報連絡及び消防通信に関すること。 |
| (12)　救急業務に関すること。 |
| (13)　救助業務に関すること。 |
| (14)　その他出張所に関すること。 |

# 消　防　職　員

**(1-1) 職員配置状況**　　平成29年4月1日現在

| 区　分 | 条例定員 | 実員 | 消防正監 | 消防監 | 消防司令長 | 消防司令 | 消防司令補 | 消防士長 | 消防副士長 | 消防士 | 事務職員 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 昭51.5. 1 | 143 | 112 | | 1 | 4 | 5 | 14 | 30 | 7 | 48 | 3 |
| 昭51.7. 1 | 143 | 143 | | 1 | 4 | 5 | 14 | 30 | 7 | 79 | 3 |
| 昭52.4. 1 | 208 | 206 | 1 | 2 | 2 | 3 | 18 | 40 | 5 | 132 | 3 |
| 昭53.4. 1 | 208 | 207 | 1 | 2 | 2 | 4 | 25 | 43 | 7 | 120 | 3 |
| 昭54.4. 1 | 220 | 220 | 1 | 1 | 3 | 5 | 25 | 50 | 5 | 127 | 3 |
| 昭55.4. 1 | 232 | 232 | 1 | 2 | 2 | 10 | 22 | 50 | 16 | 126 | 3 |
| 昭56.4. 1 | 242 | 242 | 1 | 2 | 3 | 8 | 22 | 48 | 16 | 140 | 2 |
| 昭57.4. 1 | 246 | 246 | 1 | | 7 | 8 | 23 | 53 | 11 | 141 | 2 |
| 昭58.7. 1 | 246 | 246 | 1 | 2 | 5 | 9 | 31 | 48 | 31 | 117 | 2 |
| 昭59.7. 1 | 246 | 246 | 1 | 2 | 6 | 9 | 30 | 51 | 28 | 117 | 2 |
| 昭60.7. 1 | 246 | 245 | 1 | 1 | 7 | 9 | 30 | 52 | 28 | 115 | 2 |
| 昭61.3.31 | 246 | 245 | 1 | 1 | 7 | 6 | 32 | 52 | 28 | 116 | 2 |
| 昭62.3.31 | 246 | 245 | 1 | 1 | 7 | 7 | 31 | 52 | 28 | 116 | 2 |
| 昭63.3.31 | 246 | 245 | 1 | 2 | 6 | 7 | 33 | 51 | 28 | 115 | 2 |
| 平元.4. 1 | 253 | 253 | 1 | 2 | 6 | 7 | 33 | 52 | 28 | 112 | 2 |
| 平 2.4. 1 | 258 | 258 | 1 | 2 | 6 | 7 | 36 | 57 | 32 | 115 | 2 |
| 平 3.4. 1 | 262 | 262 | 1 | 2 | 6 | 11 | 38 | 59 | 33 | 110 | 2 |
| 平 4.4. 1 | 264 | 264 | 1 | 2 | 6 | 11 | 43 | 63 | 33 | 103 | 2 |
| 平 5.4. 1 | 277 | 277 | 1 | 2 | 6 | 13 | 48 | 63 | 43 | 99 | 2 |
| 平 6.4. 1 | 284 | 284 | 1 | 1 | 7 | 14 | 49 | 66 | 53 | 91 | 2 |
| 平 7.4. 1 | 284 | 284 | 1 | 2 | 8 | 12 | 54 | 67 | 55 | 83 | 2 |
| 平 8.4. 1 | 287 | 284 | 1 | 2 | 8 | 12 | 60 | 71 | 53 | 75 | 2 |
| 平 9.4. 1 | 287 | 287 | 1 | 2 | 8 | 12 | 63 | 72 | 53 | 74 | 2 |
| 平10.4. 1 | 287 | 287 | 1 | 2 | 8 | 12 | 64 | 74 | 56 | 68 | 2 |
| 平11.4. 1 | 287 | 287 | 1 | 2 | 8 | 12 | 64 | 74 | 56 | 68 | 2 |
| 平12.4. 1 | 287 | 286 | 1 | 2 | 8 | 13 | 63 | 74 | 56 | 67 | 2 |
| 平13.4. 1 | 287 | 287 | 1 | 2 | 8 | 14 | 63 | 74 | 57 | 66 | 2 |
| 平14.4. 1 | 287 | 287 | 1 | 2 | 8 | 15 | 63 | 82 | 51 | 63 | 2 |
| 平15.4. 1 | 287 | 287 | 1 | 2 | 8 | 15 | 64 | 91 | 38 | 66 | 2 |
| 平16.4. 1 | 287 | 287 | 1 | 2 | 9 | 33 | 59 | 91 | 37 | 53 | 2 |
| 平17.4. 1 | 292 | 290 | 1 | 3 | 11 | 38 | 63 | 90 | 36 | 46 | 3 |
| 平18.4. 1 | 292 | 291 | 1 | 2 | 12 | 47 | 72 | 91 | 29 | 34 | 3 |
| 平19.4. 1 | 292 | 292 | 1 | 2 | 14 | 45 | 77 | 89 | 28 | 33 | 3 |
| 平20.4. 1 | 292 | 292 | 1 | 2 | 14 | 47 | 78 | 89 | 27 | 31 | 3 |
| 平21.4. 1 | 292 | 292 | 1 | 5 | 11 | 49 | 77 | 110 | 3 | 34 | 2 |
| 平22.4. 1 | 304 | 303 | 1 | 3 | 14 | 54 | 79 | 113 | 11 | 26 | 2 |
| 平23.4. 1 | 313 | 313 | 1 | 3 | 15 | 62 | 102 | 81 | 4 | 43 | 2 |
| 平24.4. 1 | 322 | 321 | 1 | 3 | 16 | 68 | 99 | 76 | 0 | 56 | 2 |
| 平25.4. 1 | 327 | 327 | 1 | 1 | 19 | 75 | 99 | 64 | 14 | 52 | 2 |
| 平26.4. 1 | 319 | 318 | 1 | 3 | 17 | 64 | 95 | 63 | 20 | 51 | 2 |
| 平27.4. 1 | 314 | 314 | 1 | 3 | 17 | 75 | 87 | 54 | 26 | 49 | 2 |
| 平28.4. 1 | 312 | 311 | 1 | 6 | 13 | 73 | 78 | 52 | 30 | 57 | 1 |
| 平29.4. 1 | 314 | 314 | 1 | 3 | 16 | 74 | 75 | 51 | 36 | 57 | 1 |

(1-2) 職員配置状況

平成29年4月1日現在

| | | 実　員 | 消防正監 | 消防監 | 消防司令長 | 消防司令 | 消防司令補 | 消防士長 | 消防副士長 | 消防士 | 事務職員 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 消防局 | 消防局長 | 1 | 1 | | | | | | | | |
| | 次　長 | 2 | | 2 | | | | | | | |
| | 総務課 | 7(1) | | (1) | 1 | 3 | 2 | | | | 1 |
| | 予防課 | 6 | | | 2 | 3 | 1 | | | | |
| | 警防課 | 7 | | 1 | 1 | 4 | 1 | | | | |
| | 指令課 | 15 | | | 2 | 6 | 4 | 3 | | | |
| | 派遣中の者 | 23 | | | | 1 | 3 | | | 19 | |
| 米子消防署 | 本　署 | 57(1) | | (1) | 2 | 12 | 16 | 10 | 6 | 11 | |
| | 皆生出張所 | 27 | | | 1 | 2 | 11 | 12 | 1 | | |
| | 南部出張所 | 14 | | | | 3 | 4 | 2 | 3 | 2 | |
| | 伯耆出張所 | 14 | | | | 3 | 4 | 2 | 2 | 3 | |
| 境港消防署 | 本　署 | 43 | | | 3 | 10 | 9 | 11 | 5 | 5 | |
| | 弓浜出張所 | 14 | | | | 3 | 4 | 2 | 2 | 3 | |
| 大山消防署 | 本　署 | 28 | | | 2 | 9 | 4 | 2 | 6 | 5 | |
| | 中山出張所 | 14 | | | | 3 | 4 | 2 | 3 | 2 | |
| 江府消防署 | 本　署 | 28 | | | 2 | 9 | 4 | 3 | 5 | 5 | |
| | 生山出張所 | 14 | | | | 3 | 4 | 2 | 3 | 2 | |
| 合　計 | | 314<br>(2) | 1 | 3<br>(2) | 16 | 74 | 75 | 51 | 36 | 57 | 1 |

(　)は兼務

**（2） 職員在職年数**

平成29年4月1日現在

| | 計 | 消防正監 | 消防監 | 消防司令長 | 消防司令 | 消防司令補 | 消防士長 | 消防副士長 | 消防士 | 事務職員 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人数 | 314 | 1 | 3 | 16 | 74 | 75 | 51 | 36 | 57 | 1 |
| 平均年数 | 17 | 40 | 36 | 38 | 32 | 21 | 6 | 4 | 1 | 17 |
| 1年未満 | 19 | | | | | | | | 19 | |
| 1年 | 26 | | | | | | | | 26 | |
| 2年 | 12 | | | | | | | | 12 | |
| 3年 | 19 | | | | | | | 19 | | |
| 4年 | 15 | | | | | | 3 | 12 | | |
| 5年 | 17 | | | | | | 12 | 5 | | |
| 6年 | 19 | | | | | | 19 | | | |
| 7年 | 13 | | | | | | 13 | | | |
| 8年 | 4 | | | | | 2 | 2 | | | |
| 9年 | 3 | | | | | 3 | | | | |
| 10年 | 2 | | | | | 1 | 1 | | | |
| 11年 | 2 | | | | | 2 | | | | |
| 12年 | 7 | | | | | 6 | 1 | | | |
| 13年 | 1 | | | | | 1 | | | | |
| 14年 | 3 | | | | | 3 | | | | |
| 15年 | 2 | | | | | 2 | | | | |
| 16年 | 6 | | | | | 6 | | | | |
| 17年 | 1 | | | | | | | | | 1 |
| 18年 | 1 | | | | | 1 | | | | |
| 19年 | 1 | | | | | 1 | | | | |
| 20年 | 5 | | | | | 5 | | | | |
| 21年 | | | | | | | | | | |
| 22年 | 3 | | | | 1 | 2 | | | | |
| 23年 | 11 | | | | 2 | 9 | | | | |
| 24年 | 14 | | | | 2 | 12 | | | | |
| 25年 | 4 | | | | 1 | 3 | | | | |
| 26年 | 11 | | | | 8 | 3 | | | | |
| 27年 | 6 | | | | 3 | 3 | | | | |
| 28年 | 10 | | | | 8 | 2 | | | | |
| 29年 | 3 | | | | 3 | | | | | |
| 30年 | 5 | | | | 4 | 1 | | | | |
| 31年 | 4 | | | | 3 | 1 | | | | |
| 32年 | 3 | | 1 | | 2 | | | | | |
| 33年 | 3 | | | | 3 | | | | | |
| 34年 | 3 | | | | 3 | | | | | |
| 35年 | 9 | | | 3 | 5 | 1 | | | | |
| 36年 | 8 | | 1 | 1 | 4 | 2 | | | | |
| 37年 | 6 | | | 4 | 2 | | | | | |
| 38年 | 6 | | | 2 | 4 | | | | | |
| 39年 | 1 | | | 1 | | | | | | |
| 40年 | 25 | 1 | | 5 | 16 | 3 | | | | |
| 41年 | 1 | | 1 | | | | | | | |
| 42年 | | | | | | | | | | |
| 43年 | | | | | | | | | | |
| 44年 | | | | | | | | | | |
| 45年 | | | | | | | | | | |

**（3） 職員年齢構成**

平成29年4月1日現在

| | 計 | 消防正監 | 消防監 | 消防司令長 | 消防司令 | 消防司令補 | 消防士長 | 消防副士長 | 消防士 | 事務職員 | 年齢合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人数 | 314 | 1 | 3 | 16 | 74 | 75 | 51 | 36 | 57 | 1 | 11,743 |
| 平均年齢 | 37.4 | 59.0 | 56.0 | 56.9 | 51.8 | 41.9 | 28.8 | 24.8 | 21.5 | 44.0 | 37.4 |
| 18歳未満 | | | | | | | | | | | |
| 18歳 | 6 | | | | | | | | 6 | | 108 |
| 19歳 | 9 | | | | | | | | 9 | | 171 |
| 20歳 | 11 | | | | | | | | 11 | | 220 |
| 21歳 | 9 | | | | | | | 4 | 5 | | 189 |
| 22歳 | 12 | | | | | | | 4 | 8 | | 264 |
| 23歳 | 12 | | | | | | | 7 | 5 | | 276 |
| 24歳 | 14 | | | | | | 8 | 1 | 5 | | 336 |
| 25歳 | 11 | | | | | | 3 | 6 | 2 | | 275 |
| 26歳 | 10 | | | | | | 2 | 5 | 3 | | 260 |
| 27歳 | 8 | | | | | | 5 | 2 | 1 | | 216 |
| 28歳 | 12 | | | | | 1 | 7 | 2 | 2 | | 336 |
| 29歳 | 12 | | | | | | 9 | 3 | | | 348 |
| 30歳 | 5 | | | | | | 3 | 2 | | | 150 |
| 31歳 | 3 | | | | | 2 | 1 | | | | 93 |
| 32歳 | 5 | | | | | 2 | 3 | | | | 160 |
| 33歳 | 4 | | | | | | 4 | | | | 132 |
| 34歳 | 7 | | | | | 3 | 4 | | | | 238 |
| 35歳 | 6 | | | | | 5 | 1 | | | | 210 |
| 36歳 | 4 | | | | | 3 | 1 | | | | 144 |
| 37歳 | 2 | | | | | 2 | | | | | 74 |
| 38歳 | 5 | | | | | 5 | | | | | 190 |
| 39歳 | 5 | | | | | 5 | | | | | 195 |
| 40歳 | 3 | | | | | 3 | | | | | 120 |
| 41歳 | 6 | | | | 2 | 4 | | | | | 246 |
| 42歳 | 12 | | | | 2 | 10 | | | | | 504 |
| 43歳 | 6 | | | | | 6 | | | | | 258 |
| 44歳 | 13 | | | | 6 | 6 | | | | 1 | 572 |
| 45歳 | 7 | | | | 2 | 5 | | | | | 315 |
| 46歳 | 8 | | | | 6 | 2 | | | | | 368 |
| 47歳 | 6 | | | | 5 | 1 | | | | | 282 |
| 48歳 | 4 | | | | 3 | 1 | | | | | 192 |
| 49歳 | 3 | | | | 2 | 1 | | | | | 147 |
| 50歳 | 3 | | | | 3 | | | | | | 150 |
| 51歳 | 2 | | | | 2 | | | | | | 102 |
| 52歳 | 5 | | | | 4 | 1 | | | | | 260 |
| 53歳 | 5 | | | 1 | 4 | | | | | | 265 |
| 54歳 | 5 | | 1 | | 4 | | | | | | 270 |
| 55歳 | 6 | | 1 | 4 | 1 | | | | | | 330 |
| 56歳 | 7 | | | 1 | 5 | 1 | | | | | 392 |
| 57歳 | 6 | | | 2 | 4 | | | | | | 342 |
| 58歳 | 22 | | | 5 | 12 | 5 | | | | | 1,276 |
| 59歳 | 13 | 1 | 1 | 3 | 7 | 1 | | | | | 767 |
| 60歳 | | | | | | | | | | | |

## （4） 職員研修

ア. 委 託 研 修

平成29年4月1日現在

| 教育内容＼年度別 | | 計 | 元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 | 18年 | 19年 | 20年 | 21年 | 22年 | 23年 | 24年 | 25年 | 26年 | 27年 | 28年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 消防大学校 | 本科 | 5 | 5 | | | 1 | | | 1 | | | 1 | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | |
| | 幹部科 | 3 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | |
| | 上級幹部科 | 2 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | |
| | 予防科 | 7 | 10 | | | | | 1 | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | | |
| | 警防科 | 7 | 7 | | | | 1 | | 1 | 1 | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | 1 | | |
| | 救急科 | 5 | 4 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | 1 | | 1 | |
| | 救助科 | 8 | 1 | 1 | | | 1 | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | 1 | | 1 | | | 1 | 1 |
| | 危険物（保安）科 | 2 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | |
| | 火災原因調査科 | 0 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 機械技術者養成科 | 0 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 火災調査科 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 火災調査講習会 | 5 | | 1 | | 1 | | | | | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 危機管理セミナー | 3 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | |
| | 緊急消防援助隊教育科（ＮＢＣ対策コース） | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| | 緊急消防援助隊教育科（指揮隊長コース） | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | 1 | | 1 |
| | 高度救助コース | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | |
| | 防災講習会 | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 危機管理講習会 | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 違反是正特別講習 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| 島根県消防学校 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | |
| 救急救命東京研修所 | | 44 | | | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 3 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | | 2 |
| 救急救命九州研修所 | | 42 | | | | | | | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 4 | 2 |
| 救急救命士業務実地修練 | | 13 | | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | 1 | | 1 | 1 | | | | | | | | 1 | 1 | | 1 |
| 海上自衛隊第一術科学校 | | 4 | | | | | | | | | 2 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 独立行政法人　海洋研究開発機構（潜水技術研修） | | 9 | | | | | | | | | | | | | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | | |
| 海上自衛隊舞鶴潜水技術研修 | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | |
| 陸上自衛隊化学学校 | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鈴鹿サーキット交通教育 | | 6 | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | | |
| 鳥取県消防学校 | 初任教育 | 192 | 37 | 7 | 11 | 4 | 15 | 11 | 3 | | 5 | 1 | 1 | | 7 | 3 | 3 | | 8 | 2 | 2 | 3 | 5 | 14 | 20 | 18 | 15 | 20 | 14 | |
| | 初任総合教育 | 26 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 26 |
| | 現任教育 | 10 | 28 | 10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 幹部教育 | 82 | 30 | 5 | 5 | 5 | 4 | 5 | 5 | 4 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 4 | | | | | | 5 | | | | | |
| | 上級幹部教育 | 10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 | | | 5 |
| | 中級幹部教育 | 30 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 | 5 | 5 | 5 | | 5 | | | 5 | |
| | 初級幹部科 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 | | |
| | 課・署長研修会 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | 5 | | | | | | | | | | | | | |
| | 救急Ⅰ課程 | 68 | | 12 | | | 15 | 15 | 15 | 11 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 救急Ⅱ課程 | 180 | | | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 25 | 20 | 20 | 8 | 12 | 7 | 21 | 12 | | | | | | | | | | | | | |
| | 救急科 | 162 | | | | | | | | | | | 6 | 4 | 7 | | 12 | 11 | | 6 | 8 | 7 | | 14 | 20 | 18 | 15 | 20 | 14 | |
| | 救急実務研修会 | 14 | | | | | | | | | | | 3 | | 3 | 3 | 5 | | | | | | | | | | | | | |
| | 救急救命士講習（挿管） | 42 | | | | | | | | | | | | | | | | 8 | 22 | 12 | | | | | | | | | | |
| | 救急救命士講習（薬剤） | 44 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 | 16 | 8 | 14 | | | | | | | |
| | 外傷研修 | 25 | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 | 10 | 10 | | | | | | | | | |
| | 危険物科 | 25 | | 5 | | 5 | | | | | | | 5 | | | | | | | | | | | | 5 | | | 5 | | |
| | 救助科 | 74 | 20 | | 5 | 5 | | | 5 | 5 | 5 | | | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | | | | 4 | | 5 | | 5 | | 5 | |
| | 特殊災害科 | 24 | | | | | | | | | | | | | | | | 5 | 5 | 4 | | | | | | 5 | | | 5 | |
| | 無線通信科 | 19 | | 5 | | | | | | 14 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 機関科 | 10 | | | 5 | | | | | | | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 火災調査科 | 54 | | | | 5 | | | 5 | 4 | 5 | 5 | | 5 | 5 | 5 | | 5 | | | | | | | | | 5 | | | 5 |
| | 電気設備科 | 5 | 9 | | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予防査察科 | 39 | 10 | | | | 4 | | | | | | | | | | | 5 | | 5 | | 5 | 5 | | | 5 | | 5 | | 5 |
| | 警防科 | 38 | | | | | 4 | 5 | | | 4 | | | | | 5 | | 5 | | | | | | | | 5 | | 5 | | 5 |
| | 予防科 | 25 | | | 5 | | | 5 | | | | 5 | | | | | 5 | | | | 5 | | | | | | | | | |
| | 梯子自動車講習会 | 12 | | | | | 12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 昇任者研修 | 11 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 | 5 | | | | | | | |
| | 指揮研修 | 45 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 | | 10 | 10 | 10 | 10 | | | |
| | 管理職研修 | 15 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 | 5 | 5 | | | | |
| | 警防研修 | 10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 3 | 3 | 3 | |
| | 救助研修 | 13 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 5 | 5 | | |
| | 実火災体験型訓練コース | 59 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 20 | 19 | 20 |
| | 予防研修(違反是正コース) | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 |

イ. 局内教養研修及び訓練　　平成29年3月31日現在

| 内　　容 | 回　　数 | 延　　人　　員 |
|---|---|---|
| 予　防　研　修 | 15 | 234 |
| 警防研修及び訓練 | 19 | 196 |
| 救助研修及び訓練 | 271 | 2,595 |
| 水難救助研修及び訓練 | 17 | 203 |
| 救急研修及び訓練 | 57 | 316 |
| 一　般　教　養　研　修 | 4 | 164 |
| 計 | 383 | 3,708 |

○日本臨床救急医学会　10名　○全国救急隊員シンポジウム　38名
○日本救急医学会中国四国地方会　15名　○山陰救急医学会　80名
○日本集団災害医学会　5名

**（5） 職員採用試験（平成29年4月1日採用）**

第　1　次　教養試験・適性検査・体力試験　平成 28年 9 月 18 日　鳥取県消防学校

第　2　次　作文試験・面接試験　平成 28 年 10月 22 日　消　防　局

| | 総　　数 | 試験区分(1) | 試験区分(2) |
|---|---|---|---|
| 応　募　者 | 92 | 70 | 22 |
| 合　格　者 | 19 | 13 | 6 |

○試験区分(1)：平成元年4月2日以降に生まれた方
○試験区分(2)：平成29年3月高等学校卒業見込みの方

# 消防予算の状況

# 消 防 予 算 の 状 況

## （1） 平成29年度当初予算額の対前年度比較

（単位:千円）

| 科　　目 | 平成29年度予算 | 平成28年度予算 | 比 較 増 減 |
|---|---|---|---|
| (款) 消 防 費 | 3,325,604 | 3,718,258 | △ 392,654 |
| (項) 消 防 費 | 3,325,604 | 3,718,258 | △ 392,654 |
| (目) 1 常 備 消 防 費 | 2,967,917 | 3,096,036 | △ 128,119 |
| (節) 1 報　　酬 | 1,620 | 1,620 | 0 |
| 2 給　　料 | 1,119,490 | 1,142,085 | △ 22,595 |
| 3 職 員 手 当 等 | 930,148 | 949,805 | △ 19,657 |
| 4 共 済 費 | 357,073 | 381,432 | △ 24,359 |
| 5 災 害 補 償 費 | 10 | 10 | 0 |
| 8 報 償 費 | 360 | 362 | △ 2 |
| 9 旅　　費 | 2,548 | 2,245 | 303 |
| 10 交 際 費 | 10 | 10 | 0 |
| 11 需 用 費 | 107,529 | 107,875 | △ 346 |
| 12 役 務 費 | 30,824 | 27,759 | 3,065 |
| 13 委 託 料 | 68,396 | 69,155 | △ 759 |
| 14 使 用 料 及 び 貸 借 料 | 7,847 | 8,670 | △ 823 |
| 16 原 材 料 費 | 180 | 180 | 0 |
| 18 備 品 購 入 費 | 3,829 | 1,000 | 2,829 |
| 19 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金 | 24,088 | 27,629 | △ 3,541 |
| 22 補 償 補 填 及 び 賠 償 費 | 300 | 300 | 0 |
| 25 積 立 金 | 311,794 | 373,640 | △ 61,846 |
| 27 公 課 費 | 1,871 | 2,259 | △ 388 |
| | | | |
| (目) 2 消 防 施 設 費 | 357,687 | 622,222 | △ 264,535 |
| (節)11 需 用 費 | 47,444 | 14,445 | 32,999 |
| 13 委 託 料 | 25,026 | 16,386 | 8,640 |
| 15 工 事 請 負 費 | 204,775 | 450,812 | △ 246,037 |
| 18 備 品 購 入 費 | 79,324 | 139,644 | △ 60,320 |
| 19 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金 | 1,118 | 935 | 183 |

## （2） 平成29年度当初予算額の財源内訳

（単位:千円）

| 区分 / 科目 | 予算額 | 財源内訳 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 特定財源 | | | 一般財源 |
| | | 国・県支出金 | 地方債 | その他 | |
| (款) 消防費 | 3,325,604 | 22,126 | 164,000 | 296,573 | 2,842,905 |
| (項) 消防費 | 3,325,604 | 22,126 | 164,000 | 296,573 | 2,842,905 |
| (目) 常備消防費 | 2,967,917 | 6,446 | 0 | 296,123 | 2,665,348 |
| (目) 消防施設費 | 357,687 | 15,680 | 164,000 | 450 | 177,557 |

## （3） 平成28年度決算額

（単位:円）

| 科目 | 当初予算額 | 予算現額 | 決算見込額 |
|---|---|---|---|
| (款) 消防費 | 3,718,258,000 | 3,800,785,200 | 3,736,600,922 |
| (項) 消防費 | 3,718,258,000 | 3,800,785,200 | 3,736,600,922 |
| (目) 1 常備消防費 | 3,096,036,000 | 3,196,163,200 | 3,176,089,569 |
| (節) 1 報酬 | 1,620,000 | 1,620,000 | 1,620,000 |
| 2 給料 | 1,142,085,000 | 1,150,535,000 | 1,150,402,327 |
| 3 職員手当等 | 949,805,000 | 1,014,424,000 | 1,002,565,629 |
| 4 共済費 | 381,432,000 | 364,570,000 | 364,536,083 |
| 5 災害補償費 | 10,000 | 10,000 | 0 |
| 8 報償費 | 362,000 | 355,000 | 307,600 |
| 9 旅費 | 2,245,000 | 2,513,000 | 2,405,810 |
| 10 交際費 | 10,000 | 10,000 | 0 |
| 11 需用費 | 107,875,000 | 104,983,000 | 99,988,861 |
| 12 役務費 | 27,759,000 | 29,083,000 | 27,621,504 |
| 13 委託料 | 69,155,000 | 69,631,000 | 69,246,454 |
| 14 使用料及び貸借料 | 8,670,000 | 8,785,200 | 8,662,312 |
| 16 原材料費 | 180,000 | 180,000 | 135,433 |
| 18 備品購入費 | 1,000,000 | 1,000,000 | 864,944 |
| 19 負担金補助及び交付金 | 27,629,000 | 27,076,000 | 26,637,236 |
| 22 補償補填及び賠償費 | 300,000 | 300,000 | 86,076 |
| 25 積立金 | 373,640,000 | 418,890,000 | 418,890,000 |
| 27 公課費 | 2,259,000 | 2,198,000 | 2,119,300 |
| (目) 2 消防施設費 | 622,222,000 | 604,622,000 | 560,511,353 |
| (節) 11 需用費 | 14,445,000 | 21,322,000 | 19,857,475 |
| 13 委託料 | 16,386,000 | 0 | 0 |
| 15 工事請負費 | 450,812,000 | 451,384,000 | 408,790,440 |
| 18 備品購入費 | 139,644,000 | 131,205,000 | 131,152,942 |
| 19 負担金補助及び交付金 | 935,000 | 711,000 | 710,496 |

# 消　防　施　設

# 消　防　施　設　等　の　状　況

## (1) 消防庁舎の位置・構造

平成29年4月1日現在

| 名称 | 所在地 | 構造 | 建物延面積 | 敷地面積 |
|---|---|---|---|---|
| 消防局 | 米子市両三柳5452番地 | 鉄骨鉄筋コンクリート造6階建 | 3,972.30 | 6,865.23 |
| 主訓練塔 | | 鉄骨鉄筋コンクリート造7階建 | 637.00 | |
| 副訓練塔 | | 鉄骨造2階建 | 141.00 | |
| 米子消防署 | 米子市冨士見町<br>一丁目103番地1 | 鉄筋コンクリート造3階建 | 2,305.35 | 2,211.85 |
| 米子消防署<br>皆生出張所 | 米子市上福原<br>313番地1 | 鉄骨造2階建 | 1,322.00 | 3,113.00 |
| 米子消防署<br>南部出張所 | 西伯郡南部町<br>清水川3番地1 | 鉄筋コンクリート造平屋建 | 285.81 | 749.18 |
| 米子消防署<br>伯耆出張所 | 西伯郡伯耆町<br>溝口20番地4 | 〃 | 281.67 | 900.96 |
| 境港消防署 | 境港市中野町2116番地 | 鉄筋コンクリート造2階建 | 1,565.70 | 5,560.00 |
| 境港消防署<br>弓浜出張所 | 米子市大篠津町<br>2913番地1 | 鉄筋コンクリート造平屋建<br>鉄骨造平屋建(自動車車庫) | 199.88<br>52.00 | 746.00 |
| 大山消防署 | 西伯郡大山町<br>末吉403番地2 | 鉄筋コンクリート造平屋建<br>鉄骨造2階建 | 503.50 | 1,884.87 |
| 大山消防署<br>中山出張所 | 西伯郡大山町長野<br>880番地3 | 鉄筋コンクリート造平屋建<br>(一部鉄骨造) | 330.29 | 1,136.38 |
| 江府消防署 | 日野郡江府町大字<br>武庫1390番地3 | 鉄筋コンクリート造<br>鉄骨造2階建 | 513.66 | 1,051.00 |
| 江府消防署<br>生山出張所 | 日野郡日南町<br>生山349番地1 | 鉄筋コンクリート造平屋建 | 229.70 | 782.20 |
| 古峠山無線<br>中継所 | 西伯郡伯耆町二部字<br>間地山2143番地1 | 鉄骨造平屋建ALC板<br>付属設備(送受信塔)鉄骨造<br>16．5m | 28.73 | 100.00 |
| 鬼林山無線中継所 | 日南町神福字<br>塩滝山2069番地 | 鉄骨造平屋建 | 20.00 | 93.10 |
| 一息坂無線中継所 | 大山町羽田井字<br>大谷1420番地 | 鉄骨造平屋建<br>付属設備(送受信塔)鉄骨造<br>17．3m | 20.00 | 107.75 |

(2)消防吏員待機宿舎概要

| 名称 | 所在地 | 構造 | 建物延面積 | 敷地面積 |
|---|---|---|---|---|
| 生山北寮(独身寮)<br>消防待機宿舎北寮 | 日野郡日南町<br>生山349番地 | 鉄筋コンクリート造平屋建 | 107.00 | 365.14 |

## (3) 消防車輌等配置数

平成29年4月1日現在

| 車種別 / 推移 | 総数 | 消防ポンプ自動車 | 水槽付消防ポンプ自動車 | 化学消防自動車 | はしご付消防自動車 | 救助工作車 | 高発泡車 | 救急自動車（２Ｂ） | 救急自動車（高規格） | 指揮車 | 査察・広報車 | 作業車 | 消防艇 | 電源・照明車 | 資機材搬送車 | その他車輌 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平元. 4. 1 | 60 | 20 | 4 | 2 | 2 | 2 | | 11 | | 5 | 10 | 1 | | 1 | 1 | 1 |
| 平 2. 4. 1 | 61 | 20 | 4 | 2 | 2 | 2 | | 12 | | 5 | 10 | 1 | | 1 | 1 | 1 |
| 平 3. 4. 1 | 67 | 21 | 4 | 2 | 2 | 2 | | 12 | | 5 | 15 | 1 | | 1 | 1 | 1 |
| 平 4. 4. 1 | 68 | 21 | 4 | 3 | 2 | 2 | | 12 | | 5 | 16 | 1 | | 1 | | 1 |
| 平 5. 4. 1 | 70 | 21 | 4 | 3 | 2 | 2 | | 12 | 1 | 5 | 17 | 1 | | 1 | | 1 |
| 平 6. 4. 1 | 72 | 21 | 4 | 3 | 2 | 2 | | 12 | 1 | 5 | 19 | 1 | | 1 | | 1 |
| 平 7. 4. 1 | 75 | 21 | 4 | 3 | 2 | 2 | | 12 | 2 | 5 | 21 | 1 | | 1 | | 1 |
| 平 8. 4. 1 | 76 | 21 | 4 | 3 | 2 | 3 | | 12 | 2 | 5 | 21 | 1 | | 1 | | 1 |
| 平 9. 4. 1 | 78 | 21 | 4 | 3 | 3 | 3 | | 12 | 2 | 5 | 22 | 1 | | 1 | | 1 |
| 平 10. 4. 1 | 80 | 21 | 4 | 3 | 3 | 3 | | 11 | 3 | 5 | 22 | 1 | | 1 | 1 | 2 |
| 平 11. 4. 1 | 80 | 21 | 4 | 3 | 3 | 3 | | 10 | 4 | 5 | 21 | 1 | | 1 | 1 | 3 |
| 平 12. 4. 1 | 81 | 21 | 4 | 3 | 3 | 3 | | 9 | 5 | 5 | 22 | 1 | | 1 | 1 | 3 |
| 平 13. 4. 1 | 81 | 21 | 4 | 3 | 3 | 3 | | 9 | 5 | 5 | 21 | 1 | | 1 | 1 | 4 |
| 平 14. 4. 1 | 81 | 21 | 4 | 3 | 3 | 3 | | 9 | 5 | 5 | 21 | 1 | | 1 | 1 | 4 |
| 平 15. 4. 1 | 81 | 21 | 4 | 3 | 3 | 3 | | 9 | 5 | 5 | 21 | 1 | | 1 | 1 | 4 |
| 平 16. 4. 1 | 81 | 21 | 4 | 3 | 3 | 3 | | 7 | 7 | 5 | 21 | 1 | | 1 | 1 | 4 |
| 平 17. 4. 1 | 81 | 21 | 4 | 3 | 3 | 3 | | 5 | 9 | 5 | 21 | 1 | | 1 | 1 | 4 |
| 平 18. 4. 1 | 81 | 21 | 5 | 3 | 3 | 3 | | 3 | 11 | 5 | 21 | 1 | | 1 | 1 | 4 |
| 平 19. 4. 1 | 82 | 20 | 6 | 3 | 3 | 3 | | 2 | 12 | 5 | 21 | 1 | | 1 | 1 | 4 |
| 平 20. 4. 1 | 78 | 18 | 6 | 3 | 3 | 3 | | 1 | 13 | 5 | 21 | 1 | | | 1 | 3 |
| 平 21. 4. 1 | 78 | 18 | 6 | 3 | 3 | 3 | | | 14 | 5 | 21 | 1 | | | 1 | 3 |
| 平 22. 4. 1 | 78 | 18 | 6 | 3 | 3 | 3 | | | 14 | 5 | 21 | 1 | | | 1 | 3 |
| 平 23. 4. 1 | 78 | 18 | 6 | 3 | 3 | 3 | | | 14 | 5 | 21 | 1 | | | 1 | 3 |
| 平 24. 4. 1 | 77 | 18 | 6 | 3 | 3 | 3 | | | 14 | 5 | 20 | 1 | | | 1 | 3 |
| 平 25. 4. 1 | 80 | 18 | 6 | 3 | 3 | 3 | | | 14 | 5 | 22 | 1 | | | 1 | 4 |
| 平 26. 4. 1 | 80 | 18 | 6 | 3 | 3 | 3 | | | 14 | 5 | 21 | 1 | | | 1 | 4 |
| 平 27. 4. 1 | 79 | 18 | 6 | 3 | 3 | 3 | | | 14 | 5 | 19 | 1 | | | 1 | 6 |
| 平 28. 4. 1 | 79 | 18 | 6 | 3 | 3 | 3 | | | 14 | 5 | 19 | 1 | | | 1 | 6 |
| 平 29. 4. 1 | 79 | 19 | 5 | 3 | 3 | 3 | | | 14 | 5 | 19 | 1 | | | 1 | 6 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成29・4・1 | 消防局 | | 14 | | | | | | | | 2 | 1 | 6 | 1 | | | | 4 |
| | 米子消防署 | 本署 | 15 | 4 | 1 | 1 | 1 | | | | 2 | 1 | 4 | | | | 1 | |
| | | 皆生出張所 | 6 | 1 | 1 | | 1 | 1 | | | 1 | | 1 | | | | | |
| | | 南部出張所 | 4 | 2 | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | |
| | | 伯耆出張所 | 4 | 2 | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | |
| | 境港消防署 | 本署 | 13 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | | | 2 | 1 | 1 | | | | | 2 |
| | | 弓浜出張所 | 4 | 2 | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | |
| | 大山消防署 | 本署 | 5 | 1 | 1 | | | | | | 1 | 1 | 1 | | | | | |
| | | 中山出張所 | 4 | 2 | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | |
| | 江府消防署 | 本署 | 6 | 1 | 1 | | | 1 | | | 1 | 1 | 1 | | | | | |
| | | 生山出張所 | 4 | 2 | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | |
| | 計 | | 79 | 19 | 5 | 3 | 3 | 3 | 0 | 0 | 14 | 5 | 19 | 1 | 0 | 0 | 1 | 6 |

## （4） 消防車両概況

平成 29年4月1日 現在

| 所属 | 車　号 | 登録番号 | 車　名 | 艤　装 | 購入年月日 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 消防局 | 局救急1号車 | 鳥取800さ4747 | ニッサン | 高規格車 4WD | 平成20. 1. 31 | |
| | 局救急2号車 | 鳥取800さ3901 | トヨタ | 高規格車 4WD | 平成17. 11. 20 | |
| | 局指揮車 | 鳥取800さ4412 | ニッサン | | 平成19. 3. 29 | |
| | 機動連絡車 | 鳥取800さ6630 | トヨタ | | 平成26. 2. 20 | 総務省より無償使用 |
| | 広報1号車 | 鳥取400せ 782 | トヨタ | | 平成26. 7. 3 | |
| | 広報3号車 | 鳥取500ね 325 | ニッサン | | 平成18. 11. 24 | 寄贈 米子危保協会 |
| | 局査察1号車 | 鳥取580に4755 | 日産 | | 平成27. 6. 30 | |
| | 局査察2号車 | 鳥取480け9376 | 三菱 | | 平成28. 9. 23 | |
| | 局査察3号車 | 鳥取40 む2124 | 三菱 | | 平成 5. 5. 24 | |
| | 局査察5号車 | 鳥取580た3212 | 三菱 | | 平成24. 7. 23 | |
| | 支援車 | 鳥取800は 512 | 日野 | 支援車 Ⅰ型 | 平成23. 1. 12 | 総務省より無償使用 |
| | 人員輸送車 | 鳥取800さ6302 | トヨタ | マイクロバス | 平成25. 3. 11 | 総務省より無償使用 |
| | 連絡車 | 鳥取300た1821 | ニッサン | | 平成16. 5. 27 | |
| | 作業車 | 鳥取800さ5938 | いすゞ | 2t | 平成23. 12. 21 | |
| 米子消防署 | 1号車 | 鳥取800さ6632 | 日野 | CD－Ⅰ・A2 | 平成26. 2. 21 | 消防庁補助 |
| | 2号車 | 鳥取800さ6934 | 日野 | CD－Ⅰ・A2 | 平成27. 2. 25 | 消防庁補助 |
| | 3号車 | 鳥取800さ7630 | 日野 | CD－Ⅰ・A2 | 平成29. 3. 15 | 消防庁補助 |
| | 5号車 | 鳥取88 に3128 | 三菱 | CD－Ⅰ・A2 | 平成 9. 1. 31 | 消防庁補助 |
| | タンク車 | 鳥取88 に4491 | 日野 | Ⅰ－A | 平成11. 1. 25 | 消防庁補助 |
| | 化学車 | 鳥取800は 387 | 日野 | Ⅱ型 | 平成19. 12. 14 | |
| | 梯子車 | 鳥取800は 110 | ニッサンD | 40m級 | 平成13. 3. 16 | 消防庁補助 |
| | 救急1号車 | 鳥取800さ6933 | ニッサン | 高規格車 4WD | 平成27. 2. 25 | |
| | 救急2号車 | 鳥取800さ5065 | トヨタ | 高規格車 4WD | 平成21. 2. 19 | |
| | 指揮車 | 鳥取88 に4603 | トヨタ | | 平成11. 3. 10 | |
| | 資材搬送車 | 鳥取88 に3730 | 三菱 | 2t | 平成 9. 12. 25 | |
| | 米子広報1号車 | 鳥取800さ2987 | ニッサン | | 平成15. 10. 15 | |
| | 米子広報2号車 | 鳥取88 に1311 | トヨタ | | 平成 4. 9. 16 | 寄贈 日本防火協会 |
| | 米子査察1号車 | 鳥取580に4702 | 日産 | | 平成27. 6. 30 | |
| | 米子査察2号車 | 鳥取580に5477 | 三菱 | | 平成27. 7. 10 | 寄贈 上田商事 |
| 皆生出張所 | 1号車 | 鳥取800さ5365 | 日野 | | 平成22. 2. 15 | |
| | タンク車 | 鳥取800は 292 | 日野 | Ⅰ－A | 平成18. 2. 28 | 消防庁補助 |
| | 救助工作車 | 鳥取800は 641 | 日野 | Ⅲ型 | 平成26. 3. 10 | 消防庁補助 |
| | 屈折梯子車 | 鳥取800は 556 | 日野 | 15m級 | 平成24. 3. 21 | 消防庁補助 |
| | 救急車 | 鳥取800さ7305 | トヨタ | 高規格車 4WD | 平成28. 2. 26 | 消防庁補助 |
| | 広報車 | 鳥取800さ2543 | ニッサン | | 平成14. 12. 20 | |
| 南部出張所 | 1号車 | 鳥取800さ5955 | 日野 | CD－Ⅰ・A2 | 平成23. 12. 19 | |
| | 2号車 | 鳥取800さ7299 | 日野 | CD－Ⅰ・A2 | 平成28. 2. 29 | 消防庁補助 |
| | 救急車 | 鳥取800さ6647 | トヨタ | 高規格車 4WD | 平成26. 3. 5 | 消防庁補助 |
| | 広報車 | 鳥取88 す 969 | マツダ | | 平成 5. 6. 3 | |

| 所属 | 車　　号 | 登 録 番 号 | 車　　名 | 艤　　装 | 購入年月日 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 伯耆出張所 | 1　　号　　車 | 鳥取800さ5956 | 日野 | CD－Ⅰ・A2 | 平成23. 12. 19 | |
| | 2　　号　　車 | 鳥取800さ7629 | 日野 | CD－Ⅰ・A2 | 平成29.　3. 15 | 消防庁補助 |
| | 救　　急　　車 | 鳥取800さ6938 | トヨタ | 高規格車 4WD | 平成27.　2. 26 | 消防庁補助 |
| | 広　　報　　車 | 鳥取880あ　804 | ニッサン | | 平成29.　1. 30 | |
| 境港消防署 | 1　　号　　車 | 鳥取800さ3555 | 日野 | CD－Ⅰ・A2 | 平成17.　1. 12 | 消防庁補助 |
| | 2　　号　　車 | 鳥取800さ6234 | 日野 | CD－Ⅰ・A2 | 平成24. 12. 17 | |
| | タ　ン　ク　車 | 鳥取800さ　656 | 日野 | Ⅰ－B | 平成12.　1. 24 | 消防庁補助 |
| | 救助工作車 | 鳥取800は　51 | 日野 | Ⅱ型 | 平成12.　2. 21 | 防衛庁補助 |
| | ボートトレーラ | 鳥取800る　147 | シーマリン | | 平成27.　1. 22 | |
| | 化学1号車 | 鳥取88 は　107 | 日野 | Ⅳ型・A1 | 平成13.　2. 28 | 防衛庁補助 |
| | 化学2号車 | 鳥取800は 584 | 日野 | Ⅱ型・A2 | 平成25.　2. 13 | 防衛省補助 |
| | 梯　　子　　車 | 鳥取88 ゆ　689 | 日野 | 25m級 | 平成　8. 12. 19 | 防衛庁補助 |
| | 救急1号車 | 鳥取800さ5432 | ニッサン | 高規格車 4WD | 平成22.　3. 26 | 防衛省補助 |
| | 救急2号車 | 鳥取800さ4415 | ニッサン | 高規格車4WD | 平成19.　3. 27 | 防衛庁補助 |
| | 指　　揮　　車 | 鳥取800さ2633 | ニッサン | | 平成15.　3. 20 | |
| | 境港広報車 | 鳥取880あ　95 | ダイハツ | | 平成18.　8.　7 | |
| | 水難救助支援車 | 鳥取800さ6951 | トヨタ | | 平成27.　3.　6 | |
| 弓浜出張所 | 1　　号　　車 | 鳥取800さ5713 | 日野 | CD－Ⅰ・A2 | 平成23.　2. 25 | 消防庁補助 |
| | 2　　号　　車 | 鳥取800さ7635 | 日野 | CD－Ⅰ・A2 | 平成29.　3. 13 | 防衛省補助 |
| | 救　　急　　車 | 鳥取800さ7307 | トヨタ | 高規格車 4WD | 平成28.　2. 26 | 防衛省補助 |
| | 広　　報　　車 | 鳥取88 す1119 | マツダ | | 平成　6.　5. 25 | |
| 大山消防署 | 1　　号　　車 | 鳥取800さ6233 | 日野 | CD－Ⅰ・A2 | 平成24. 12. 17 | |
| | タ　ン　ク　車 | 鳥取800は 337 | 日野 | CD－Ⅰ・A2 | 平成19.　2. 23 | |
| | 救　　急　　車 | 鳥取800さ7601 | トヨタ | 高規格車 4WD | 平成29.　2. 28 | |
| | 指　　揮　　車 | 鳥取800さ3175 | ニッサン | | 平成16.　3. 17 | |
| | 広　　報　　車 | 鳥取800さ2988 | ニッサン | | 平成15. 10. 15 | |
| 中山出張所 | 1　　号　　車 | 鳥取800さ5714 | 日野 | CD－Ⅰ・A2 | 平成23.　2. 25 | 消防庁補助 |
| | 2　　号　　車 | 鳥取88 に3638 | 三菱 | CD－Ⅰ・A2 | 平成　9. 11.　7 | 消防庁補助 |
| | 救　　急　　車 | 鳥取800さ6026 | トヨタ | 高規格車 4WD | 平成24.　3. 22 | 消防庁補助 |
| | 広　　報　　車 | 鳥取80 あ1132 | ダイハツ | | 平成16.　3.　5 | |
| 江府消防署 | 1　　号　　車 | 鳥取800さ6232 | 日野 | CD－Ⅰ・A2 | 平成24. 12. 17 | |
| | タ　ン　ク　車 | 鳥取800さ2061 | 日野 | Ⅰ－B | 平成14.　1. 31 | 寄贈　日本消防協会 |
| | 救助工作車 | 鳥取800さ2568 | 日野 | Ⅱ型 | 平成15.　3. 20 | 消防庁補助 |
| | 救　　急　　車 | 鳥取800さ5350 | トヨタ | 高規格車 4WD | 平成22.　1. 26 | 消防庁補助 |
| | 指　　揮　　車 | 鳥取800さ3174 | ニッサン | | 平成16.　3. 17 | |
| | 江府広報車 | 鳥取800さ6282 | 日産 | | 平成25.　2. 27 | |
| 生山出張所 | 1　　号　　車 | 鳥取800さ7300 | 日野 | CD－Ⅰ・A2 | 平成28.　2. 29 | 消防庁補助 |
| | 2　　号　　車 | 鳥取800さ5044 | 日野 | CD－Ⅰ・A2 | 平成21.　1. 28 | 消防庁補助 |
| | 救　　急　　車 | 鳥取800さ5708 | トヨタ | 高規格車 4WD | 平成23.　2. 26 | 消防庁補助 |
| | 広　　報　　車 | 鳥取80 あ1133 | ダイハツ | | 平成16.　3.　5 | |

消防ポンプ自動車19　タンク車5　救助工作車3　化学車3　梯子車3

救急車14　指揮車5　広報車13　査察車6　作業車1　人員輸送車1

支援車1　資機材搬送車1　連絡車1　ボートトレーラー1　機動連絡車1　水難救助支援車1

総数79台

## (5) 救急・救助

### (5-1) 救急隊配置場所

平成29年4月1日現在

| 配置場所 | 車両区分 | 隊数 |
|---|---|---|
| 米子消防署 | 高規格救急車 | 2 隊 |
| 皆生出張所 | 高規格救急車 | 1 隊 |
| 南部出張所 | 高規格救急車 | 1 隊 |
| 伯耆出張所 | 高規格救急車 | 1 隊 |
| 境港消防署 | 高規格救急車 | 2 隊 |
| 弓浜出張所 | 高規格救急車 | 1 隊 |
| 大山消防署 | 高規格救急車 | 1 隊 |
| 中山出張所 | 高規格救急車 | 1 隊 |
| 江府消防署 | 高規格救急車 | 1 隊 |
| 生山出張所 | 高規格救急車 | 1 隊 |

## (5-2) 高規格救急車積載一覧

| 積載器具名 | | 数量 | 積載器具名 | | 数量 |
|---|---|---|---|---|---|
| 心電図伝送装置 | | 1 式 | ドーナッツ型まくら | | 1 |
| 半自動式除細動器 | | 1 式 | 感染防止用資材セット | | 3式 |
| ベッドサイドモニター | | 1 式 | 舌圧子 | | 3 |
| 自動式人工呼吸器 | | 1 式 | 舌鉗子 | | 1 |
| 心電計 | | 1 式 | マギール鉗子 | 大・小 | 各 1 |
| 全身固定用具 | | 1 式 | ステイッフネック | 大・中・小 | 各 1 |
| 在宅医療セット | | 1 式 | 万能ハサミ | | 2 |
| 頭部固定具 | | 1 式 | フェイスマスク | 大・中・小 | 各 2 |
| 新生児用資器材 | | 1 式 | 輸液セット | 三方活栓付チューブ | 4 |
| 携帯電話 | | 1 | 乳酸リンゲル液 | | 5 |
| 携帯無線機 | | 1 | 留置針 | 18・20・22 | 適量 |
| 電動吸引器 | | 1 式 | 経口エアウェイ | 大・中・小・極小 | 各 1 |
| バキュームスプリント | | 1 式 | 経鼻エアウェイ | 6・7・8・9 | 適量 |
| バックボード | | 1 式 | 鼻カニューレ | | 1 |
| バッグマスクセット | | 1 式 | クリーンネット | | 1 |
| 喉頭鏡セット | | 1 式 | 洗面器 | | 1 |
| メインストレッチャー | | 1 | 尿器 | | 1 |
| スクープストレッチャー | | 1 | 開口器 | | 1 |
| サブスト レッチャー | | 1 | 吸引カテーテル | | 適量 |
| ユニオン担架 | | 1 | おはり箱 | | 1 |
| 布担架 | | 1 | 洗眼器 | | 1 |
| 酸素ボンベ | 10ﾘｯﾄﾙ | 2 | 気管内挿管チューブ | 4・5・7・8・9 | 適量 |
| 減圧弁 | | 2 | 気管切開カニューレ | | 適量 |
| 酸素加湿流量計 | 二連 | 1 | 〃 マスク | | 適量 |
| 血圧計 | アネロイド・ハンド式 | 各 1 | ピンセット | | 1 |
| 聴診器 | | 3 | スタイレット | | 4 |
| 温・冷蔵庫 | | 1 | プラスチックグローブ | | 適量 |
| 浮環 | | 1 | 手術用手袋 | | 適量 |
| グラスマスター | | 1 | ディスポ電極 | 心電計用 | 適量 |
| 万能斧 | | 1 | 三角布 | | 適量 |
| レスキューン | | 1 | ハイゼガーゼ | | 適量 |
| バール | | 1 | ケーパイン | | 適量 |
| サーチライト | | 4 | 各種テープ | | 適量 |
| 水中めがね | | 2 | 紙マスク | | 適量 |
| トリアージタッグ | | 適量 | 消毒綿 | | 適量 |
| 毛布 | | 2 | シーネ | 大・中・小 | 各 1 |
| 食道閉鎖式エアウエイ | | 適量 | 砂のう | | 3 |
| 酸素マスク | | 適量 | 固定用ベルト | | 2 |
| 救急シート | | 1 | シリンジ | 10・20・30mm | 各 1 |
| 雨覆いシート | | 1 | 冷却パック | | 2 |
| 駆血帯 | | 3 | 患者搬送記録・搬送証 | | 適量 |
| 止血帯 | ケース入 | 1 | 救命処置記録票 | | 適量 |
| 体温計 | | 1 | 住宅地図 | | 1 式 |
| まくら | | 1 | | | |

## （5－3） 救助隊配置場所

平成29年4月1日現在

| 配置場所 | 隊区分 | 車両区分 |
|---|---|---|
| 米子消防署 | 救助隊 | 化学消防自動車（Ⅱ型） |
| 境港消防署 | 救助隊兼水難救助隊 | 救助工作車（Ⅱ型） |
| 大山消防署 | 救助隊兼特殊災害隊 | 水槽付消防自動車 |
| 江府消防署 | 救助隊 | 救助工作車（Ⅱ型） |
| 皆生出張所 | 高度救助隊 | 救助工作車（Ⅲ型） |

## （5－4） 高度救助用資機材一覧

| 機材名 | 規格 |
|---|---|
| 画像探索機　Ⅰ型 | オリンパス　ＩＶ８６７５Ｌ１－ＳＶ９０セット（一式） |
| 画像探索機　Ⅱ型 | オリンパスＩＰＬＸ－ＵｌｔｒａＬｉｆｅ（一式） |
| 地中音響探知機 | ハイブラフォンＡＳＢ－１０（一式） |
| 熱画像直視装置 | エボリューション６０００（ＭＳＡ）（一式） |
| 夜間用暗視装置 | ２４０６５ＮＶ５Ｘ６０（ケンコートキナー）（一式） |
| 地震警報器 | サクラ Qアラート マークⅡ（一式） |

## (5-5) 救助工作車(Ⅲ型)積載一覧表

| 積載器具名 | | 数量 | 積載器具名 | | 数量 |
|---|---|---|---|---|---|
| かぎ付き梯子 | 3.1m | 1 | 耐電衣（上下） | | 2 |
| 三連梯子 | 8.7m | 1 | 耐電ヘルメット | | 2 |
| 三連梯子用キット | クレーン、水平2法 | 1 式 | 耐電長靴 | | 2 |
| 折りたたみ梯子 | 4.6m | 1 | ハイブリット対応セット | | 1 式 |
| 救命索発射銃 | レステックエアー | 1 式 | 安全帯 | | 5 |
| 救助用縛帯 | クイックストラップ | 1 | 防塵メガネ | | 5 |
| 救助用縛帯 | ピタゴール | 1 | 信号機付投光器 | | 1 式 |
| 救助用縛帯 | エバックハーネス | 1 | 携帯投光器 | | 2 |
| 救助用縛帯 | レスキュースリング | 1 | ランタン | 大、小 | 2 |
| 検索用バッグ | ザイル、簡易縛帯 | 1 式 | ケミカルライト | | 適量 |
| バスケット担架 | | 1 | 携帯拡声器 | | 2 |
| スケッドストレッチャー | | 1 | 携帯ＧＰＳ | ガーミン | 1 |
| バックボード一式 | | 2 | 双眼鏡 | 測距計 | 1 |
| ナイロンロープ | 小綱、巻ロープ | 適量 | 双眼鏡 | 双眼鏡 | 1 |
| カラビナ | | 適量 | 点滅棒 | | 2 |
| 滑車 | ワイドプーリー | 適量 | カラーコーン | | 5 |
| 都市型救助資機材 | ザイル、ギア他 | 1 式 | 消火器 | | 1 |
| 油圧ジャッキ | プランジャーラム | 1 式 | デジカメ | | 1 |
| 電動油圧スプレッダー | ルーカス | 1 式 | 張力計 | ダイナホール5t型 | 1 |
| 可搬ウインチ | チルホールT35 | 1 式 | 救急バック | | 1 式 |
| ワイヤーロープ | 1.6m、4m、5m | 5 | 要救助者用ヘルメット | | 2 |
| Ｖスリング | 3m、5m | 8 | 要救助者用毛布 | | 2 |
| 救助用三脚 | テラダプター | 1 式 | プライバシー保護シート | | 1 |
| マット型空気ジャッキ | レスキューテック23t、58t | 1 式 | 毛布 | | 適量 |
| マット型空気ジャッキ | リフトバック1t、3t、5t | 1 式 | 発電機 | | 1 |
| 大型油圧スプレッダー | ホルマトロ | 1 式 | 予備燃料 | 混合ガソリン | 適量 |
| 電動油圧切断機 | ルーカスカッター | 1 | 予備電池 | | 適量 |
| エンジンカッター | | 1 | 鳶口 | | 1 |
| ガス溶断機 | ペトロカッター | 1 | レスキューシザー | | 1 |
| チェーンソー | | 1 | グラスマスター | | 2 |
| レシプロソー | ヒルティ | 1 式 | バール | | 1 |
| 鉄筋カッター | オグラ | 1 式 | アングルカッター | | 2 |
| ペダルカッター | ホルマトロ | 1 式 | 工具セット | | 2 式 |
| 空気鋸 | タイガーエアソー | 1 式 | 絶縁工具セット | | 1 式 |
| 大型油圧切断機 | ホルマトロカッター | 1 式 | パイプレンチ | | 1 |
| 空気切断機 | パクハンマー | 1 式 | 検電器 | | 1 |
| 万能斧 | レスキューアッキス | 1 | ステップチョーク | | 2 式 |
| 大斧 | | 1 | レスキューブロック | | 適量 |
| 大ハンマー | 防爆ハンマー | 1 | あて木 | | 適量 |
| コンクリート破壊器具 | レッドワン | 1 式 | エアーバックセーフ | 運転席用 | 1 |
| ハンマードリル | ヒルティ | 1 式 | 指揮板 | | 1 |
| 可燃ガス測定器 | ＧＸ８０００ | 1 | サルベージシート | | 2 |
| 可燃ガス測定器 | コスモス | 1 | トランスポートバック | | 2 |
| 有毒ガス測定器 | マルチレイプロ | 1 | 水難救助バック | 救命胴衣 | 1 式 |
| 熱画像直視装置 | エボリューション | 1 | 吸着マット | | 適量 |
| 空気呼吸器 | Ｍ３０ | 3 | ＡＣライト | | 適量 |
| レスマスク | | 3 | 竹ぼうき | | 1 |
| 予備ボンベ | 4.7ℓ | 5 | デッキブラシ | | 2 |
| 簡易呼吸器 | パラートＣ | 2 | のこぎり | | 1 |
| 送排風機 | ダクト10m | 1 式 | なた | | 1 |

## (6) 通信施設

指令施設

| | | |
|---|---|---|
| 指令台 | 3式 | 各台は、指令用ディスプレイ、<br>地図用ディスプレイ、<br>支援情報ディスプレイを装備 |
| 指揮台 | 1式 | |
| 無線統制台 | 1式 | |
| 署所端末装置 | 11式 | 指令伝送装置、情報共有端末 |
| 各種表示盤 | 1式 | 支援情報表示盤・車両運用表示盤・多目的情報表示装置 |
| 出動車両運用管理装置 | 1式 | 車両運用端末装置、管理装置 |
| 発信地照会端末装置 | 1式 | |
| 携帯・IP電話等位置情報通知システム | 1式 | |

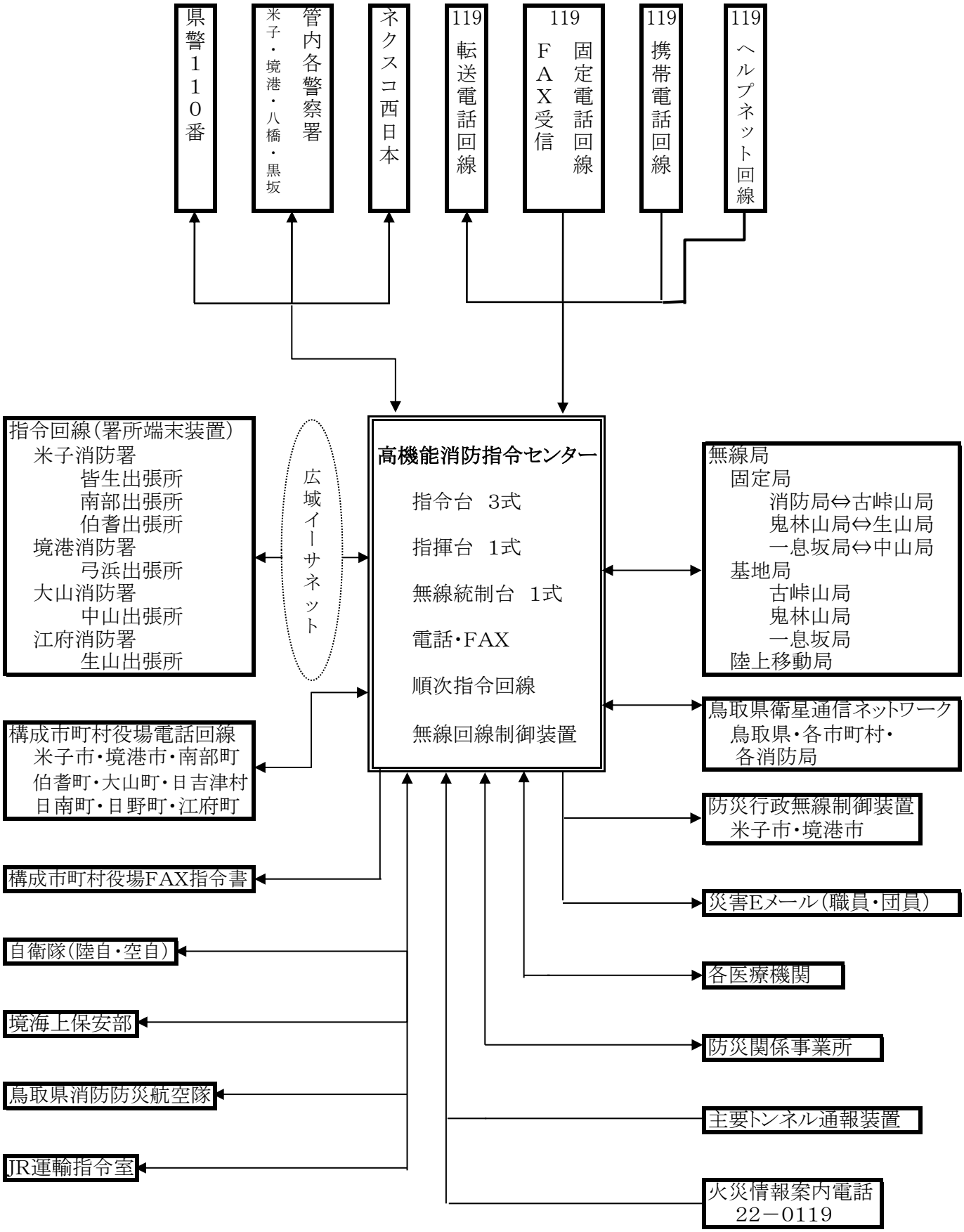
有線通信設備

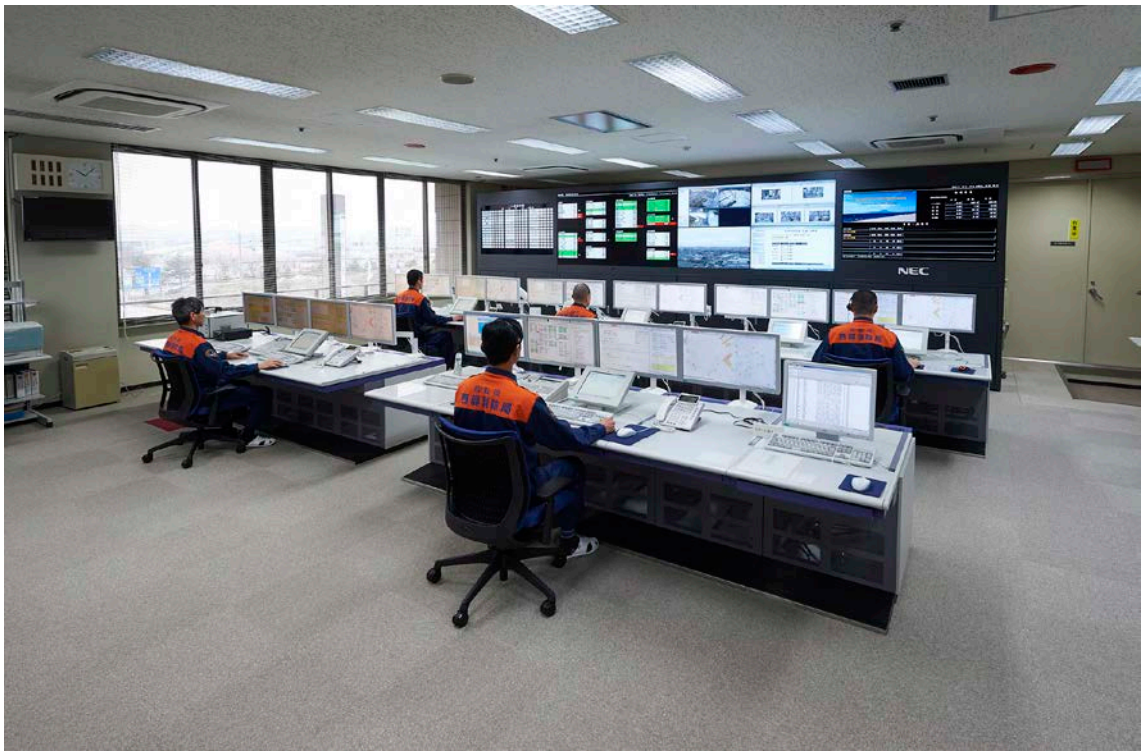
| | | | |
|---|---|---|---|
| 119番専用回線 | | 17回線 | |
| | 固定電話回線(ISDN回線) | 12回線 | IP電話重畳・FAX119 |
| | 固定電話回線(アナログ回線) | 1回線 | |
| | 携帯電話回線 | 2回線 | |
| | ヘルプネット回線 | 2回線 | |
| 一般加入電話 | | 15回線 | |
| 火災情報案内電話 | | 7回線 | |
| 専用線 | 署所指令専用線 | 10回線 | |
| 専用線 | 防災関係機関専用線 | 3回線 | |
| 広域イーサネット | | | |
| | 広域事務局・広域各施設 | 事務局・リサイクルプラザ・エコスラグセンター・米子浄化場<br>白浜浄化場・桜の苑 | |
| | 消防局・10署所 | 消防局・米子消防署・皆生(出)・南部(出)・伯耆(出)・境港消防署・弓浜(出)・大山消防署・中山(出)・江府消防署・生山(出) | |

無線通信設備

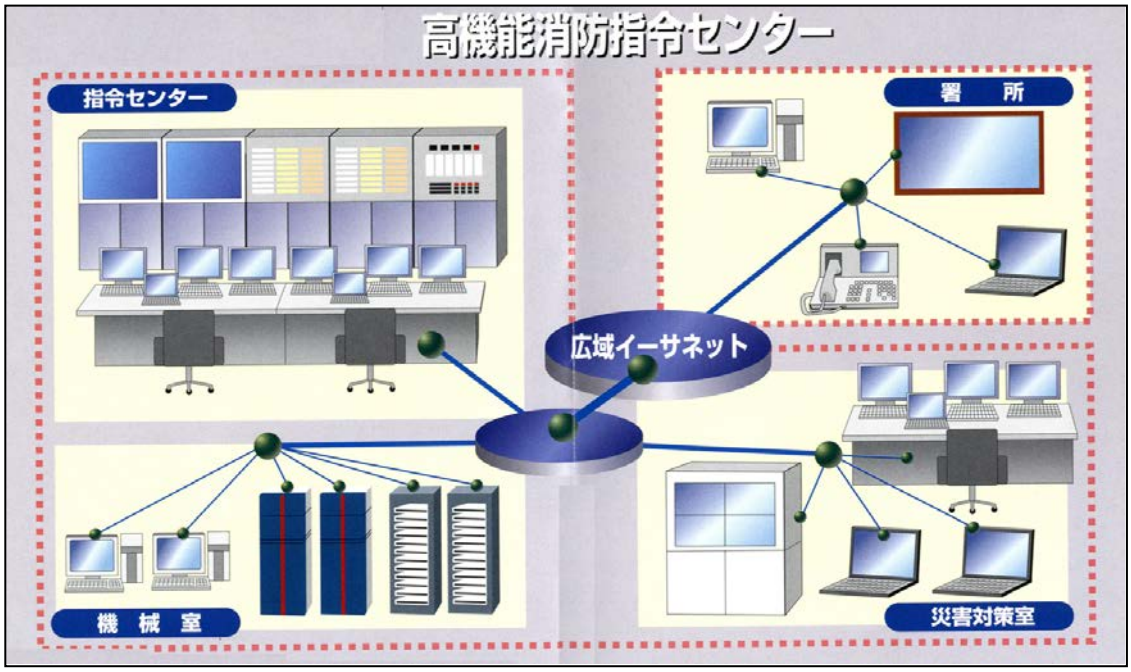
| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 無線回線制御装置 | | | 1式 | デジタル無線設備用 |
| 固定局 | VSAT地球局 | | 1局 | 鳥取県地域衛星通信ネットワーク |
| 固定局 | 多重 | 消防局 | 1局 | マイクロ7.5G(デジタル併用) |
| 固定局 | 多重 | 古峠山局 | 1局 | マイクロ7.5G(デジタル併用) |
| 固定局 | 簡易多重 | 鬼林山局 | 1局 | 簡易マイクロ(FWA18G) |
| 固定局 | 簡易多重 | 一息坂局 | 1局 | 簡易マイクロ(FWA18G) |
| 固定局 | 簡易多重 | 生山局 | 1局 | 簡易マイクロ(FWA18G) |
| 固定局 | 簡易多重 | 中山局 | 1局 | 簡易マイクロ(FWA18G) |
| 基地局 | デジタル | 古峠山局 | 1局 | |
| 基地局 | デジタル | 鬼林山局 | 1局 | |
| 基地局 | デジタル | 一息坂局 | 1局 | |
| 陸上移動局 | 車載型 | | 69局 | デジタル69局(5W) |
| 陸上移動局 | 携帯型 | | 81局 | デジタル77局(1W)、アナログ4局(5W) |
| 陸上移動局 | 可搬型 | | 6局 | デュアル5局(5W／10W)、デジタル1局(5W) |
| 陸上移動局 | 半固定型 | | 10局 | デジタル10局(5W) |
| 陸上移動局 | 署活動系携帯型 | | 12局 | アナログ12局(1W) |

# 鳥 取 県 西 部 消 防 局 通 信 系 統 図





指令センター全景




高機能消防指令センター　ネットワーク構成イメージ

# 予　　防

# 予　　防

## （1） 防火対象物の現況

平成29年3月31日現在

| 項別 / 種別 | (1) | | (2) | | | | (3) | | (4) | (5) | | (6) | | | | (7) | (8) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | イ | ロ | イ | ロ | ハ | ニ | イ | ロ | | イ | ロ | イ | ロ | ハ | ニ | | |
| 対象物種別 | 劇場、映画館、演芸場又は観覧場 | 公会堂又は集会場 | キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等 | 遊技場又はダンスホール | 性風俗関連特殊営業店舗 | カラオケボックス等 | 待合、料理店その他これらに類するもの | 飲食店 | 百貨店、マーケット、店舗又は展示場 | 旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの | 寄宿舎、下宿又は共同住宅 | 病院、診療所、又は助産所 | 老人短期入所施設、養護老人ホーム | 老人ディサービスセンター等 | 幼稚園、特別支援学校 | 小中学校、高校、大学、各種学校等 | 図書館、博物館、美術館等 |
| 延べ面積150㎡以上のもの | 17 | 135 | | 25 | | 9 | 1 | 204 | 423 | 182 | 1,880 | 187 | 107 | 231 | 21 | 346 | 27 |
| 防火管理者を選任すべきもの | 16 | 121 | | 24 | | 8 | 1 | 207 | 271 | 106 | 174 | 51 | 69 | 130 | 13 | 94 | 14 |

| 項別 / 種別 | (9) | | (10) | (11) | (12) | | (13) | | (14) | (15) | (16) | | 16の2 | 16の3 | (17) | (18) | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | イ | ロ | | | イ | ロ | イ | ロ | | | イ | ロ | | | | | |
| 対象物種別 | 蒸気浴場、熱気浴場等 | イに掲げる以外の公衆浴場 | 停車場、船舶又は航空機の発着場 | 神社、寺院、教会等 | 工場又は作業場 | 映画スタジオ又はテレビスタジオ | 自動車車庫又は駐車場 | 飛行機又は回転翼航空機の格納庫 | 倉庫 | 前項号に該当しない事業所 | 特定防火対象物の存する複合用途防火対象物 | イに掲げる以外の複合用途防火対象物 | 地下街 | 準地下街 | 重要文化財・重要美術品等の建築物 | 延長五十メートル以上のアーケード | 合計 |
| 延べ面積150㎡以上のもの | 16 | 8 | 3 | 159 | 1,046 | | 132 | 7 | 912 | 1,149 | 461 | 155 | | | 37 | 9 | 7,889 |
| 防火管理者を選任すべきもの | 5 | 3 | 2 | 71 | 77 | | | | 15 | 191 | 281 | 22 | | | 2 | | 1,968 |

## （2） 各種届出事務処理の状況

| 項目 | 消防計画作成（変更）届出書 | 防火管理者選任（解任）届出書 | 防火対象物点検結果報告書 | 防火対象物点検報告特例認定申請書 | 防災管理点検結果報告書 | 煙火打上げ仕掛け届出書 | 圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱開始届出書 | 消防用設備等点検結果報告書 | 炉・厨房・ボイラー等設置届 | 変・発・蓄電池等設置届 | 少量危険物・指定可燃物等の貯蔵又は取扱開始届出書 | 防火対象物使用開始届 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 受理数 | 492 | 400 | 135 | 8 | 6 | 47 | 93 | 3,460 | 44 | 109 | 91 | 207 |

## （3） 防火対象物の用途別査察状況

| | | | 査察件数 |
|---|---|---|---|
| 1 | イ | 劇場、映画館、演芸場又は観覧場 | 4 |
| | ロ | 公会堂又は集会場 | 55 |
| 2 | ロ | 遊技場又はダンスホール | 11 |
| | ニ | カラオケボックス等 | 9 |
| 3 | イ | 待合、料理店その他これらに類するもの | 0 |
| | ロ | 飲食店 | 42 |
| 4 | | 百貨店、マーケット、店舗又は展示場 | 111 |
| 5 | イ | 旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの | 76 |
| | ロ | 寄宿舎、下宿又は共同住宅 | 8 |
| 6 | イ | 病院、診療所、又は助産所 | 36 |
| | ロ | 老人短期入所施設、養護老人ホーム | 40 |
| | ハ | 老人デイサービスセンター等 | 79 |
| | ニ | 幼稚園、特別支援学校 | 3 |
| 7 | | 小中学校、高校、大学、各種学校等 | 36 |
| 8 | | 図書館、博物館、美術館等 | 9 |
| 9 | イ | 蒸気浴場、熱気浴場等 | 3 |
| | ロ | イに掲げる以外の公衆浴場 | 2 |
| 10 | | 停車場、船舶又は航空機の発着場 | 0 |
| 11 | | 神社、寺院、教会等 | 15 |
| 12 | イ | 工場又は作業場 | 93 |
| 13 | イ | 自動車車庫又は駐車場 | 16 |
| 14 | | 倉庫 | 40 |
| 15 | | 前項号に該当しない事業所 | 55 |
| 16 | イ | 特定防火対象物の存する複合用途防火対象物 | 71 |
| | ロ | イに掲げる以外の複合用途防火対象物 | 6 |
| 17 | | 重要文化財・重要美術品等の建築物 | 10 |
| 18 | | 延長五十メートル以上のアーケード | 0 |
| | | 合計 | 830 |

## （4） 建築同意の用途別事務処理状況

平成28年4月1日～平成29年3月31日

| 区分 | | | 合計 | 新築 | 増築 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | イ | 劇場・映画館等 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ロ | 公会堂又は集会場 | 6 | 5 | 1 | 0 |
| 2 | イ | キャバレー等 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ロ | 遊技場等 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ハ | 性風俗関連特殊営業店舗 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ニ | カラオケボックス等 | 2 | 1 | 0 | 1 |
| 3 | イ | 待合・料理店等 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ロ | 飲食店 | 4 | 4 | 0 | 0 |
| 4 | | 百貨店・店舗等 | 31 | 28 | 1 | 2 |
| 5 | イ | 旅館・ホテル | 1 | 1 | 0 | 0 |
| | ロ | 共同住宅・寄宿舎 | 17 | 16 | 0 | 1 |
| 6 | イ | 病院・診療所等 | 9 | 5 | 4 | 0 |
| | ロ | 老人短期入所施設等 | 9 | 8 | 1 | 0 |
| | ハ | 老人デイサービス等 | 15 | 7 | 6 | 2 |
| | ニ | 幼稚園・養護学校等 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 7 | | 学校 | 3 | 1 | 2 | 0 |
| 8 | | 図書館・美術館 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 9 | イ | 蒸気・熱気浴場等 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ロ | イ以外の公衆浴場 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 10 | | 車両の停車場等 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 11 | | 神社・寺院等 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 12 | イ | 工場・作業場 | 26 | 6 | 16 | 4 |
| | ロ | テレビスタジオ等 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 13 | イ | 車庫・駐車場 | 3 | 3 | 0 | 0 |
| | ロ | 飛行機の格納庫 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 14 | | 倉庫 | 31 | 24 | 6 | 1 |
| 15 | | 前各号に該当しない事業所 | 51 | 39 | 12 | 0 |
| 16 | イ | 特別防火対象物が存する複合用途防火対象物 | 10 | 4 | 5 | 1 |
| | ロ | イ以外の複合用途防火対象物 | 3 | 1 | 1 | 1 |
| 17 | | 重要文化財 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 18 | | 50m以上のアーケード | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 対象物外 | 13 | 12 | 1 | 0 |
| 一般住宅 | | 専用住宅 | 35 | 30 | 5 | 0 |
| | | 長屋住宅 | 74 | 74 | 0 | 0 |
| 合計 | | | 345 | 270 | 62 | 13 |

## （5） 危険物製造所等の地区別施設件数

平成28年3月31日現在

| 施設 / 市町村名 | 合計 | 製造所 | 貯蔵所 | | | | | | | 取扱所 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 屋内 | 屋外タンク | 屋内タンク | 地下タンク | 簡易タンク | 移動タンク | 屋外 | 給油 | 販売 | 移送 | 一般 |
| 米子市 | 446 | 0 | 60 | 21 | 11 | 124 | 0 | 71 | 7 | 89 | 1 | 0 | 62 |
| 境港市 | 383 | 0 | 25 | 68 | 3 | 54 | 0 | 118 | 42 | 41 | 0 | 1 | 31 |
| 日吉津村 | 9 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 6 | 0 | 0 | 0 |
| 大山町 | 127 | 0 | 5 | 5 | 5 | 65 | 0 | 14 | 4 | 18 | 0 | 0 | 11 |
| 南部町 | 42 | 0 | 7 | 2 | 1 | 13 | 0 | 7 | 0 | 6 | 0 | 0 | 6 |
| 伯耆町 | 75 | 0 | 3 | 4 | 3 | 39 | 0 | 4 | 0 | 14 | 0 | 0 | 8 |
| 日南町 | 42 | 0 | 1 | 3 | 1 | 11 | 0 | 9 | 0 | 13 | 0 | 0 | 4 |
| 日野町 | 25 | 0 | 2 | 2 | 1 | 10 | 0 | 2 | 0 | 4 | 0 | 0 | 4 |
| 江府町 | 23 | 0 | 1 | 0 | 0 | 7 | 0 | 1 | 0 | 7 | 0 | 0 | 7 |
| 合計 | 1,172 | 0 | 105 | 105 | 25 | 324 | 0 | 226 | 54 | 198 | 1 | 1 | 133 |

## （6） 危険物製造所等の事務処理件数

| 区分 / 施設 | 合計 | 製造所 | 貯蔵所 | | | | | | | 取扱所 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 屋内 | 屋外タンク | 屋内タンク | 地下タンク | 簡易タンク | 移動タンク | 屋外 | 給油 | 販売 | 移送 | 一般 |
| 設置許可 | 20 | 0 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 9 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 |
| 変更許可 | 87 | 0 | 1 | 10 | 1 | 4 | 0 | 13 | 4 | 40 | 0 | 0 | 14 |
| 設置完成検査 | 21 | 0 | 4 | 4 | 0 | 0 | 0 | 8 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 |
| 変更完成検査 | 80 | 0 | 0 | 8 | 1 | 4 | 0 | 13 | 0 | 42 | 0 | 0 | 12 |
| 仮使用承認 | 52 | 0 | 1 | 4 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 34 | 0 | 0 | 11 |
| 完成検査前検査 | 53 | | | | | | | | | | | | |
| 仮貯蔵・仮取扱 | 83 | | | | | | | | | | | | |
| 品名・数量等変更届 | 5 | | | | | | | | | | | | |
| 譲渡引渡届 | 13 | | | | | | | | | | | | |
| 設置者等変更届 | 77 | | | | | | | | | | | | |
| 廃止届 | 37 | | | | | | | | | | | | |
| 保安監督者選解任届 | 48 | | | | | | | | | | | | |
| 使用休止再開届 | 2 | | | | | | | | | | | | |

## （7） 危険物施設査察状況

| 製造所 | 貯蔵所 | | | | | | | 取扱所 | | | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 屋内貯蔵所 | 屋外タンク貯蔵所 | 屋内タンク貯蔵所 | 地下タンク貯蔵所 | 簡易タンク貯蔵所 | 移動タンク貯蔵所 | 屋外貯蔵所 | 給油取扱所 | 移送取扱所 | 一般取扱所 | |
| 0 | 8 | 5 | 3 | 55 | 0 | 23 | 3 | 50 | 0 | 10 | 157 |

## （8） 火薬類取締法関係

| | 区分 | 件数 |
|---|---|---|
| 許可 | 譲渡許可 | 2 |
| | 譲受許可 | 0 |
| | 譲受・消費許可 | 18 |
| | 煙火消費許可 | 46 |
| | 合計 | 66 |

| | 区分 | | 件数 |
|---|---|---|---|
| 立入検査 | 消費場所 | 採石 | 18 |
| | | 土木 | 2 |
| | | その他 | 3 |
| | 煙火消費許可 | | 46 |
| | 火薬庫外貯蔵場所 | | 10 |
| | 合計 | | 79 |

## （9） 液化石油ガス法関係

| 処理内容 | 件数 |
|---|---|
| 液化石油ガス設備工事届受理 | 7 |

# 火　災　概　況

# Ⅰ　火災概況

（平成２８年１月～１２月）

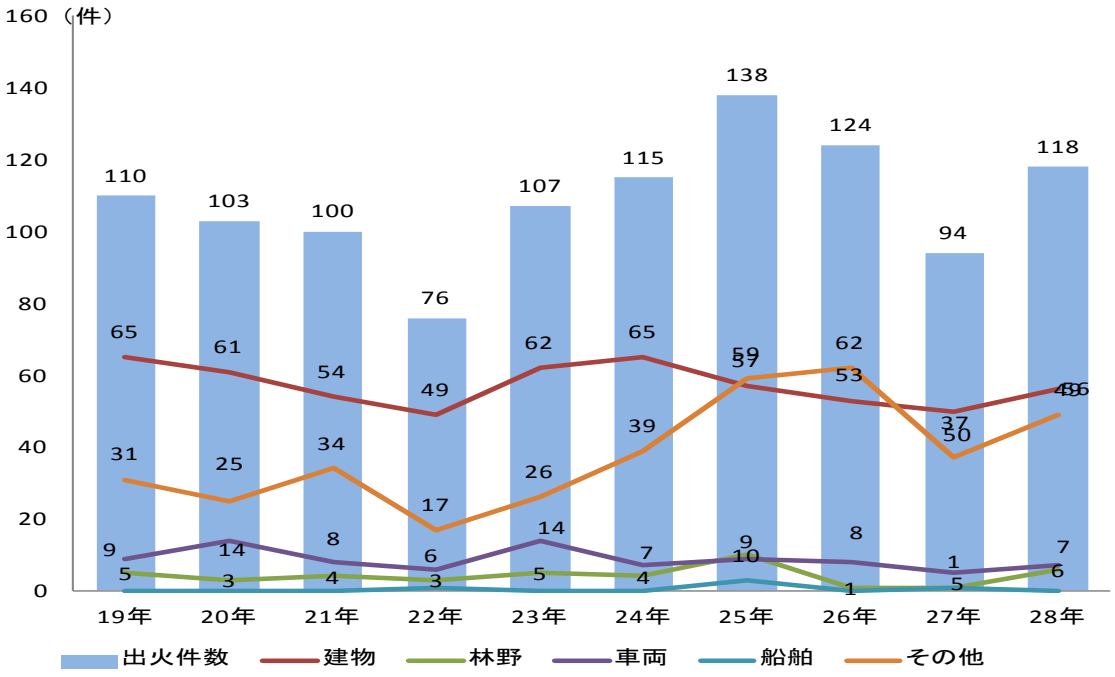
## １　火災の現況と最近の動向

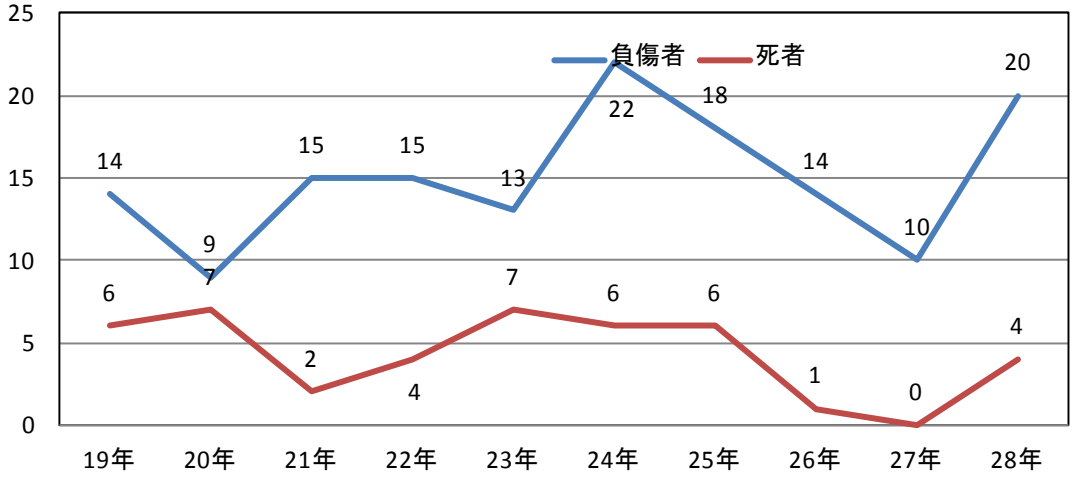
この１０年間の出火件数をみると、平均出火件数は、１０８．５件で鳥取県西部広域行政管理組合が統計で最も件数が少ない平成２２年の７６件、最も多い平成２５年の１３８件を除き、概ね平均値で推移しています。

平成２８年中の火災は１１８件で前年の９４件に比べ２４件（２５．５％）の増加となっています。

また、火災による死者数の過去１０年間の平均は４，３人で、概ね平均値で推移していますが、平成２８年は４人発生しています。火災による負傷者は、過去１０年間の平均が１５人で、平成２８年は２０人発生しています。（別図Ⅰ－１、別表Ⅰ－１参照）

別図Ⅰ－１　火災件数の推移と傾向図



別表Ｉ－１　火災概況比較表

**別表Ｉ－1 火災概況比較表**

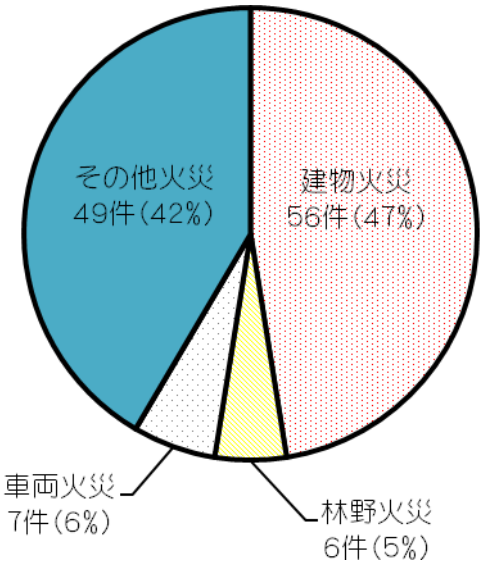
| 区　　分　　（単　位） | 平成 27 年 | 平成 28 年 | 増　減 | 増　減　率 |
|---|---|---|---|---|
| 出火件数 | 94 | 118 | 24 | 25.5 |
| 建物火災 | 50 | 56 | 6 | 12.0 |
| 林野火災 | 1 | 6 | 5 | 500.0 |
| 車両火災 | 5 | 7 | 2 | 40.0 |
| 船舶火災 | 1 | 0 | - 1 | － |
| その他火災 | 37 | 49 | 12 | 32.4 |
| 焼損棟数　　（棟） | 67 | 83 | 16 | 23.9 |
| 全　　焼 | 18 | 18 | 0 | 0.0 |
| 半　　焼 | 4 | 6 | 2 | 50.0 |
| 部　分　焼 | 15 | 32 | 17 | 113.3 |
| ぼ　　や | 30 | 27 | - 3 | △ 10.0 |
| 建物焼損床面積　　（㎡） | 3,858 | 2,942 | -916 | △ 23.7 |
| 建物焼損表面積　　（㎡） | 48 | 210 | 162 | 337.5 |
| 林野焼損面積　　（ａ） | 1 | 23 | 22 | 2200.0 |
| 死　者　　（人） | 0 | 4 | 4 | － |
| 負傷者　　（人） | 10 | 20 | 10 | 100.0 |
| り災世帯数　　（世帯） | 35 | 57 | 22 | 62.9 |
| 全　　損 | 7 | 17 | 10 | 142.9 |
| 半　　損 | 1 | 5 | 4 | 400.0 |
| 小　　損 | 27 | 35 | 8 | 29.6 |
| り災人員　　（人） | 94 | 109 | 15 | 16.0 |
| 損　害　額　　（千円） | 209,066 | 134,167 |  | △ 35.8 |
| 建物火災 | 206,024 | 131,642 | - 74,382 | △ 36.1 |
| 林野火災 | 0 | 312 | 312 | － |
| 車両火災 | 2,293 | 1,502 | - 791 | △ 34.5 |
| 船舶火災 | 290 | 0 | - 290 | － |
| その他火災 | 459 | 711 | 252 | 54.9 |
| 爆　　発 | 0 | 0 | － | － |
| 出　火　率　　（件/万人） | 3.99 | 4.92 | 0.93 | － |

## 2　出火状況

### （１）建物火災は火災全体の４７％

総出火件数１１８件について、その構成比率をみると、建物火災が全体の４７％で最も高い比率を占め、その次にその他火災が４２％となっています。（別図Ⅰ－２参照）

別図Ⅰ－２　火災種別ごとの件数と構成比率




### （２）建物火災の損害額及び焼損床面積は減少

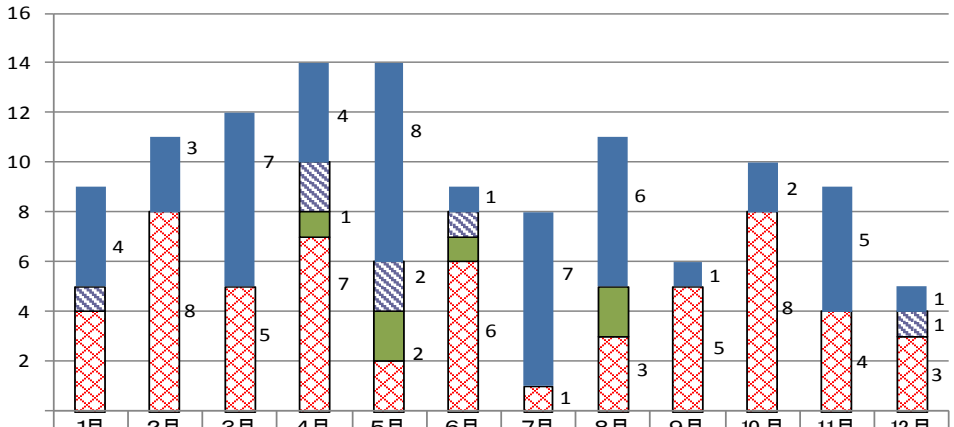
建物火災の１件当たりの損害額は前年比の３６．１％減少し、焼損床面積は２３．７％の減少となっています。（別表Ⅰ－１参照）

### （３）月別の火災種別ごとの出火件数

建物火災は２月・１０月の各８件（２８．５％）が最多で、次に多いのは４月に７件（１２．５％）発生しています。

その他火災については、４９件のうち３月から５月の３ヶ月間で１９件（３８．７％）発生しています。（別図Ⅰ－３参照）

別図Ⅰ－３　月別の火災種別ごと出火件数



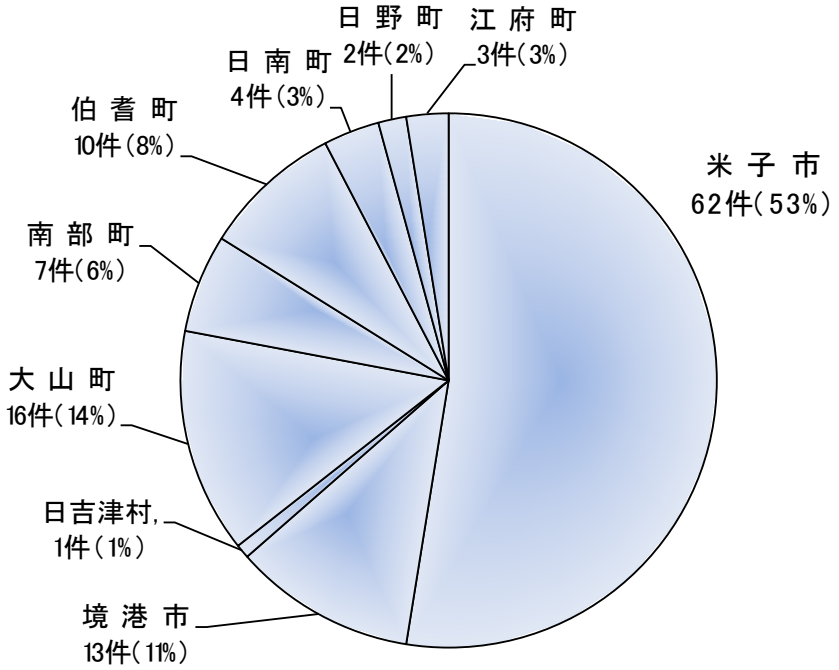

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| その他火災 | 4 | 3 | 7 | 4 | 8 | 1 | 7 | 6 | 1 | 2 | 5 | 1 |
| 船舶火災 | | | | | | | | | | | | |
| 車両火災 | 1 | | | 2 | 2 | 1 | | | | | | 1 |
| 林野火災 | | | | 1 | 2 | 1 | | 2 | | | | |
| 建物火災 | 4 | 8 | 5 | 7 | 2 | 6 | 1 | 3 | 5 | 8 | 4 | 3 |

（４）市町村別火災状況

火災件数を市町村別でみると、米子市が最も多く６２件（５３％)、次いで境港市１３件（１１％)、大山町の１６件（１４％）となっています。最も少なかったのは日吉津村の１件（１％）でした。(別図Ｉ－４参照)

（市町村別火災概況一覧表は別表Ｉ－３、Ｉ－４については文末に添付）

別図Ｉ－４　市町村別火災件数と構成比




３　火災による死傷者の状況

（１）死者の状況

火災による死者数は４人で、前年と比べ４人増加しました。

（２）負傷者の状況

負傷者は２０人で、前年と比べ１０人増加しました。

負傷者のうち１４人（７０％）が建物火災で発生しています。

(別表Ｉ-2 参照)

別表Ｉ－２火災種別死傷者発生状況

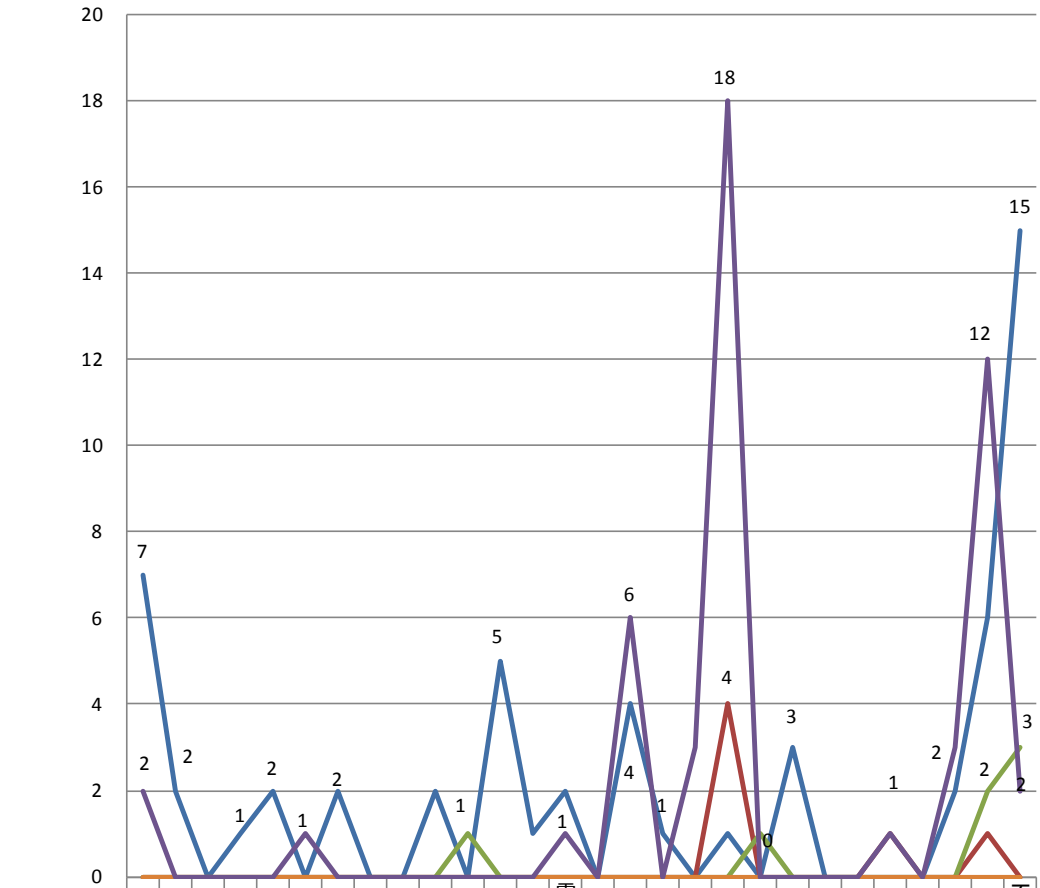
| | 合計 | 建物火災 | | | | | | 車両火災 | 林野火災 | その他火災 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 小計 | 住宅 | 併用住宅 | 共同住宅 | 飲食店 | その他 | | | |
| 死者 | 4 | 4 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 死者（0～5 歳） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 死者（6～64 歳） | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 死者（65 歳～） | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 負傷者 | 20 | 14 | 7 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 | 2 | 4 |

## 4　出火原因

出火件数１１８件の出火原因を見ると、たき火が２３件（１９．４％）、次いで配線器具が１０件（８．４％）、たばこが９件（７．６％）となっています。

建物火災の主な原因は、たばこ、電気機器及び配線器具から発生しています。（別図Ｉ－５参照）

別図Ｉ－５　火災種別ごとの火災原因




| | たばこ | こんろ | かまど | 風呂かまど | 炉 | 焼却炉 | ストーブ | こたつ | ボイラー | 煙突・煙道 | 排気管 | 電気機器 | 電気装置 | 電灯等の配線 | 内燃機関 | 配線器具 | 火遊び | マッチ・ライター | たき火 | 溶接機 | 灯火 | 衝突の火花 | 取灰 | 火入れ | 放火 | 放火の疑い | その他 | 不明・調査中 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 建物 | 7 | 2 | | 1 | 2 | | 2 | | | 2 | | 5 | 1 | 2 | | 4 | 1 | | 1 | | 3 | | | | | 2 | 6 | 15 |
| 林野 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | | | | | 1 | | | 1 | |
| 車両 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 2 | 3 |
| 船舶 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 2 | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | 6 | | 3 | 18 | | | | | 1 | | 3 | 12 | 2 |

別表Ⅰ－３

市町村別火災状況（暫定値）　（平成28年1月～平成28年12月）　消防本部名　鳥取県西部広域行政管理組合　消防局

| 市町村名 | 火災件数 | | | | | | | 焼損面積 | | | 焼損棟数 | り災世帯数 | り災人員 | 死傷者 | | | 損害額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 合計 | 前年（）内は件数 | 建物 | 林野 | 車両 | 船舶 | その他 | 床面積㎡ | 表面積㎡ | 林野a | | | | 死者 | 負傷者 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | 30日死者 | 負傷者 | |
| 米子市 | 62 | (44) | 35 | 1 | 3 | | 23 | 1,978 | 93 | 3 | 56 | 36 | 64 | 4 | 0 | 8 | 104,400 |
| 境港市 | 13 | (14) | 6 | | 1 | | 6 | 139 | 44 | | 8 | 6 | 9 | 0 | 0 | 4 | 3,395 |
| 日吉津村 | 1 | (1) | | | | | 1 | | | | | | | 0 | 0 | | 4 |
| 大山町 | 16 | (10) | 5 | 2 | 3 | | 6 | 5 | | 12 | 5 | 2 | 9 | 0 | 0 | 1 | 1,314 |
| 南部町 | 7 | (5) | 1 | 1 | | | 5 | 103 | 30 | 2 | 4 | 1 | 2 | 0 | 0 | | 1,300 |
| 伯耆町 | 10 | (4) | 3 | 2 | | | 5 | 200 | 1 | 6 | 3 | 9 | 14 | 0 | 0 | 5 | 15,908 |
| 日南町 | 4 | (5) | 3 | | | | 1 | 504 | 39 | | 4 | 3 | 11 | 0 | 0 | | 6,923 |
| 日野町 | 2 | (8) | 2 | | | | | 1 | 3 | | 2 | | | 0 | 0 | | 164 |
| 江府町 | 3 | (3) | 1 | | | | 2 | 12 | | | 1 | | | 0 | 0 | 2 | 759 |
| 合計 | 118 | (94) | 56 | 6 | 7 | 0 | 49 | 2,942 | 210 | 23 | 83 | 57 | 109 | 4 | 0 | 20 | 134,167 |
| 前年同期管内合計 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 94 | | 50 | 1 | 5 | 1 | 37 | 3,858 | 48 | 1 | 67 | 35 | 94 | 0 | 0 | 10 | 209,066 |

出火原因（管内合計）

| | 合計 | たばこ | こんろ | かまど | 風呂 | 炉 | 焼却炉 | ストーブ | こたつ | ボイラー | 煙突 | 排気管 | 電気機器 | 電気装置 | 電灯配線 | 内燃機関 | 配線器具 | 火あそび | マッチ等 | たき火 | 溶接機器 | 灯火 | 衝突火花 | 取灰 | 火入れ | 放火 | 放火疑 | その他 | 不明・調査中 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成28年 | 118 | 9 | 2 | | 1 | 2 | 1 | 2 | | | 2 | 1 | 5 | 1 | 3 | | 10 | 1 | 3 | 23 | 1 | 3 | | | 2 | | 5 | 21 | 20 |
| 平成27年 | 94 | 4 | 4 | | 1 | | 2 | 3 | | | | | 4 | 1 | 3 | | 5 | 3 | | 11 | 3 | | | 1 | 11 | 3 | 1 | 16 | 18 |

# 過 去 5 年 間 の 市 町 村 別 火 災 件 数

鳥取県西部広域行政管理組合

別表Ⅰ－4

| | 平成２８年 | | | | | | 平成２７年 | | | | | | 平成２６年 | | | | | | 平成２５年 | | | | | | 平成２４年 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 合計 | 建物 | 林野 | 車両 | 船舶 | その他 | 合計 | 建物 | 林野 | 車両 | 船舶 | その他 | 合計 | 建物 | 林野 | 車両 | 船舶 | その他 | 合計 | 建物 | 林野 | 車両 | 船舶 | その他 | 合計 | 建物 | 林野 | 車両 | 船舶 | その他 |
| 米子市 | 62 | 35 | 1 | 3 | | 23 | 44 | 26 | | 4 | | 14 | 49 | 22 | 0 | 3 | 0 | 24 | 55 | 28 | 1 | 1 | 0 | 25 | 66 | 42 | 0 | 4 | 0 | 20 |
| 境港市 | 13 | 6 | | 1 | | 6 | 14 | 5 | | 1 | 1 | 7 | 19 | 8 | 0 | 2 | 0 | 9 | 23 | 12 | 0 | 2 | 3 | 6 | 13 | 6 | 0 | 1 | 0 | 6 |
| 日吉津村 | 1 | | | | | 1 | 1 | 1 | | | | | 5 | 1 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 大山町 | 16 | 5 | 2 | 3 | | 6 | 10 | 4 | 1 | | | 5 | 23 | 12 | 0 | 2 | 0 | 9 | 20 | 8 | 1 | 2 | 0 | 9 | 16 | 6 | 1 | 0 | 0 | 9 |
| 南部町 | 7 | 1 | 1 | | | 5 | 5 | 3 | | | | 2 | 10 | 5 | 0 | 0 | 0 | 5 | 15 | 2 | 4 | 1 | 0 | 8 | 5 | 3 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 伯耆町 | 10 | 3 | 2 | | | 5 | 4 | 3 | | | | 1 | 7 | 0 | 1 | 0 | 0 | 6 | 12 | 5 | 0 | 1 | 0 | 6 | 6 | 2 | 2 | 0 | 0 | 2 |
| 日南町 | 4 | 3 | | | | 1 | 5 | 3 | | | | 2 | 4 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 6 | 2 | 2 | 1 | 0 | 1 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 日野町 | 2 | 2 | | | | | 8 | 3 | | | | 5 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 4 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 江府町 | 3 | 1 | | | | 2 | 3 | 2 | | | | 1 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 4 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合　計 | 118 | 56 | 6 | 7 | 0 | 49 | 94 | 50 | 1 | 5 | 1 | 37 | 124 | 53 | 1 | 8 | 0 | 62 | 138 | 57 | 10 | 9 | 3 | 59 | 115 | 65 | 4 | 7 | 0 | 39 |

# 救 急 救 助 概 況

# Ⅱ　救急概況

（平成２８年１月～１２月）

## １　救急出動件数、救急搬送状況

平成２８年中の救急出動件数は、前年に比べて２９１件増の１０，６５４件、搬送人員は３３７人増の１０，１０９人で、件数、人員ともに過去最多となりました。

（別図Ⅱ－１、Ⅱ―２、Ⅱ―３参照）

## ２　市町村別救急活動状況

境港市、南部町、日南町は減少し、他市町村では増加となりました。特に米子市の出場件数、搬送人員が大幅に増加となりました。

（別図Ⅱ―４参照）

## ３　傷病程度別搬送状況

傷病程度別の搬送人員では、中等症が５，２５１人（５１．９％）で最も多く、次いで軽症が３，５５１人（３５．１％）となっています。

（別図Ⅱ―５参照）

## ４　年齢別搬送状況

年齢別の搬送人員では、６５歳以上の高齢者が６，２９２人（６２．２％）と最も多くなっています。

（別図Ⅱ―６参照）

## ５　署所別救急活動状況

署所別では、米子消防署の出動件数及び搬送人員がそれぞれ３，６７６件（３６．４％）、３，４４１人（３４．０％）と最も多くなっています。

（別図Ⅱ―７参照）

## ６　月別救急活動状況

月別の出動件数は、１２月が９８７件（９．３％）、続いて７月の９５４件（９．０％）となっています。

搬送人員は、１２月が９２９人（９．２％）で最も多く、続いて７月の８９８人（８．９％）となっています。

（別図Ⅱ―８参照）

## ７　現場到着所要時間、収容所要時間

平均現場到着所要時間は７分４８秒で昨年より６秒増加し、平均収容所要時間は３７分１２秒で前年より１２秒増加しました。

（別図Ⅱ―９、Ⅱ―１０参照）

## ８　応急手当実施状況

心肺停止傷病者２８７人のうち、家族等により応急手当を受けた人は、１４３人（４８．８％）でした。

（別図Ⅱ―１１参照）

## ９　高度救命処置状況

心肺停止傷病者２８７人のうち救急救命士の高度救命処置により、２９人が回復されました。

（別図Ⅱ―１２、Ⅱ－１３参照）

## 10　救急講習件数の推移

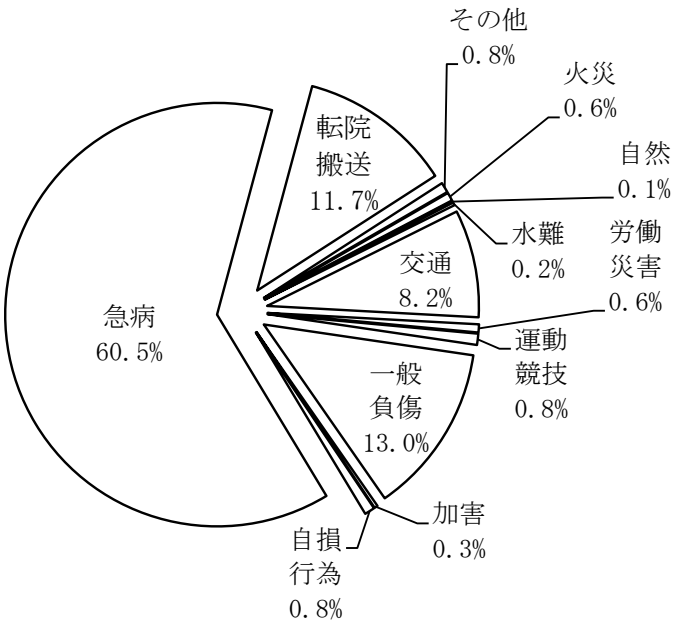
救急講習は毎年５００件以上の依頼があり、圏域住民の応急手当に対する意識の高さがうかがえます。

（別図Ⅱ―１４、Ⅱ―１５参照）

## 11　市町村別救急活動の推移

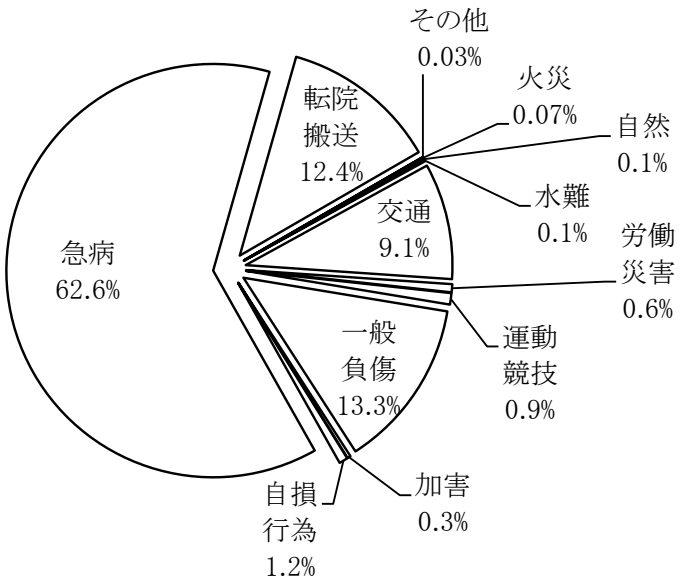
（別表Ⅱ―２参照）

別図Ⅱ－１　事故種別救急出動状況



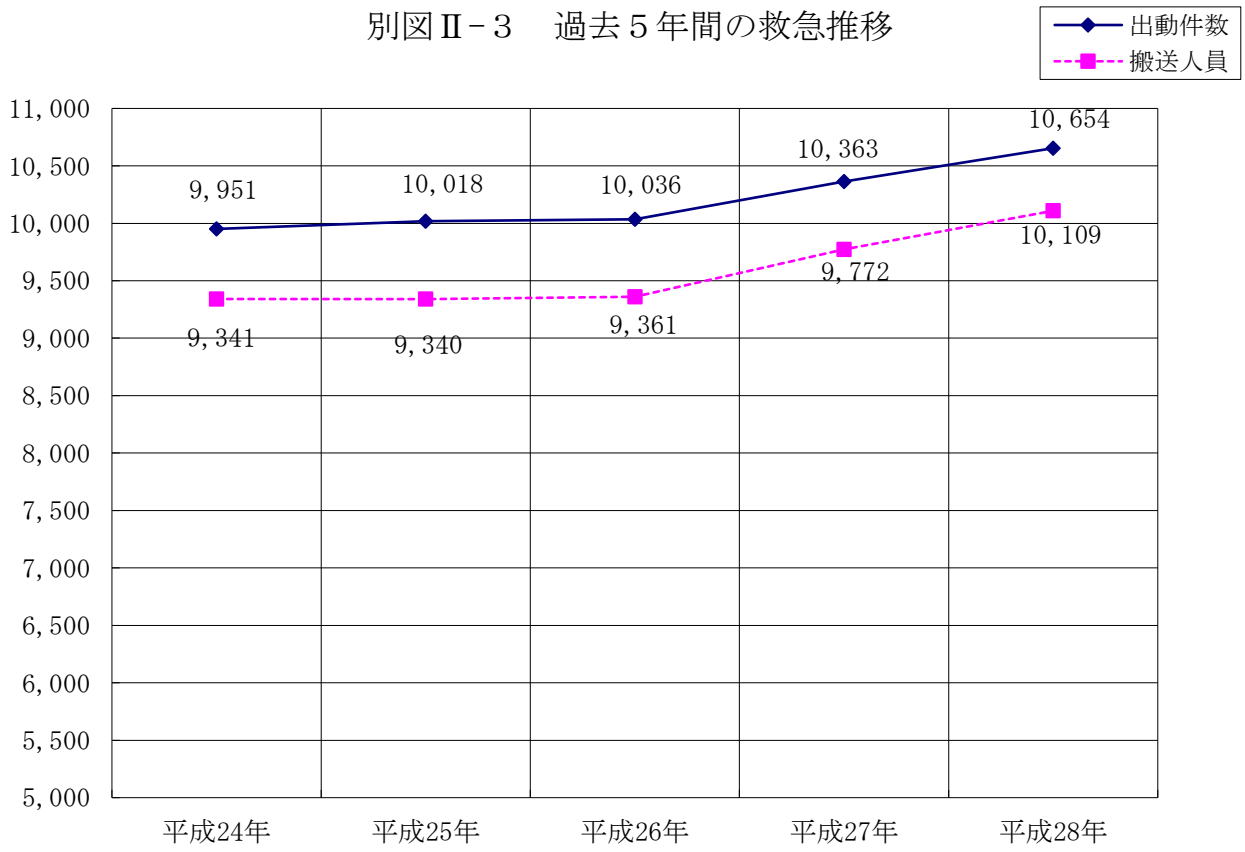

| 事故種別 | 火災 | 自然 | 水難 | 交通 | 労働災害 | 運動競技 | 一般負傷 | 加害 | 自損行為 | 急病 | 転院搬送 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 出動件数 | 68 | 12 | 24 | 875 | 66 | 91 | 1,385 | 27 | 83 | 6,693 | 1,247 | 83 | 10,654 |

別図Ⅱ－２　事故種別救急搬送状況

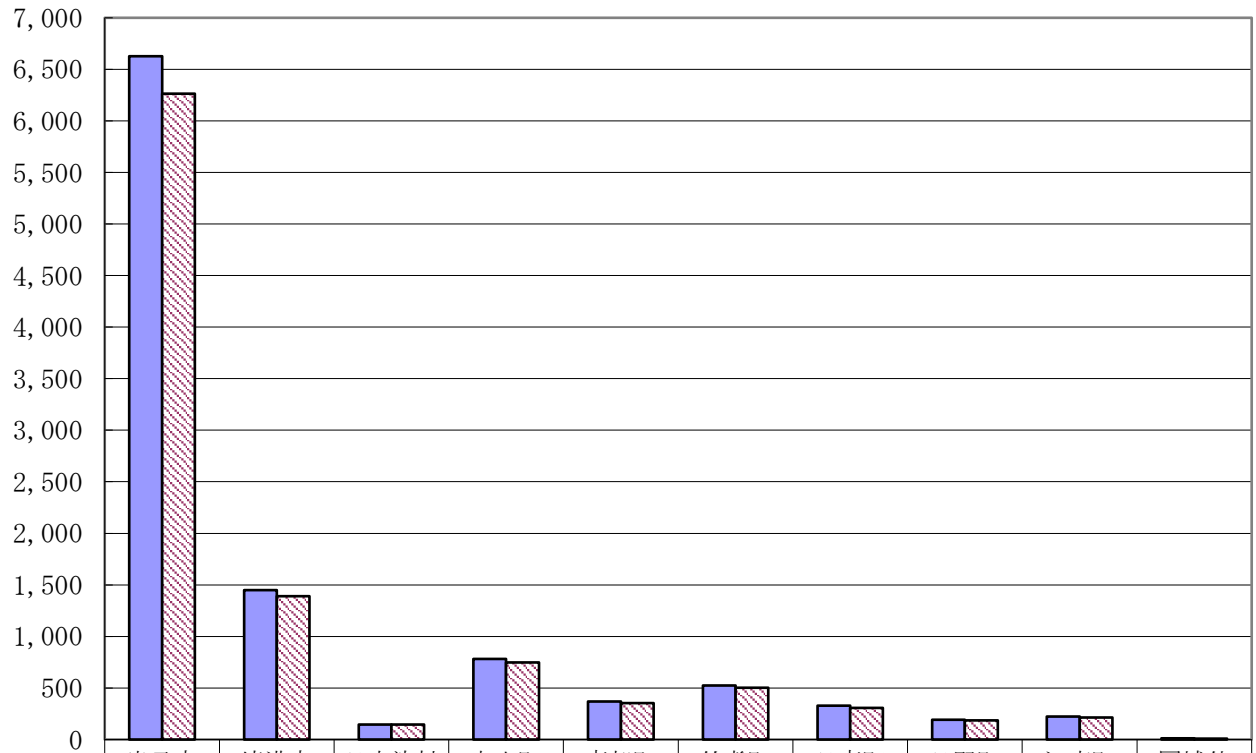



| 事故種別 | 火災 | 自然 | 水難 | 交通 | 労働災害 | 運動競技 | 一般負傷 | 加害 | 自損行為 | 急病 | 転院搬送 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 搬送人員 | 11 | 13 | 10 | 918 | 64 | 90 | 1,342 | 26 | 69 | 6,326 | 1,239 | 1 | 10,109 |

## 別図Ⅱ－３　過去５年間の救急推移

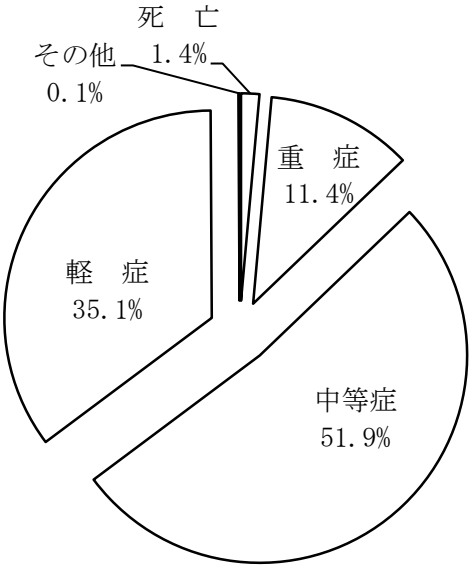



## 別図Ⅱ－４　市町村別救急活動状況



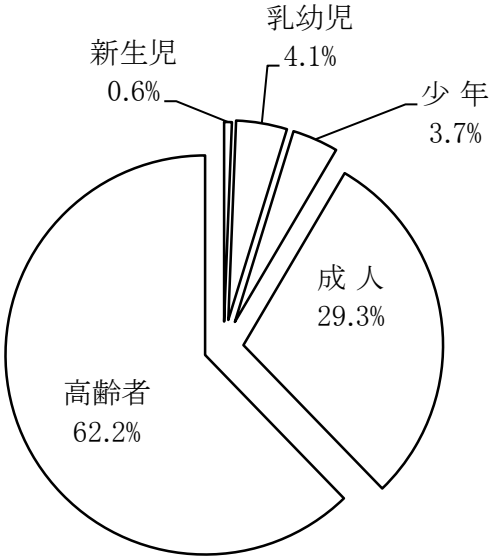

| | 米子市 | 境港市 | 日吉津村 | 大山町 | 南部町 | 伯耆町 | 日南町 | 日野町 | 江府町 | 圏域外 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 出動件数 | 6, 628 | 1, 450 | 145 | 783 | 369 | 525 | 327 | 191 | 223 | 13 |
| 搬送人員 | 6, 263 | 1, 389 | 144 | 746 | 352 | 502 | 307 | 184 | 213 | 9 |

別図Ⅱ－５　傷病程度別搬送状況



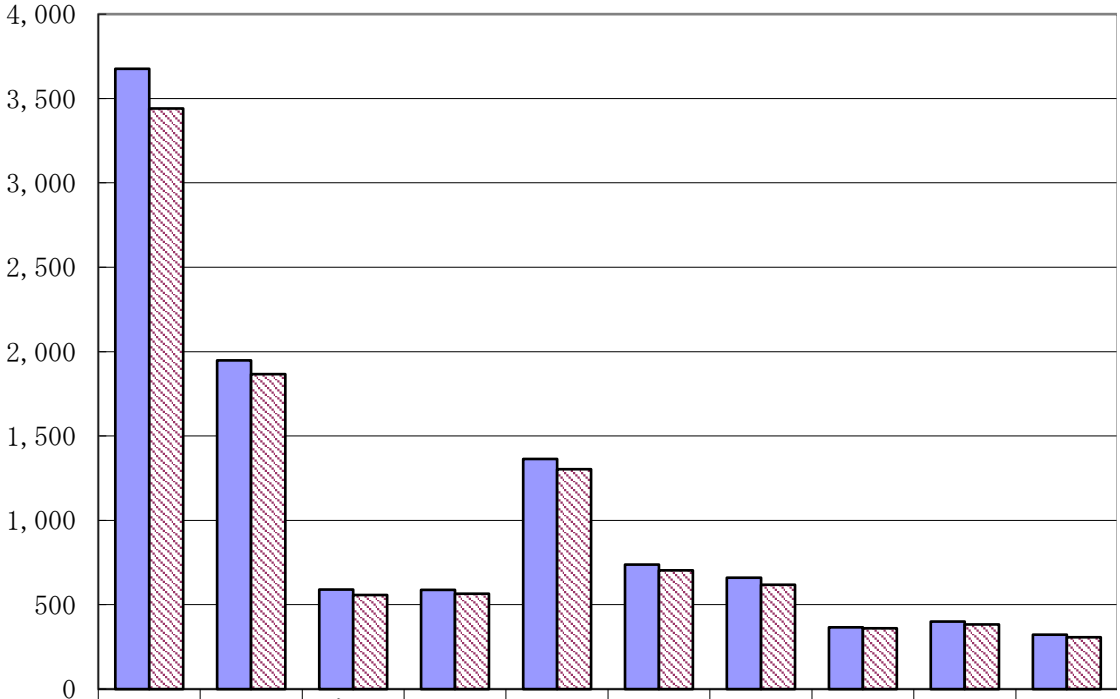

| 程　　度 | 死　亡 | 重　症 | 中等症 | 軽　症 | その他 | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 搬送人員 | 144 | 1,154 | 5,251 | 3,551 | 9 | 10,109 |

別図Ⅱ－６　年齢別搬送状況



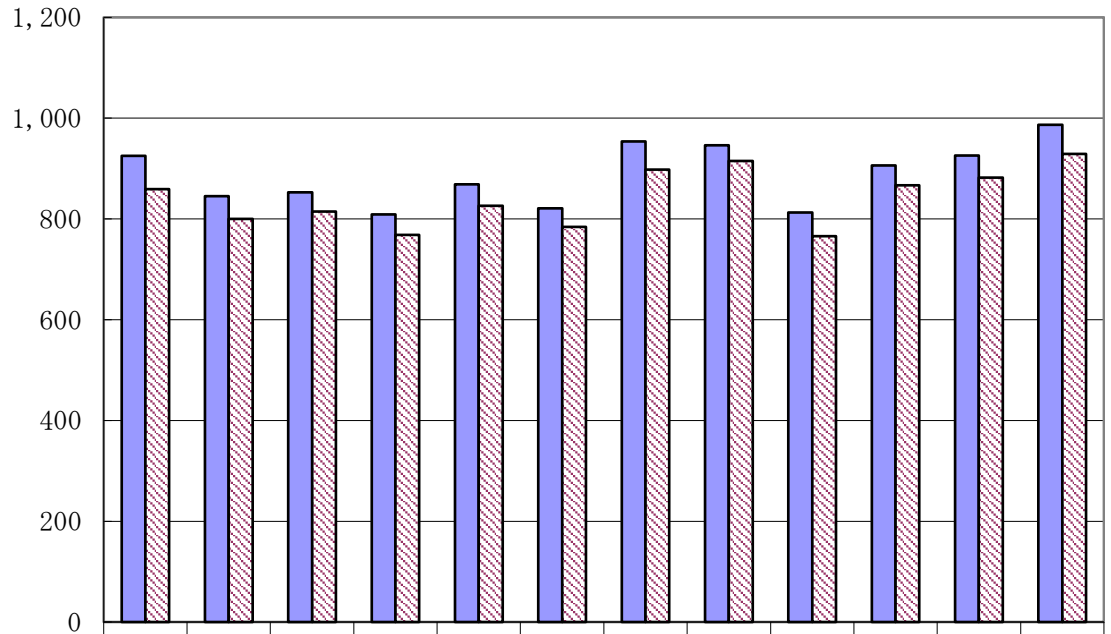

| | 新生児 | 乳幼児 | 少 年 | 成 人 | 高齢者 | 合 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 搬送人員 | 63 | 417 | 376 | 2,961 | 6,292 | 10,109 |

## 別図Ⅱ－７　署所別救急活動状況



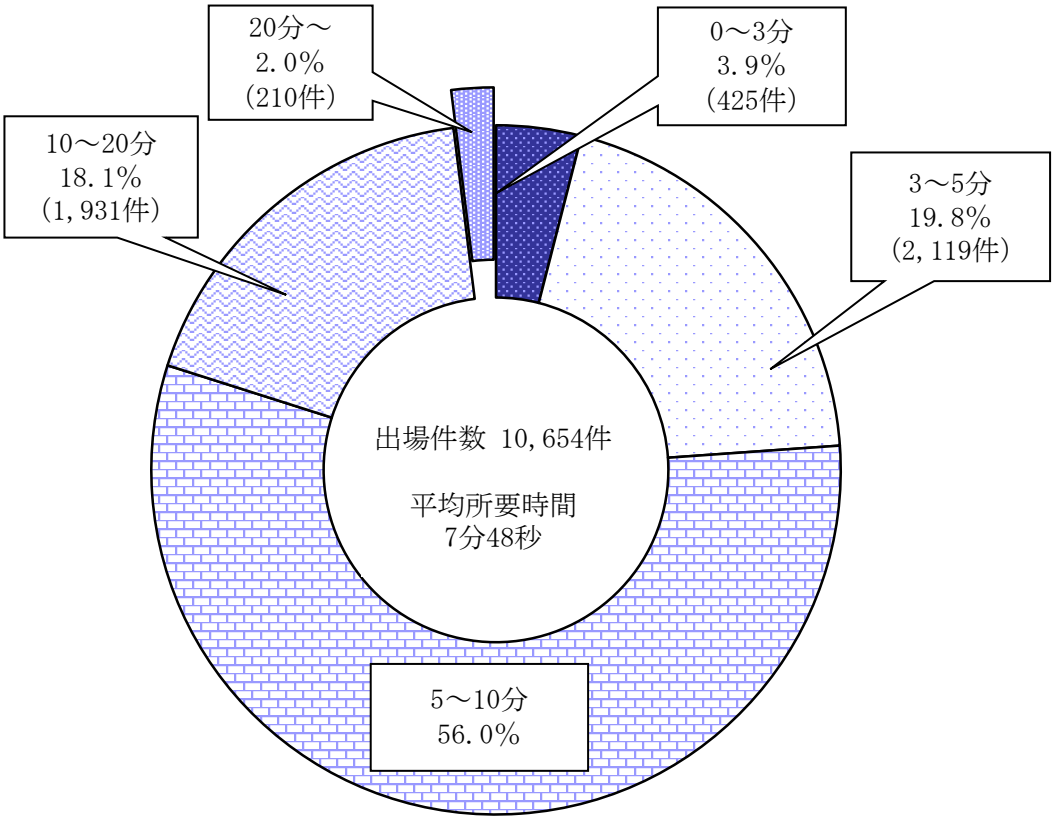

| | 米子 | 皆生 | 南部 | 伯耆 | 境港 | 弓浜 | 大山 | 中山 | 江府 | 生山 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 出場件数 | 3,676 | 1,949 | 590 | 588 | 1,363 | 737 | 660 | 367 | 401 | 323 |
| 搬送人員 | 3,441 | 1,867 | 557 | 566 | 1,304 | 704 | 619 | 361 | 383 | 307 |

## 別図Ⅱ－８　月別救急活動状況

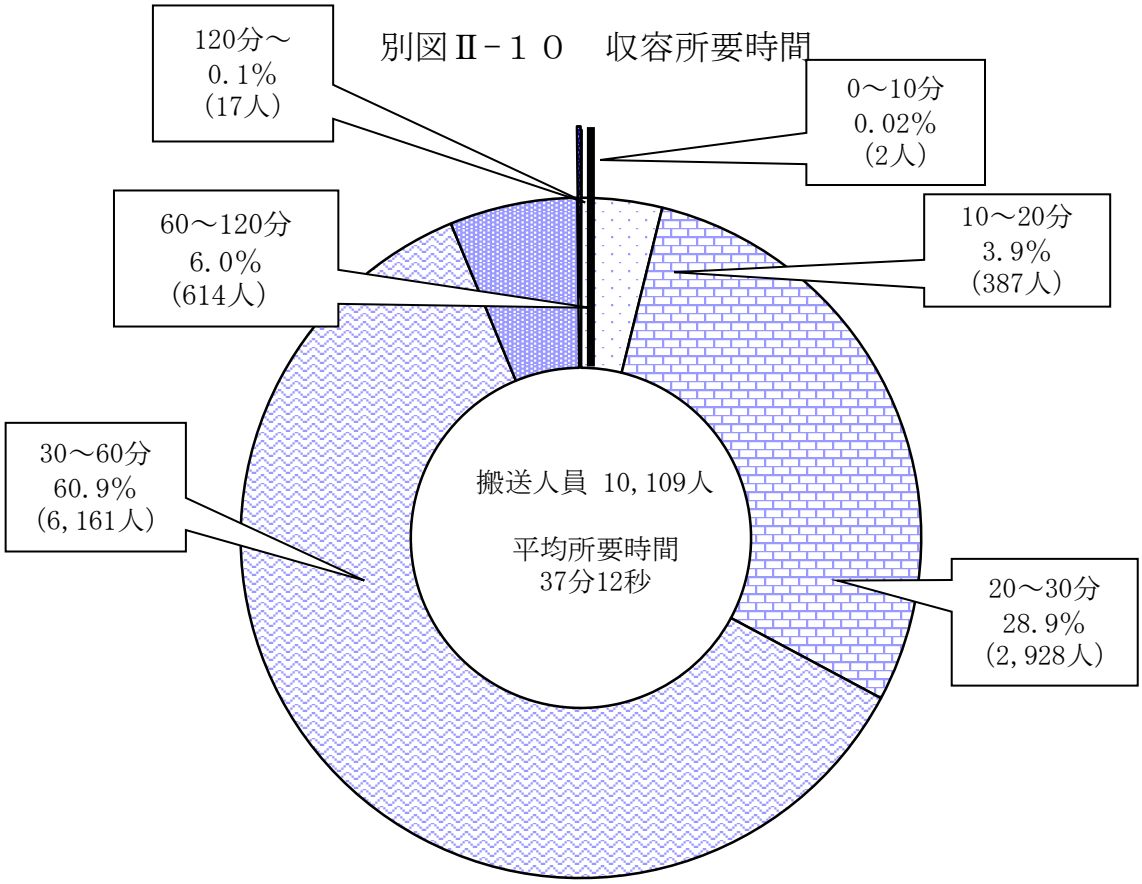



| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 出場件数 | 925 | 845 | 853 | 809 | 869 | 821 | 954 | 946 | 813 | 906 | 926 | 987 |
| 搬送人員 | 859 | 800 | 815 | 768 | 826 | 784 | 898 | 915 | 766 | 867 | 882 | 929 |

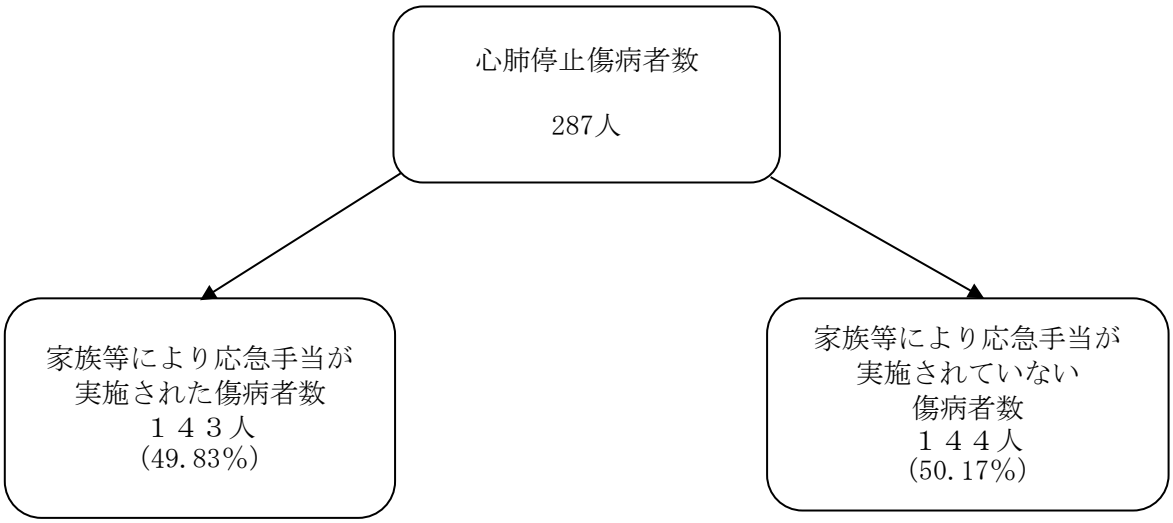
別図Ⅱ－９　現場到着所要時間



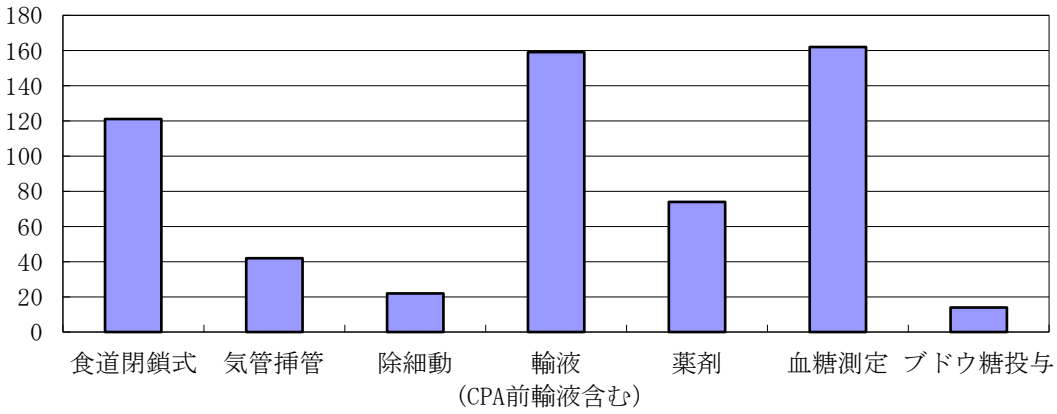

別図Ⅱ－１０　収容所要時間



別図Ⅱ－１１　応急手当実施状況

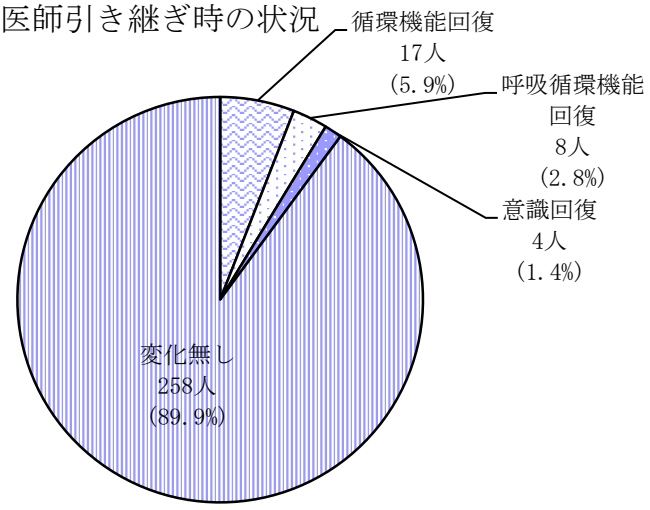



別図Ⅱ－１２　高度救命処置件数

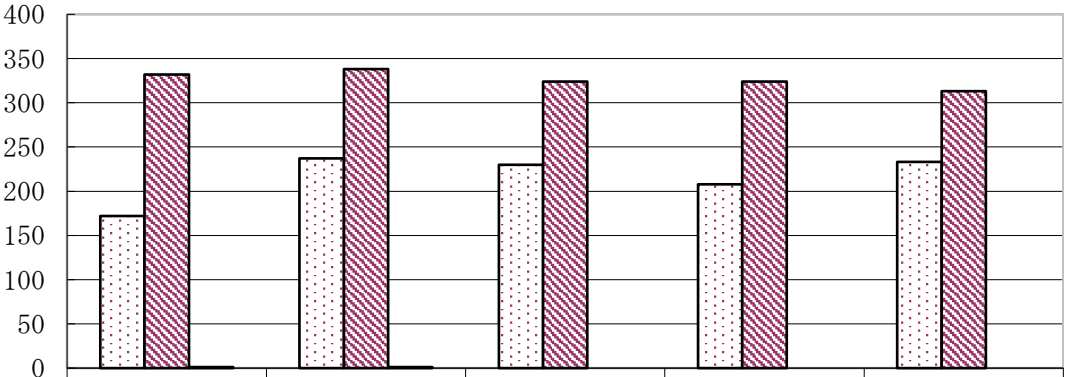



| 処置項目 | 食道閉鎖式 | 気管挿管 | 除細動 | 輸液(CPA前輸液含む) | 薬剤 | 血糖測定 | ブドウ糖投与 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実施件数 | 121 | 42 | 22 | 159 | 74 | 162 | 14 |

別図Ⅱ－１３　医師引き継ぎ時の状況

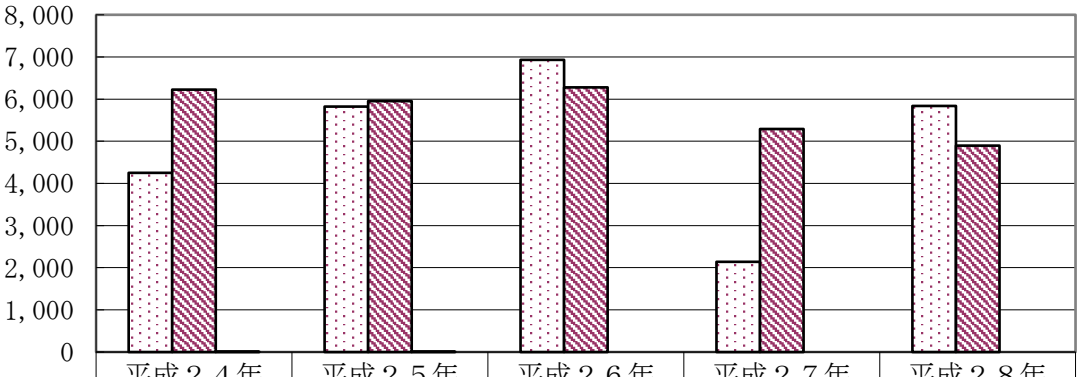


別図Ⅱ－１４　過去５年間の救急講習件数推移




| | 平成２４年 | 平成２５年 | 平成２６年 | 平成２７年 | 平成２８年 |
|---|---|---|---|---|---|
| その他講習件数 | 172 | 237 | 230 | 208 | 233 |
| 普通講習件数 | 332 | 338 | 324 | 324 | 313 |
| 上級講習件数 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |

別図Ⅱ－１５　過去５年間の救急講習人員推移




| | 平成２４年 | 平成２５年 | 平成２６年 | 平成２７年 | 平成２８年 |
|---|---|---|---|---|---|
| その他講習人員 | 4,250 | 5,825 | 6,934 | 2,138 | 5,839 |
| 普通講習人員 | 6,228 | 5,953 | 6,277 | 5,292 | 4,894 |
| 上級講習人員 | 4 | 4 | 0 | 0 | 0 |

# 別表Ⅱ－1　過去5年間の市町村別救急件数

| | | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 米子市 | 件数 | 6,092 | 6,028 | 6,088 | 6,300 | 6,628 |
| | 搬送人員 | 5,668 | 5,551 | 5,645 | 5,919 | 6,263 |
| 境港市 | 件数 | 1,344 | 1,356 | 1,329 | 1,522 | 1,450 |
| | 搬送人員 | 1,292 | 1,294 | 1,265 | 1,451 | 1,389 |
| 日吉津村 | 件数 | 119 | 127 | 152 | 128 | 145 |
| | 搬送人員 | 113 | 120 | 139 | 126 | 144 |
| 大山町 | 件数 | 766 | 860 | 799 | 742 | 783 |
| | 搬送人員 | 728 | 809 | 736 | 697 | 746 |
| 南部町 | 件数 | 376 | 356 | 384 | 388 | 369 |
| | 搬送人員 | 360 | 331 | 360 | 366 | 352 |
| 伯耆町 | 件数 | 461 | 485 | 441 | 518 | 525 |
| | 搬送人員 | 435 | 474 | 410 | 498 | 502 |
| 日南町 | 件数 | 349 | 344 | 346 | 345 | 327 |
| | 搬送人員 | 332 | 317 | 327 | 323 | 307 |
| 日野町 | 件数 | 179 | 184 | 223 | 184 | 191 |
| | 搬送人員 | 161 | 172 | 217 | 175 | 184 |
| 江府町 | 件数 | 217 | 224 | 229 | 197 | 223 |
| | 搬送人員 | 209 | 217 | 222 | 188 | 213 |
| 圏域外 | 件数 | 48 | 54 | 45 | 39 | 13 |
| | 搬送人員 | 43 | 55 | 40 | 29 | 9 |
| 合計 | 件数 | 9,951 | 10,018 | 10,036 | 10,363 | 10,654 |
| | 搬送人員 | 9,341 | 9,340 | 9,361 | 9,772 | 10,109 |

## Ⅲ　救助概況

（平成28年1月～12月）

### 1　事故種別救助出動状況

救助出動件数は183件あり、そのうち交通事故が84件（45．9％）、火災が29件（15．8％）、その他の事故が38件（20．8％）、水難事故が18件（9．8％）、建物等による事故が8件（4．4％）、風水害による事故が4件（2．2％）、機械による事故が2件（1．1％）の順となっています。

（別図Ⅲ―1参照）

### 2　事故種別救助活動状況

救助活動件数は135件あり、そのうち交通事故が46件（34．1％）、その他の事故が35件（29．7％）、火災が29件（21．5％）、水難事故が15件（11．1％）、建物等による事故6件（4．4％）、風水害による事故が2件（1．5％）、機械による事故2件（1．5％）の順となっています。

（別図Ⅲ―2参照）

### 3　事故種別救助人員状況

救助活動により救助された人員は104人あり、そのうち交通事故が51人（49．0％）と最も多く、次いでその他の事故が29人（27．9％）、水難事故が15人（14．4％）、建物等による事故3人（2．9％）、火災が2人（1．9％）、風水害による事故2人（1．9％）、機械による事故が2人（1．9％）の順となっています。

（別図Ⅲ―3参照）

### 4　管轄別救助活動状況

消防署の管轄別に出動件数を見ると、米子消防署が97件（53．0％）と最も多く、次いで大山消防署が45件（24．6％）、境港消防署が23件（12．6％）、江府消防署が18件（9．8％）の順となっています。

（別図Ⅲ―4参照）

### 5　市町村別救助活動状況

市町村別に救助活動状況を比較して見ると、出動件数、活動件数、救助人員ともに、米子市が最も多く出動件数82件（44．8％）、次いで大山町が28件（15．3％）、境港市が18件（9．8％）、伯耆町が14件（7．7％）等の順となっており、他米子道、山陰道へも出動しています。

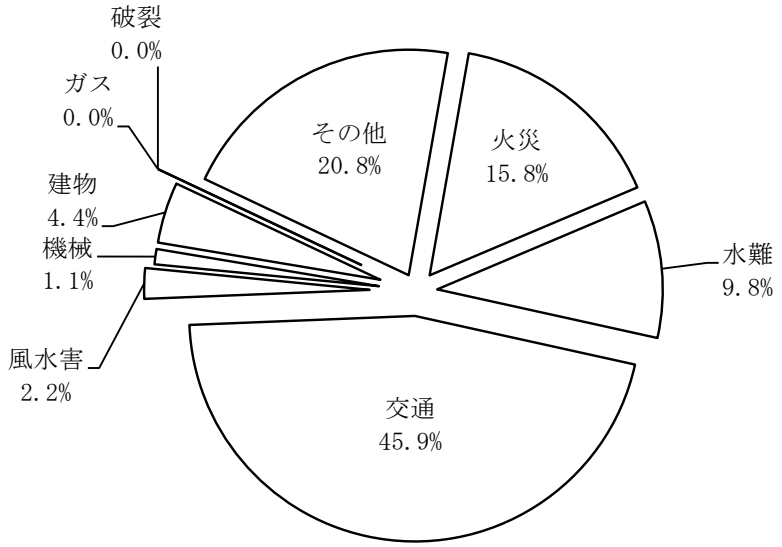
（別図Ⅲ―5参照）

### 6　月別救助活動状況

月別の救助出動件数を見ると、9月が23件（12．6％）と最も多く、次いで1月が20件（10．9％）、4月が19件（10．4％）、3月・7月が17件（9．3％）等の順となっています。

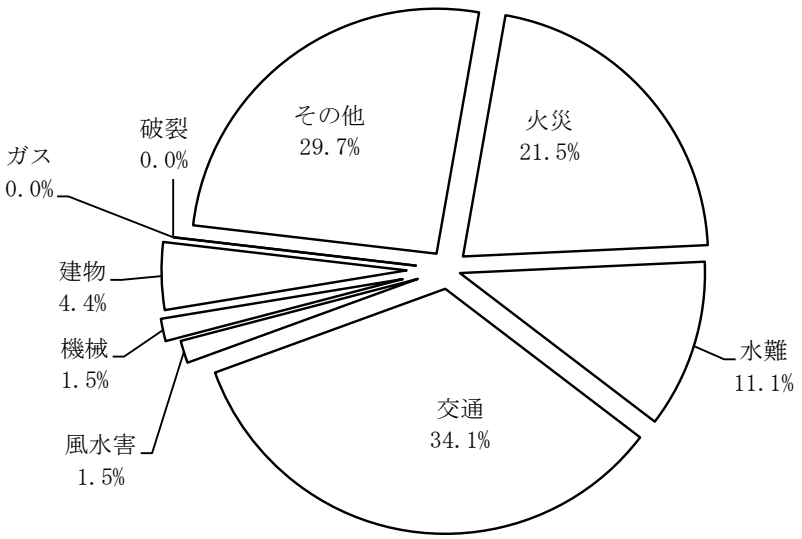
（別図Ⅲ―6参照）

## 別図Ⅲ－１　事故種別救助出動状況



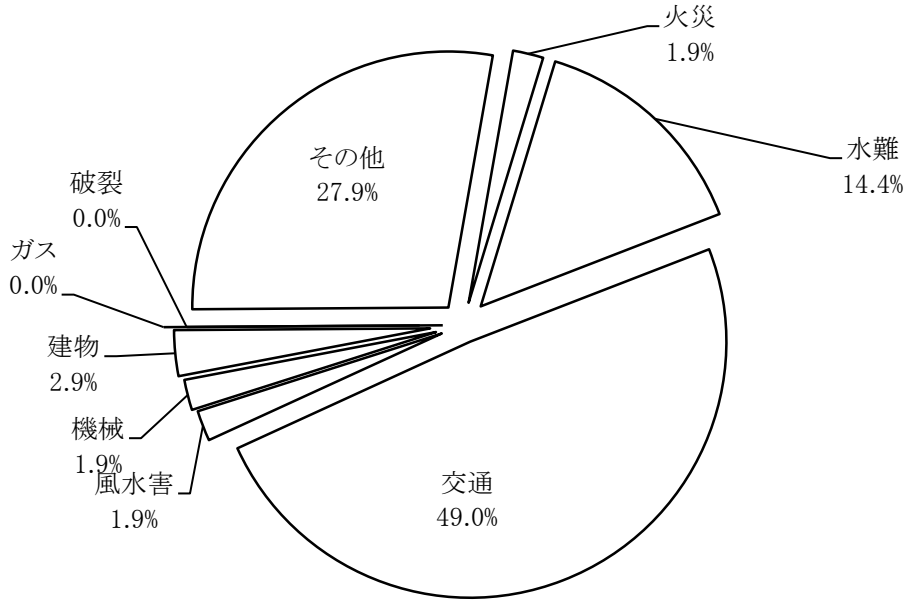

| 事故種別 | 火災 | 水難 | 交通 | 風水害 | 機械 | 建物 | ガス | 破裂 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 出場件数 | 29 | 18 | 84 | 4 | 2 | 8 | 0 | 0 | 38 | 183 |

## 別図Ⅲ－２　事故種別救助活動状況



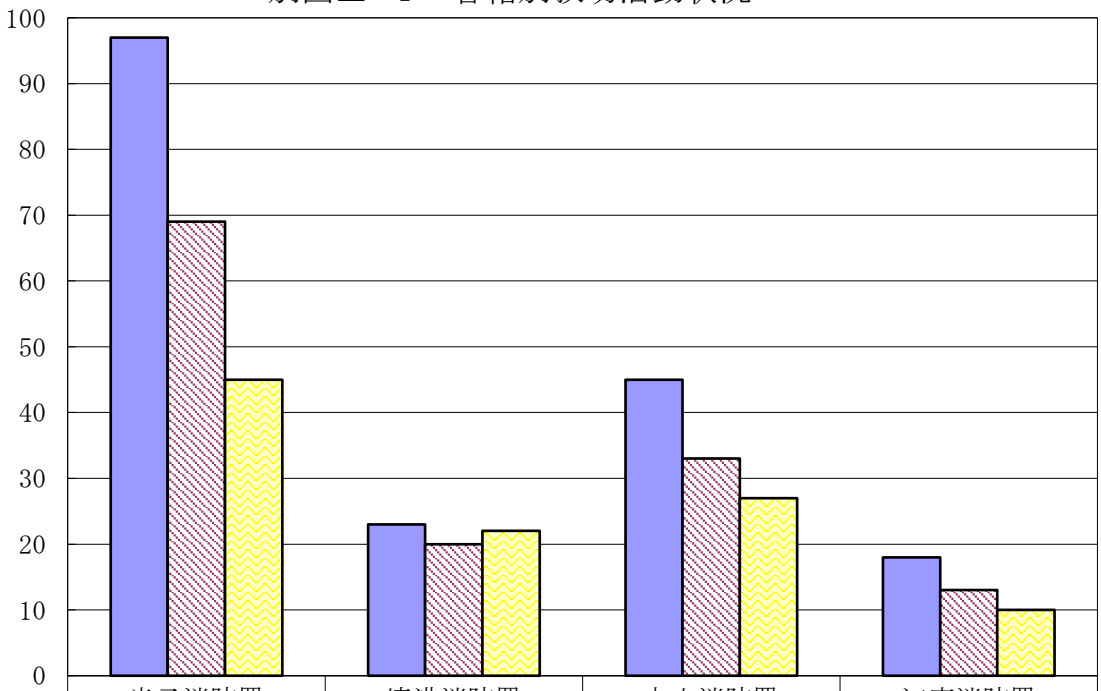

| 事故種別 | 火災 | 水難 | 交通 | 風水害 | 機械 | 建物 | ガス | 破裂 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 活動件数 | 29 | 15 | 46 | 2 | 2 | 6 | 0 | 0 | 35 | 135 |

## 別図Ⅲ－３　事故種別救助人員状況



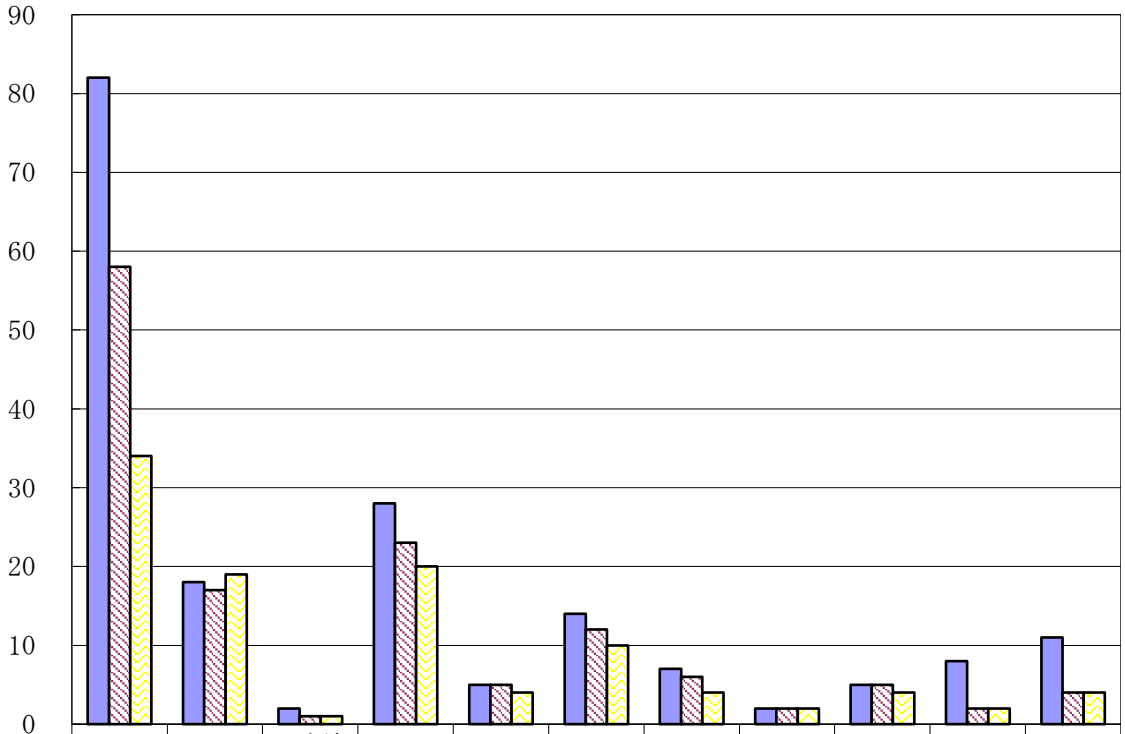

| 事故種別 | 火災 | 水難 | 交通 | 風水害 | 機械 | 建物 | ガス | 破裂 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 救助人員 | 2 | 15 | 51 | 2 | 2 | 3 | 0 | 0 | 29 | 104 |

## 別図Ⅲ－４　管轄別救助活動状況



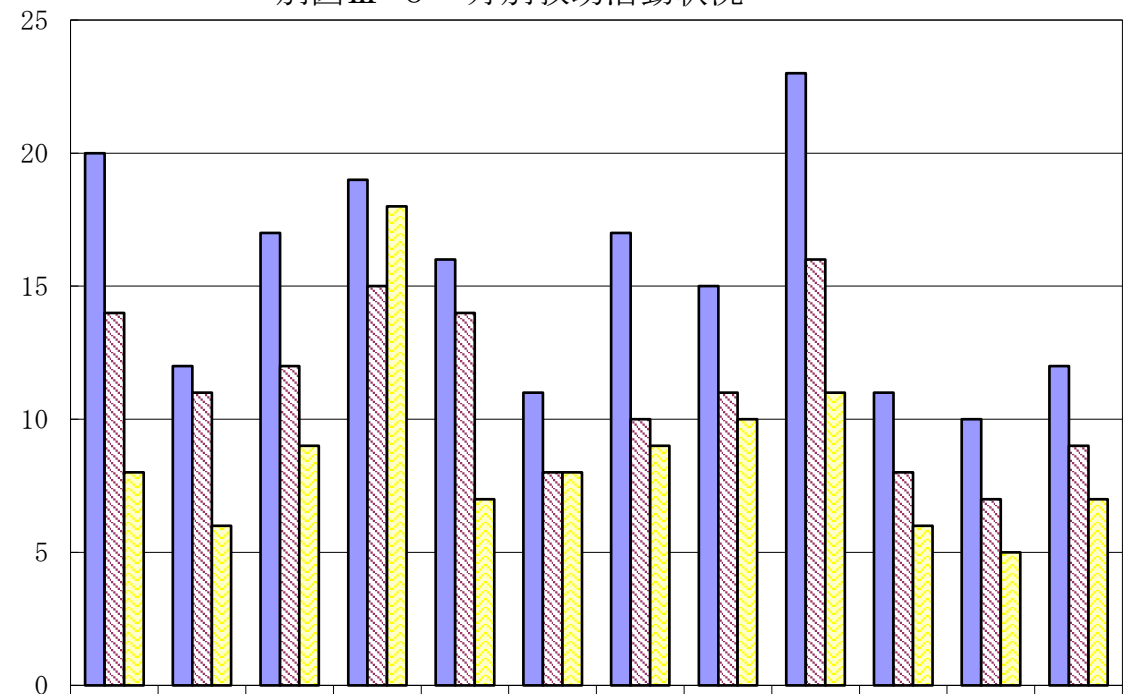

| | 米子消防署 | 境港消防署 | 大山消防署 | 江府消防署 |
|---|---|---|---|---|
| 出動件数 | 97 | 23 | 45 | 18 |
| 活動件数 | 69 | 20 | 33 | 13 |
| 救助人員 | 45 | 22 | 27 | 10 |

## 別図Ⅲ－５　市町村別救助活動状況




| | 米子市 | 境港市 | 日吉津村 | 大山町 | 南部町 | 伯耆町 | 日南町 | 日野町 | 江府町 | 米子道 | 山陰道 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 出動件数 | 82 | 18 | 2 | 28 | 5 | 14 | 7 | 2 | 5 | 8 | 11 |
| 活動件数 | 58 | 17 | 1 | 23 | 5 | 12 | 6 | 2 | 5 | 2 | 4 |
| 救助人員 | 34 | 19 | 1 | 20 | 4 | 10 | 4 | 2 | 4 | 2 | 4 |

## 別図Ⅲ－６　月別救助活動状況




| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 出動件数 | 20 | 12 | 17 | 19 | 16 | 11 | 17 | 15 | 23 | 11 | 10 | 12 |
| 活動件数 | 14 | 11 | 12 | 15 | 14 | 8 | 10 | 11 | 16 | 8 | 7 | 9 |
| 救助人員 | 8 | 6 | 9 | 18 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 6 | 5 | 7 |

# １１９番着信概況

## Ⅳ　１１９番着信概況　　（平成２８年１月～１２月）

### １　着信件数の概況

平成２８年中の１１９番通報は、総着信件数１４，３６５件で昨年に比べ３８件（０．２％）多くなっています。１ヶ月平均にすると約１，１９７件、１日平均では約３９件の着信となります。通報種別としては、救急が最も多く１０，２０６件（７１．０％）でした。火災は１８０件（１．３％）、救助１０３件（０．７％）、警戒１５８件（１．１％）、間違い７７８件(５．５％)、通報訓練等２，０８０件（１４．５％）、病院などに関する問い合わせ等８０８件（５．６％）となっており、悪戯と思われるものが５２件（０．３％）でした。

（別図Ⅳ－１参照）

### ２　月別の１１９番着信状況

月別で着信件数の最も多かったのは７月の１，２９７件、最も少なかったのは４月の１，０３７件でした。救急通報で最も多かったのは１２月の９４１件、最も少なかったのは４月と９月の７７１件で、月平均約８５０件でした。火災通報で最も多かったのは１月の３６件、最も少なかったのは１１月の４件で、月平均約１５件でした。

（別図Ⅳ－２参照）

### ３　電話種別による１１９番着信状況

電話種別ごとに着信件数を見ますと、固定・ＩＰ電話９，０６９件で２８９件の減少、携帯電話５，２９６件で３２７件の増加でした。携帯電話からの通報は平成２４年から５年間で約３０％増加しています。

災害別に電話種別による通報状況をみると、通報比率が火災６２％、救助７２％、警戒６３％と衆人に発見されやすいものについては携帯電話での通報比率が高く、救急など屋内での発生が多いものについては固定・ＩＰ電話での通報比率が約６４％と高くなっています。

（別図Ⅳ－３、Ⅳ－４参照）

### ４　携帯電話からの着信状況

携帯電話からの１１９番通報は５，２９６件で、全着信件数の約３６％でした。

隣県などの管轄地区以外からの携帯電話による通報を、他の消防機関から転送受信した件数は４０件で、逆に他の消防機関へ転送処理した件数は３７件ありました。

（別図Ⅳ－５、Ⅳ－６参照）

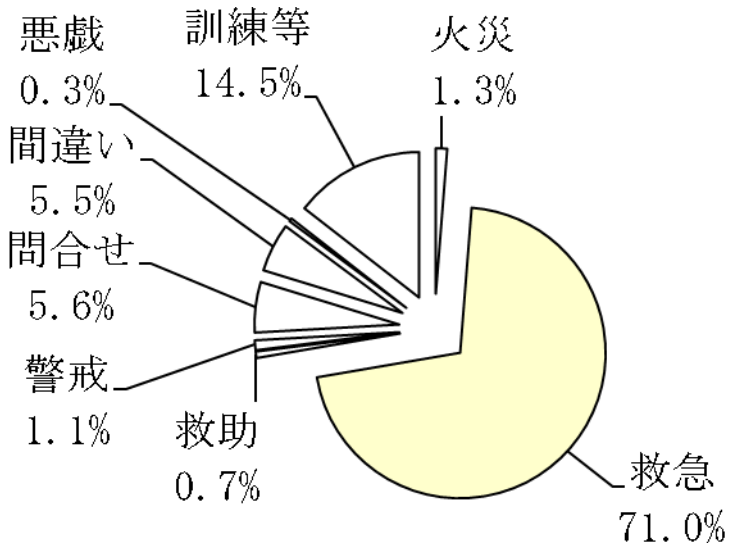
### ５　時間帯別１１９番通報の着信状況

時間帯別に１１９番通報の着信比率を見ると、一般的な活動時間帯(午前８時～午後９時台)では全体の約７９％で、睡眠時間帯（午後１０時～午前７時台）では約２１％でした。

（別図Ⅳ－７参照）

別図Ⅳ－１　119番着信件数

| | 火災 | 救急 | 救助 | 警戒 | 問合せ | 間違い | 悪戯 | 訓練等 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成 24 年 | 199 | 9,564 | 74 | 89 | 1,000 | 616 | 120 | 1,696 | 13,358 |
| 平成 25 年 | 217 | 9,708 | 72 | 129 | 1,124 | 817 | 126 | 1,669 | 13,862 |
| 平成 26 年 | 225 | 9,647 | 70 | 104 | 844 | 756 | 114 | 1,898 | 13,658 |
| 平成 27 年 | 134 | 9,923 | 134 | 144 | 834 | 763 | 63 | 2,332 | 14,327 |
| 平成 28 年 | 180 | 10,206 | 103 | 158 | 808 | 778 | 52 | 2,080 | 14,365 |

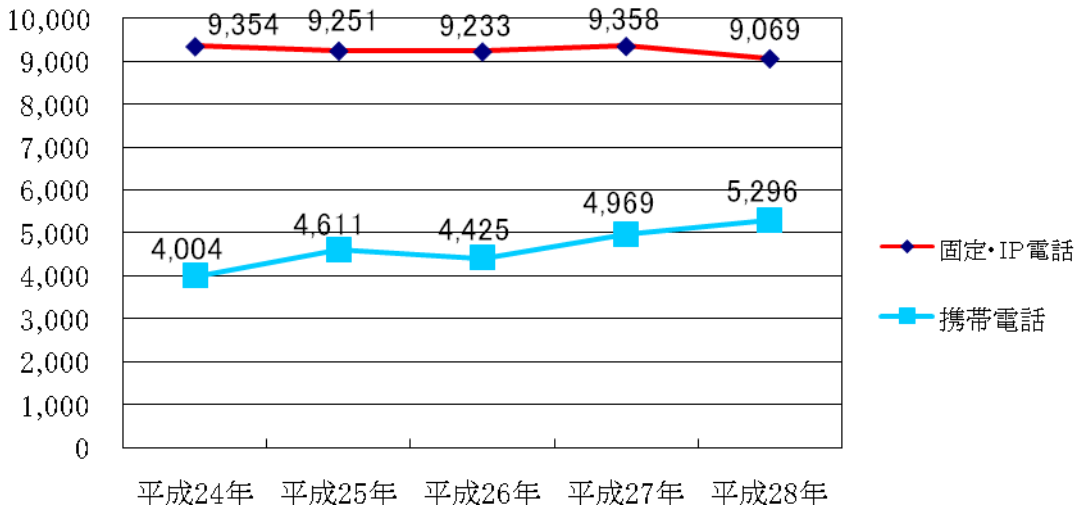



別図Ⅳ－２　月別119番着信状況

| | 火災 | 救急 | 救助 | 警戒 | 問合せ | 間違い | 悪戯 | 訓練等 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1月 | 36 | 866 | 5 | 10 | 88 | 72 | 1 | 95 | 1,173 |
| 2月 | 24 | 797 | 5 | 9 | 34 | 59 | 3 | 133 | 1,064 |
| 3月 | 24 | 812 | 9 | 7 | 60 | 54 | 0 | 227 | 1,193 |
| 4月 | 8 | 771 | 18 | 13 | 49 | 53 | 2 | 123 | 1,037 |
| 5月 | 25 | 840 | 6 | 17 | 70 | 78 | 3 | 164 | 1,203 |
| 6月 | 7 | 795 | 9 | 8 | 87 | 52 | 9 | 210 | 1,177 |
| 7月 | 13 | 928 | 13 | 12 | 81 | 83 | 7 | 160 | 1,297 |
| 8月 | 9 | 914 | 10 | 17 | 79 | 92 | 9 | 105 | 1,235 |
| 9月 | 15 | 771 | 7 | 10 | 74 | 60 | 8 | 182 | 1,127 |
| 10月 | 10 | 878 | 6 | 23 | 59 | 56 | 2 | 251 | 1,285 |
| 11月 | 4 | 893 | 7 | 17 | 59 | 56 | 6 | 246 | 1,288 |
| 12月 | 5 | 941 | 8 | 15 | 68 | 63 | 2 | 184 | 1,286 |
| 合計 | 180 | 10,206 | 103 | 158 | 808 | 778 | 52 | 2,080 | 14,365 |
| 月平均 | 15.0 | 850.5 | 8.6 | 13.2 | 67.3 | 64.8 | 4.3 | 173.3 | 1,197.1 |

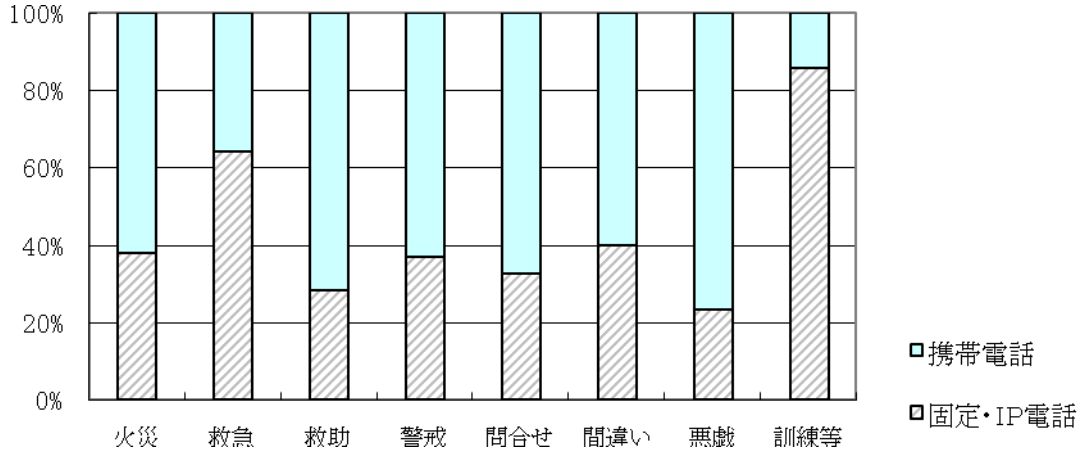
別図Ⅳ－３　　電話種別による１１９番着信件数の推移

| | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 |
|---|---|---|---|---|---|
| 固定･IP電話 | 9,354 | 9,251 | 9,233 | 9,358 | 9,069 |
| 携帯電話 | 4,004 | 4,611 | 4,425 | 4,969 | 5,296 |
| 合計 | 13,358 | 13,862 | 13,658 | 14,327 | 14,365 |




別図Ⅳ－４　　電話種別による１１９番着信状況

| | 火災 | 救急 | 救助 | 警戒 | 問合せ | 間違い | 悪戯 | 訓練等 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 固定･IP電話 | 68 | 6,548 | 29 | 58 | 262 | 309 | 12 | 1,783 | 9,069 |
| 携帯電話 | 112 | 3,658 | 74 | 100 | 546 | 469 | 40 | 297 | 5,296 |
| 合計 | 180 | 10,206 | 103 | 158 | 808 | 778 | 52 | 2,080 | 14,365 |



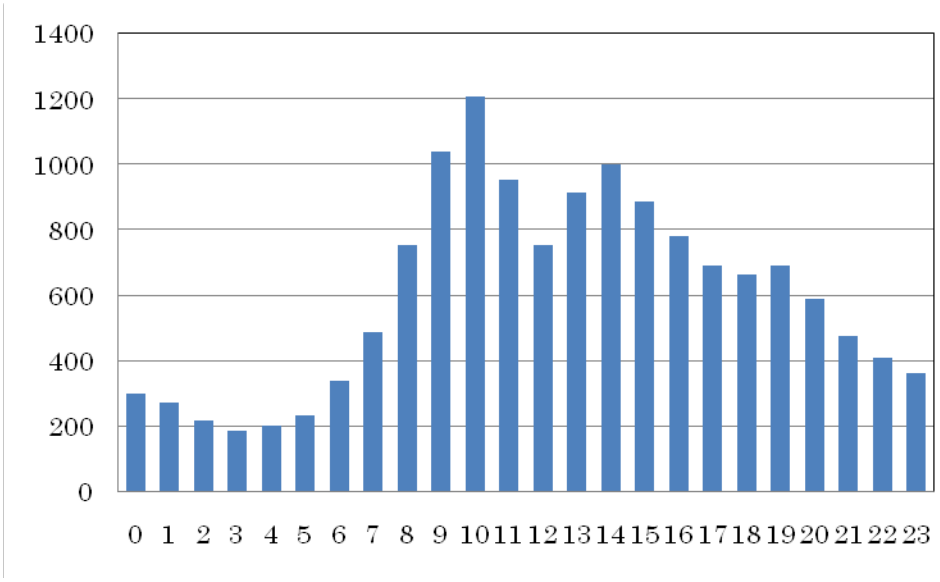
別図Ⅳ－５　　携帯電話からの着信状況

| 西部消防圏域内の災害などの着信件数 | | | 他の消防機関に転送をした件数 |
|---|---|---|---|
| 直接通報を受けた件数 | 他の消防機関から転送受信した件数 | 総着信件数 | |
| 5,256 | 40 | 5,296 | 37 |

別図Ⅳ－６　　携帯電話の消防機関別転送状況

| 他の消防機関から転送を受信した件数 | | | | | 他の消防機関に転送した件数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 消防 | 火災 | 救急 | その他 | 合計 | 消防 | 火災 | 救急 | その他 | 合計 |
| 松　江 | | 14 | | 14 | 松　江 | | 16 | 1 | 17 |
| 安　来 | | 13 | 2 | 15 | 安　来 | | 12 | | 12 |
| 雲　南 | | | | 0 | 雲　南 | | | | 0 |
| 東　部 | | 3 | 1 | 4 | 東　部 | | 2 | | 2 |
| 中　部 | | 5 | 1 | 6 | 中　部 | | 5 | 1 | 6 |
| 新　見 | | 1 | | 1 | 新　見 | | | | 0 |
| 美作地区 | | | | 0 | 美作地区 | | | | 0 |
| 備　北 | | | | 0 | 備　北 | | | | 0 |
| 合　計 | 0 | 36 | 4 | 40 | 合　計 | 0 | 35 | 2 | 37 |

別図Ⅳ―７　　時間帯別着信状況



# 消 防 団 ・ 水 利

# 大 火 災 記 録

# 消 防 団 の 人 員 と 装 備

平成29年4月1日現在

| 人員 / 市町村別 | | 人員 定員 | 実員 | 団長 | 副団長 | 分団長 | 副分団長 | 部長 | 班長 | 団員 | 消防車輌等 自動ポンプ車 | 小型動力ポンプ積載車 | 小型動力ポンプ | 手引動力ポンプ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 合計 | | 1,404 | 1,305 | 9 | 19 | 75 | 73 | 74 | 205 | 850 | 52 | 24 | 9 | 0 |
| 米子市 | | 544 | 508 | 1 | 4 | 28 | 28 | 56 | 115 | 276 | 15 | 9 | 0 | 0 |
| 境港市 | | 116 | 106 | 1 | 2 | 8 | 6 | 7 | 14 | 68 | 6 | 0 | 0 | 0 |
| 西伯郡 | 日吉津村 | 35 | 30 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 5 | 20 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| | 大山町 | 171 | 160 | 1 | 3 | 11 | 11 | 11 | 22 | 101 | 9 | 2 | 0 | 0 |
| | 南部町 | 148 | 130 | 1 | 2 | 7 | 7 | 0 | 14 | 99 | 6 | 3 | 0 | 0 |
| | 伯耆町 | 163 | 150 | 1 | 2 | 7 | 7 | 0 | 14 | 119 | 4 | 4 | 1 | 0 |
| 日野郡 | 日南町 | 103 | 103 | 1 | 1 | 7 | 7 | 0 | 7 | 80 | 5 | 3 | 3 | 0 |
| | 日野町 | 64 | 61 | 1 | 2 | 3 | 3 | 0 | 5 | 47 | 3 | 2 | 5 | 0 |
| | 江府町 | 60 | 57 | 1 | 1 | 3 | 3 | 0 | 9 | 40 | 2 | 1 | 0 | 0 |

# 水　　利　　状　　況

平成29年4月1日現在

| 区分 / 市町村別 | | 水利 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 基準数 | 現有数 | | | |
| | | | 公設消火栓（150mm以上） | 公設水槽（40t以上） | その他 | 計 |
| 合計 | | 4,233 | 1,366 | 828 | 2,712 | 4,906 |
| 米子市 | | 1,749 | 1,021 | 159 | 344 | 1,524 |
| 境港市 | | 465 | 289 | 55 | 58 | 402 |
| 西伯郡 | 日吉津村 | 72 | 56 | 0 | 21 | 77 |
| | 大山町 | 389 | 0 | 234 | 434 | 668 |
| | 南部町 | 216 | 0 | 140 | 240 | 380 |
| | 伯耆町 | 248 | 0 | 105 | 430 | 535 |
| 日野郡 | 日南町 | 508 | 0 | 44 | 761 | 805 |
| | 日野町 | 218 | 0 | 29 | 246 | 275 |
| | 江府町 | 368 | 0 | 62 | 178 | 240 |

# 大　火　災　記　録

1. 米　子　市(建物焼失面積1，000㎡以上)

・昭和30年4月8日(美保少年院火災)

午前11時30分、大篠津町美保少年院から出火し、9棟延2，577㎡を焼失した。

損害額約1，218万円、原因……煙草吸殻。

・昭和31年12月21日(田中木工所火災)

午後9時0分、富士見町二丁目155番地田中木工所から出火し、周囲の民家にも延焼して9棟延1，793㎡を焼失した。損害額約1，325万円、原因……こたつの過熱。

・昭和34年7月22日(石垣木工所火災)

午前4時25分、米原1，496番地石垣木工所から出火し、全焼7棟、半焼2棟延2，027㎡を焼失した。損害額約2，215万円、原因……不明。

・昭和37年12月11日(山一ベニヤ火災)

午前0時10分、角盤町四丁目30番地有限会社山一ベニヤ製作所から出火し、周囲の民家にも延焼して全焼7棟、半焼2棟延1，828㎡を焼失した。

損害額約2，192万円、原因……電気アイロンの過熱。

・昭和40年4月7日(義方小学校火災)

午前1時38分、立町四丁目義方小学校から出火し、延1，301㎡を焼失した。

損害額約1，973万円、原因……不明。

・昭和43年8月4日(米子木工株式会社火災)

午後1時43分、米原1，491番地米子木工株式会社から出火し、延1，470㎡を焼失した。

損害額約4，894万円、原因……熔断の火の粉が塗料かすに着火。

2. 境　港　市(建物焼失面積1，000㎡以上及び特殊火災)

・昭和10年1月12日(栄町大火)

午後7時55分、栄町三勇庵(置屋業)から出火し、全焼381戸の大火となった。

損害額約180万円、原因……灯明の火、以後1月12日を火災記念日とする。

・昭和10年11月24日(中町火災)

午前1時50分、中町墓地からの飛火により共有地から出火し、全焼11戸、半焼3戸の大火災となった。原因……不明。

・昭和18年12月30日(石橋造船火災)

午前8時頃、岬町石橋造船所から出火し、造船工場・事務所・製材所など6棟を焼失した。

損害額70万円、原因……焚火。

・昭和20年4月23日(玉栄丸爆発)

午前7時40分、陸軍徴用船玉栄丸積載の火薬が爆発し、全焼76戸、全壊355戸、被災面積1，426㎡に及び、消防団員5名が殉死した。

・昭和24年4月18日(京町火災)

午前10時30分、京町置屋業真木方から出火し、全焼5棟、半焼4棟、延1，426㎡を焼失した。

原因……不明。

・昭和35年2月2日(日の丸窯業火災)

午前6時4分、弥生町日の丸窯業から出火し、延1，266㎡を焼失した。

損害額約905万円、原因……乾燥機過熱。

・昭和38年4月10日(日の出館火災)

午後11時45分、日の出町映画館日の出館から出火し、延443㎡を全焼した。

損害額615万円、原因……不明。

・昭和39年2月24日(中浜小学校火災)

午後11時頃、小篠津町中浜小学校給食室から出火し、138㎡を焼失した。

損害額85万円、原因……取灰。

・昭和41年8月28日(第一水産火災)

午後4時5分、上道町水産加工場から出火し、延1,589㎡を焼失した。

損害額約1,599万円、原因……魚油の自然発火。

・昭和45年6月24日(石橋造船火災)

午前0時35分、岬町石橋造船所から出火し、延1,980㎡を焼失した。

損害額約1,292万円、原因……不明。

・昭和48年11月18日(丸神海産火災)

午後9時35分、栄町の水産加工場から出火し、延2,953㎡を焼失した。

損害額約8,015万円、原因……不明。

3. 広域消防発足後(建物焼失面積1,000㎡以上)

・昭和51年9月6日(朝日座火災)

午後2時6分、米子市朝日町65番地映画館朝日座から出火し、延1,302㎡を焼失した。

損害額約1,353万円、原因……不明。

・昭和58年6月4日(米子林産工業㈱火災)

午前1時頃、米子市錦町3丁目24番地米子林産工業㈱から出火し、延2,502㎡を焼失した。

損害額約4,780万円、原因……不明。

・平成3年4月4日(㈲景山商店火災)

午前4時9分頃、境港市中野町官有無番地㈲景山商店加工場より出火し、延1,168㎡を焼失した。損害額3,217万円、原因……不明。

・平成16年10月27日(山陰食鶏)

午前9時30分頃、西伯郡淀江町中間16山陰食鶏より出火し、延1,068㎡を消失した。

損害額5,978万円、原因……溶接機の火粉。

・平成17年8月25日(阿部木工所)

午後7時20分頃、米子市富益町1268阿部木工所より出火し、延1,605㎡を消失した。

損害額5,805万円、原因……不明。

・平成22年1月24日(三光株式会社昭和工場)

午後5時5分頃、境港市昭和町5－1三光株式会社昭和工場より出火し、延3,021㎡を消失した。損害額1,251万円、原因……不明。

・平成24年6月13日(名和食鶏　倉谷北鶏舎)

午後7時50分頃、西伯郡大山町豊成241　名和食鶏　倉谷北鶏舎より出火し、延1,051㎡を焼失した。

損害額341万円、原因・・・・・不明。

# 関　係　団　体

［米子地区防火安全協会］

# 平成２８年度　事業報告書

１．研修会の部

（1）新入社員防災研修会（米子地区防火安全協会共催）

平成２８年6月７日（火）・８日（水）　西部消防局において開催　　１６７名参加

（2）消火競技会（境港市消防保安協会主催）

平成２８年１０月１３日（木）　境港消防署において開催

３事業所３チーム参加

（3）実務研修会

平成２９年2月２３日（木）

米子ワシントンホテルプラザにおいて開催　　４５名参加

２．講習会の部　（境港市消防保安協会合同）

（1）第１回危険物取扱者試験準備講習会

【乙種第４類】　平成２８年5月２５日（水）～２６日（木）　　２３名参加

【　丙　種　】　平成２８年5月２３日（月）　　参加者なし

（2）第２回危険物取扱者試験準備講習会

【乙種第４類】　平成２８年9月２７日（火）～２８日（水）　　２９名参加

【　丙　種　】　平成２８年9月３０日（金）　　２名参加

（3）第３回危険物取扱者試験準備講習会

【乙種第４類】　平成２９年1月１７日（火）～１８日（水）　　９名参加

３．斡旋事業の部

（1）図書の斡旋

（2）標識・掲示板の斡旋

（3）防火管理者講習会等の図書斡旋

【甲種防火管理　新規講習】

第１回　　平成２８年　5月１２日（木）～１３日（金）　　７０冊

第２回　　平成２８年　9月　７日（水）～　８日（木）　　８２冊

第３回　　平成２８年１１月　８日（火）～　９日（水）　　６５冊

第４回　　平成２９年　3月１３日（月）～１４日（火）　　８１冊

【防　災　管　理　新規講習】

平成２８年１０月１８日（火）　　１３冊

【甲種防火管理　再 講 習】

平成２８年１２月　７日（水）　５１冊

【防火・防災管理　再講習】

平成２８年　６月　３日（金）　４冊

４．会報発刊の部

会報（第１０号）　平成２８年８月　作成、発刊

会報（第１１号）　平成２９年３月　作成、発刊

５．防火協力の部

(1) 住宅用火災警報器の普及活動協力

(2) 消防行事に協賛

(3) 図書の寄贈

(4) 防火ＤＶＤ購入（職場に潜む火災）（深刻化する気象災害）

(5) 防火ＤＶＤ等の貸し出し

(6) 表彰記念品の購入

(7)「保存版　消防用設備等の点検・報告」冊子の配布

６．会議の部

定期総会、役員会　平成２８年６月２１日（火）

新年役員会　平成２９年２月２８日（火）

７．危険物保安協会関係の部（国・県）

(1) 平成２８年度全国危険物保安協会　危険物安全大会

平成２８年６月６日（月）　スクワール麹町において開催

【全危協・優良危険物関係事業所表彰】

寿製菓　株式会社　様

(2)平成２８年度鳥取県危険物保安協会連合会理事会及び安全大会

平成２８年６月１０日（金）　倉吉シティホテルにおいて開催

【県知事・危険物優良取扱者表彰】

木村　　亨 様（有限会社　木村兼義商店）

【県危連・危険物保安功労者表彰】

宇田川　英二 様（皆生温泉旅館組合）

【県危連・危険物優良事業所表彰】

米子機工　株式会社　様

８．表彰の部

会長表彰

【功労者表彰】

山根　均 様（大山旅館組合）

【危険物優良事業所表彰】

米子ワシントンホテルプラザ　様

【優良事業所表彰】

株式会社　インテリア　セオ　様

【危険物優良取扱者表彰】

中川　秀明 様（王子製紙　株式会社　米子工場）

松浦　絢二 様（山陰酸素工業　株式会社　米子支店）

９．その他

（1）鳥取県危険物取扱者保安講習

平成２８年8月２９日（月）・３０日（火）

米子コンベンションセンターにおいて開催　　事務担当者１名派遣

［境港市消防保安協会］

# 平成２８年度　事業報告

１　会報の発行
　１月　会報第５８号発行

２　防火ビデオの貸し出し
　会員事業所への防火ビデオの貸し出し

３　消火競技会の開催
　１０月１３日（木）
　第３７回事業所対抗消火競技会を開催（１１事業所・１１チーム参加）
　男性の部　優勝　堀田石油㈱、準優勝　㈱松本油店、第３位　東西オイルターミナル㈱
　女性の部　優勝　米子ガス㈱、準優勝　足立燃料㈲

４　講習会の開催
　危険物取扱者試験準備講習会
　５月、９月、１月に米子地区防火安全協会合同実施

５　会議関係
　（１）境港市消防保安協会関係
　　５月１３日　役員会
　　５月２６日　第５７回　定期総会
　（２）鳥取県危険物保安協会連合会関係
　　４月２８日　事務局会議（倉吉市：倉吉市防災センター）
　　６月１０日　理事会・安全大会（倉吉市：倉吉シティホテル）

６　表彰関係
　（１）５月２６日　境港市消防保安協会会長表彰
　　危険物優良事業所表彰：ダイワ石油㈱境港支店
　　危険物優良取扱者表彰：小林　富美男（ﾆﾔｸｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ中国支店境港事業所）
　　同　：西尾　純二（株式会社　岡田商店）
　　優良事業所表彰　：西商店
　　保安功労者表彰　：吉岡　勝美（ﾆﾔｸｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ中国支店境港事業所）
　（２）６月　６日　全国危険物安全協会　理事長表彰
　　鳥取県危険物保安協会連合会　副会長　堀田　收
　（３）６月１０日　鳥取県危険物安全大会
　　鳥取県知事表彰　危険物優良事業所表彰：境港海陸運送株式会社
　　鳥取県危険物保安協会連合会会長表彰
　　危険物優良事業所表彰：市村商店

７　その他
　６月５日　境港市消防団ポンプ操法大会に協力（優勝３分団）
　　危険物取扱者試験実施案内、危険物取扱者保安講習実施案内

# 平成28年版　消防年報

平成29年9月 発行

編集･発行　鳥取県西部広域行政管理組合消防局

〒683－0853鳥取県米子市両三柳5452番地

TEL（０８５９）３５－１９５１

FAX（０８５９）３５－１９６１